MITSUBISHI ELECTRIC

三菱4K液晶テレビ

取扱説明書

形名

エルシーディー エー アールエー
LCD-A40RA2000

エルシーディー エー アールエー
LCD-A50RA2000

エルシーディー エー アールエー
LCD-A58RA2000

- ご使用の前に、この「取扱説明書」と本機の画面上で見ることができる「使いかたガイド」をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 保証書は「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- 「取扱説明書」と「保証書」は大切に保存してください。
- 同梱スタンド以外でのご使用時は、お客様ご自身では据付けないでください。（安全や機能の確保ができません。）

製造番号は安全確保上重要なものです。お買上げの際は、製品本体および保証書に記載の製造番号をお確かめになり、裏表紙の「お客さま便利メモ」に記入しておいてください。

本紙の端面で手などを傷つけないよう、ご注意ください。

安全上のご注意 6

各部のなまえとはたらき 17

はじめに・・・

テレビを見るまでの準備 24
スタンドの取り付けかた
接続・設定をわかりやすく説明しています

テレビを見るとき 71

使いかたガイドの見かた 74

困ったとき 81
「困ったとき」は、裏表紙のもくじから探すこともできます

基本的な使いかたは・・・

すぐに使える！
早わかりガイド
基本的な操作のしかたをわかりやすく説明しています。
本機に付属しています。

詳しいことは・・・

使いかたガイド
本機の画面上で、くわしい操作や設定について見ることができます。
メニューを押して「使いかたガイド」を選んでください。
使いかたガイドの操作のしかたは P.74 をご覧ください。

このテレビの便利な機能

テレビ機能

Bluetooth®送受信ができる
スマートフォンの音楽をテレビで鳴らしたり、テレビの音声をBluetooth®対応機器にとばして聞くことができます。

聞き取りにくい人の声もハッキリ
ドラマのセリフや大歓声のスポーツ中継での実況。聞き取りづらい人の声をハッキリ聞き取りやすくする「声ハッキリプラス」機能を搭載。

いつも適度な音量の範囲で聞く
チャンネルを換えたり、CMに変わったとき、DVDを見るときなどに大き過ぎたり小さ過ぎたりする音量を自動で調整し音量感が大きく変わることを抑える「おすすめ音量」機能を搭載。音量調節頻度を減らします。

しゃべるテレビ
番組表の内容や、録画一覧のタイトルを自動で読み上げます。

座ったままテレビを見やすい向きに変える
リモコンのボタンを押すだけでテレビが向きを変えます。テレビを見る位置が変わってもテレビのそばまで行く必要はありません。

誤操作を防止する
- 本体のボタンを触っても機能しないようにします。
- リモコンの一部のボタンを機能しないようにし、設定を変えてしまってテレビが見られなくなることを防ぎます。
- 見られない放送に切り換わらないようにします。（放送波無効設定）
- 当社製テレビが複数台あるとき、リモコン操作が設定したテレビだけに利くようにします。

節電アシスト
無駄なく電力を使う設定が簡単にできます。

録画・再生機能

見ている番組を今すぐに録る（一発録画）
ボタンひとつで今見ている番組をすぐに録画できます。

見たい場面を簡単に探す（シーン検索）
録画した番組のシーンの切り換わりを画像で表示。
見たいシーンがすぐに探せます。

本編だけを手早く見る（おすすめ自動チャプター）
録画した番組を見ているとき、シーンの変わり目までボタンひとつで飛ばします。何度も見ているタイトルやCMなどをスキップします。

テレビ放送を見ながら、録画番組や裏番組をチェックできる（Quick Go）
テレビ放送を見ながら、録画番組や裏番組をチェックして映像を切り換えることができます。

キーワードを登録して自動で録画する（おこのみ自動録画）
キーワードを設定して条件にあてはまる番組を自動で録画できます。

録画できる時間（容量）を増やす（外付ハードディスクの増設）
USB端子に外付ハードディスクをつないで番組を録画できます。本機の内蔵ハードディスク（本体）と同様に録画/再生/編集できます。（一部機能を除く）
本体と外付との間でダビングができます。P.61

外出先からでも気づいたときに予約ができる（リモート予約）※1
スマートフォンなどからインターネットを経由して番組予約ができます。

外出先でも録画番組を見られる（外から視聴）※1
スマートフォンなどにあらかじめダウンロードしたこのテレビの録画番組を見ることができます。
（ダウンロード視聴）
またあらかじめダウンロードしなくても、インターネット経由でこのテレビの録画番組を見ることも可能です。
（オンライン視聴）

※1 本機とのインターネット接続環境が整っている必要があります。
「インターネットにつなぐ」P.39 または当社ホームページ掲載の本機取扱説明書「インターネット編」P.3 をご覧ください。

本機の取扱説明書について

本機の取扱説明書は、四部構成になっています。
本誌と基本的な操作のしかたをわかりやすく説明している『早わかりガイド』、本機の画面上で見ることができる『使いかたガイド』およびインターネットに接続して使用する機能をまとめた『インターネット編』です。

■この取扱説明書について

リモコンボタンの説明は P.20〜21 にあります。リモコンによる操作はこれらのページを参考にしてください。

- 画面表示の細部や説明文、表現、ガイド、メッセージの表示位置などは、本書と製品で異なることがあります。
- 本書で例として記載している各画面の内容やキーワードなどは説明用です。
- 画面の背景や放送などの映像や絵は、はめ込み画像です。

■早わかりガイドについて

基本的な操作のしかたをわかりやすく説明しています。

■使いかたガイドについて

本機の画面上で、くわしい操作や設定について見ることができます。
メニューを押して「使いかたガイド」を選んでください。使いかたガイドの操作のしかたは P.74 をご覧ください。

■インターネット編は、次の機能を使うための接続、設定、操作について記載しています。

- 外出先でも録画番組を見られる［外から視聴］
  スマートフォンやタブレットにあらかじめダウンロードした録画番組を宅外で視聴［ダウンロード視聴］
  宅外からインターネット経由でスマートフォンやタブレットを使った録画番組の視聴［オンライン視聴］
- 宅外からスマートフォンやタブレットを使った番組予約［リモート予約］
- 双方向データ放送
- YouTube™、AbemaTVの動画配信サービスの視聴［ネットワーク］
- 携帯端末を使った本機の操作［携帯端末連携］
- BD-Live（インターネットにつないで、特典映像取り込み、双方向ゲーム等を利用できるようになるBlu-ray Discの規格）
- 三菱HEMSおよび三菱ルームエアコンの遠隔操作機能

これらの機能を使うためには、本機の設置場所にインターネットへの接続環境が整っている必要があります。
プロバイダおよび回線事業者と別途ご契約（有料）をしていただく必要があります。
くわしくは、プロバイダまたは回線事業者にお問い合わせください。

インターネット編は、当社ホームページ『取扱説明書ダウンロード』からご覧になれます。
https://www.mitsubishielectric.co.jp/ldg/kaden/ibim_contents/

こちらからもアクセスできます。

※『インターネット編』は当社ホームページへの掲載のみです。
『使いかたガイド』とともに冊子他の形態でのご提供はありません。

■ご不明な点がございましたら、当社ホームページ「サポート・お問い合わせ」もご利用ください。

http://www.mitsubishielectric.co.jp/support/#ctv

こちらからもアクセスできます。

■壁掛け金具、壁掛け金具取付用金具について

本機は、壁掛け設置ができます。
本機の専用壁掛け金具、壁掛け金具取付用金具は、三菱電機株式会社での取り扱いを行っておりません。
お買い求めは、当社販売店よりご購入ください。
商品の詳細に関しましては、下記取扱いメーカーまで、お問い合わせください。

アルファーテック株式会社　　ホームページ：http://www.atc-inc.co.jp/

お知らせ

本機は、新4K8K衛星放送の8K放送には、対応しておりません。

もくじ

本機の取扱説明書について —— 3

安全上のご注意

安全のために必ずお守りください —— 6
ご使用上のお願い —— 13
留意点 —— 16

各部のなまえとはたらき

各部のなまえとはたらき
本体前面/側面 —— 17
本体後面 —— 19
リモコンのボタンの位置とはたらき —— 20
付属品 —— 22
専用壁掛け金具［他社製斡旋品］—— 23

テレビを見るまでの準備

テレビを見るまでの準備 —— 24
準備1 設置と転倒・落下を防止する— 25
準備2 アンテナをつなぐ —— 33
- UHFアンテナ —— 33
- BS・110度CSアンテナ —— 34
- レコーダーを通して接続するとき —— 37
- CATV（ケーブルテレビ）パススルーのとき —— 38

準備3 インターネットにつなぐ —— 39
準備4 他の機器とつなぐ —— 43
- CATV（ケーブルテレビ）のデジタルセットトップボックスとの接続（録画）— 43
- スカパー！プレミアムサービスチューナーとの接続（録画）—— 45
- 本機の家庭内ネットワーク機能に対応したテレビとの接続 —— 47
- ビデオ/ゲーム機との接続 —— 49
- HDMI機器との接続 —— 50
- デジタル音声（光）入力対応のオーディオ機器との接続 —— 53

ケーブルを束ねる —— 54
準備5 リモコンの準備をする —— 55
準備6 電源を入れる —— 56
準備7 らくらく設定をする —— 57
準備8 ACAS番号を確認する —— 59
屋内配線も重要です —— 60
準備9 外付ハードディスクを使う — 61
準備10 通信設定をする —— 67

テレビを見るとき

テレビ放送を見る
（地上・BS・110度CSデジタル・BS4K・110度CS4K）— 71
他の機器の映像を見る（入力切換）—— 72
字幕を出す —— 72
チャンネル内の映像を切り換える（映像切換）— 73

使いかたガイドの見かた

使いかたガイドの見かた —— 74
使いかたガイド一項目一覧 —— 77

困ったとき

メニュー/サブメニューの使いかた —— 81
仕様 —— 84
保証とアフターサービス —— 86
故障かな？と思ったら —— 89
お手入れのしかた —— 91
放送について —— 92
著作権等について —— 94
テレビの上手な使いかた —— 裏表紙

本誌ご利用上のご注意

■この取扱説明書は主にLCD-A50RA2000の本体図を使用して説明しています。
ご使用の機種により各部の配置が若干異なりますが名称は同じです。
■この取扱説明書の記述内容はすべて2021年9月時点のものです。
■本機、接続機器共に、ソフトウェア更新、新モデルでの仕様変更等により記載内容と異なることがあります。
■仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。

⚠注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

■図記号の意味は次のとおりです。

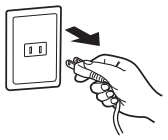
絶対に行わない	絶対に分解・修理はしない	絶対に触れない	絶対に風呂・シャワー室では使用しない
絶対に水にぬらさない	絶対にぬれた手で触れない	必ず指示に従い行う	必ず電源プラグをコンセントから抜く
注意する	指をはさまないよう注意する	手をはさまないよう注意する	高圧注意（本体後面に表示）

⚠警告

電源プラグは容易に手が届く場所の電源コンセントに差込んでください。
完全に通電を遮断するには電源プラグを抜いてください。

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常のまま使用すると、火災・感電・傷害の原因になります。
すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、
販売店に修理をご依頼ください。



プラグを抜く

故障(画面が映らない、音が出ないなど)や煙、変な音・においがするときは使わない

火災・感電の
原因になります。

使用禁止

すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、
煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。

本機を落としたり、キャビネットや液晶パネルが破損したときは、電源プラグをコンセントに差し込まない

使用禁止

火災・感電の原因になります。

水をかけない
水の入った物、花瓶などを機器の上に置かないこと

本機の中に水などが入ると、
火災・感電の原因になります。

水ぬれ禁止

万一入った場合は、すぐに電源を切り、
電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

異物を入れない　特にお子様にご注意ください

通風孔などから金属類や
燃えやすいものなどが入ると、
火災・感電の原因になります。

禁止

万一入った場合は、すぐに電源を切り、
電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

液晶テレビのガタや振動が激しいときは使わない

傷害の原因になります。
すぐに電源を切り、電源プラグを
コンセントから抜いて、人が
近寄れないように処置した上で、
販売店にご相談ください。

使用禁止

取付ネジや部品のゆるみやはずれがあるときは使わない

傷害の原因になります。
すぐに電源を切り、電源プラグを
コンセントから抜いて、人が
近寄れないように処置した上で、
販売店にご相談ください。

使用禁止

⚠警告

無線LANを使用するときは、火災報知器などの自動制御機器の近くに設置しない

禁止

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になることがあります。

無線LANを使用するときは、医療用電気機器を用いる場所には設置しない

禁止

本製品からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

設置禁止

ぐらついたり変形した
台の上や傾いた所など。
落ちたり、倒れたり
してけがの原因になります。

テレビ台の車(キャスター)を固定する

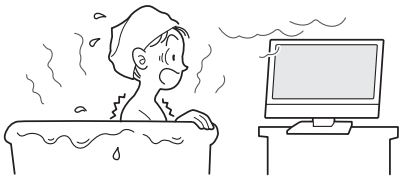
車を固定

台が動くと本機が倒れ、
けがの原因になります。

風呂場では使わない機器を水滴のかかる場所に置かないこと

風呂場禁止

水ぬれ禁止



水気の多い場所での使用は、火災・感電の原因になります。

同梱スタンド以外での設置は必ず当社指定の専用壁掛け金具と壁掛け金具取付用金具を使用し、設置は必ず専門業者に依頼する

専門業者に依頼

- 同梱スタンド以外での設置は、専用壁掛け金具と壁掛け金具取付用金具に同梱されている取扱説明書の記載どおりに設置し、専用壁掛け金具と壁掛け金具取付用金具に同梱のネジを必ずご使用ください。
- 専門業者以外の方が取り付けられたり、取扱説明書の記載と異なる取り付けをすると、テレビが落下し、けがの原因になります。死亡事故に結びつく恐れもあります。

本機にのったり、ぶらさがったりしない

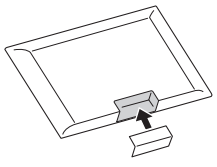
特にお子様にご注意ください

禁止

落下してけがの
原因になります。

同梱のスタンドを取り付けない場合、本体のスタンド取付部位に必ず指定のカバーを取り付ける。

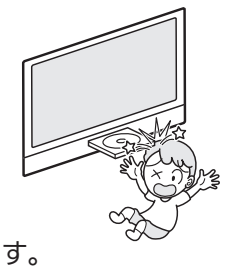
カバーを取り付ける



異物が侵入し、
火災・故障の
原因になります。

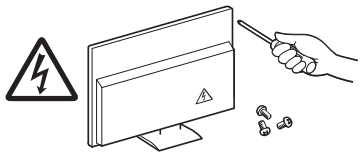
本機の壁掛け設置時にディスクトレイを出したままにしない

禁止



けがの原因になります。

分解や改造をしない



分解禁止

内部には電圧の
高い部分があり、さわると感電の
原因になります。また、けが・火災の原因になります。

内部の点検・調整・修理は販売店にご相談ください。

安全のために必ずお守りください(つづき)

⚠警告

電源コード、接続ケーブルを傷つけない

傷つけ禁止

重いものをのせたり、壁面にはさんだり、
熱器具に近づけたり、無理に引っ張らない。
コードが破損して火災・感電の原因になります。

乾電池、ネジなど小さな付属品やSDカードなどは幼児の手の届くところに置かない

飲み込むと窒息死する
原因になります。

万一飲み込んだ場合は
医師に相談してください。

禁止

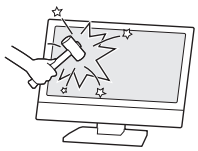
接続線で遊ばせない。けがの原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない

禁止

タコ足配線などにより、
電源コンセントの容量を超えると
火災･感電の原因になります。

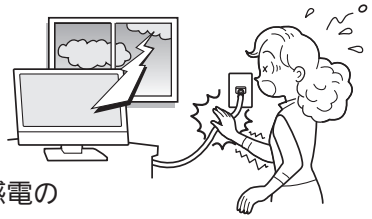
液晶画面に強い衝撃を加えない



禁止

パネルが割れて、けがの原因になります。

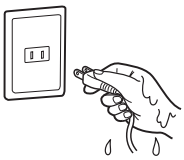
雷が鳴りだしたら、アンテナ線に触れない



接触禁止

火災・感電の
原因になります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



ぬれ手禁止

感電の原因になります。

液晶パネルが破損して液晶が漏れ出た場合は、吸い込んだり、目や口に入れない

禁止

中毒を起こす原因になります。
万一、目や口に入った場合は、きれいな水で
ゆすいだ後、すぐに医師の診断を受けてください。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる

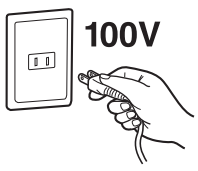
電源プラグにほこりが
ついたりコンセントの
差込みが不完全な場合は、
火災の原因になります。

ほこりを取る

傷んだ電源コードや差込みのゆるいコンセントは使わないでください。1年に一度は電源プラグとコンセントの定期的な清掃と接続を点検してください。

電源は、交流100Vを使う

交流 100V 電源
以外で使用すると、
火災・感電の原因に
なります。



100V

⚠注意

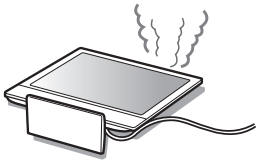
設置のときは次のことをお守りください

風通しが悪かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。

空気穴(通風孔)をふさがない

禁止

あお向けや横倒しにしない



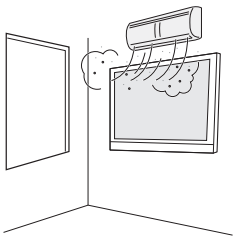
禁止

直射日光の当るところや熱器具のそばに置かない

設置禁止

キャビネットが変色、変形などの劣化を起こす原因になることもあります。

エアコンの吹出口や吸込口の近くに取り付けない



設置禁止

火災の原因になります。

押入れ、本箱などに入れない

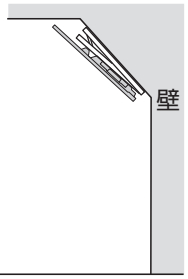
設置禁止

湿気やほこりの多い所、油煙や湯気の当たる所、温泉地域の腐食性ガスの多い所に置かない

設置禁止

垂直面以外の壁面に取付けない
下向きで使わない、さかさまにしない

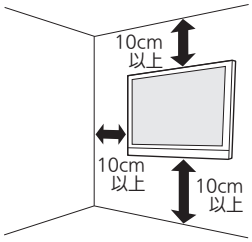
内部が高温になって火災の原因になります。
落下してけがの原因になります。



設置禁止

据付の際は周囲に十分な距離を取る

設置位置によっては、通風孔からの空気の流れで壁を汚す、また火災の原因になります。



周囲から離す

安全のために必ずお守りください(つづき)

⚠注意

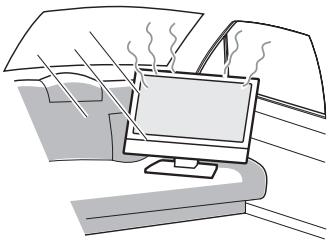
アンテナ工事には、技術と経験が必要です

販売店にご相談ください。
送配電線から離れた場所に設置してください。
アンテナが倒れると感電の原因になります。

販売店に相談する

BS、CS放送受信用アンテナは強風の影響を受けやすいので確実に取り付けてください。

車の中で使用しない



禁止

熱・振動により壊れて、火災・感電の原因になります。

ディスクトレイが開いているときに、開閉口に手を入れない

特にお子様にご注意ください

手はさみ注意

手がはさまれ、けがの原因になります。

日本国外で使用しない

禁止

日本以外では、電源電圧、電源環境が異なるため使用しないでください。
火災、感電の原因になります。
放送方式が異なるため使用できません。
また、アフターサービスもできません。

This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other countries.
No servicing is available outside of Japan.

スタンド使用時は、ワックスのかかった床に直接置かない

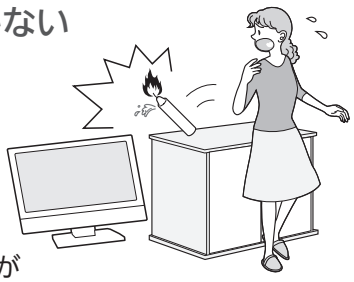
設置禁止

床上のワックス、洗剤、溶剤により、
床材と本体底面の
すべり止め用ゴムの密着性が
上がり、床材のはがれ、着色の原因になります。

本機の上や近くにものを置かない

ローソクのような裸火を本体の上や近くに置かない

禁止



金属類や液体が
内部に入ると、火災・感電の原因になります。

トレイ開閉口の前にものを置かない

禁止

倒れたり落下によって、
けがや故障の原因になります。

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使わない

禁止

飛び散って、けがの原因になります。

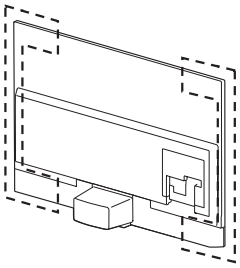
携帯端末のリモコン機能による本機の遠隔操作は、本機が見える位置からのみ行う

万が一本機に何か異常が発生しても、
本機の状況を確認することができません。

指示に従う

⚠注意

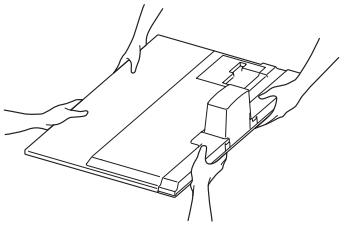
製品の開梱や運搬をするときは、下図の破線部を持たない



禁止

製品の故障や破損の原因になることがあります。

製品の運搬や移動をするときは、製品を水平にしたままで保持しない 垂直に立てた状態にする



禁止

製品の故障や破損の原因になることがあります。

接続線をつけたまま移動しない

禁止

火災・感電の原因や、つまずいてけがの原因になります。

電源プラグやアンテナ線、機器間の接続線や転倒防止金具をはずしたことを確認のうえ、移動してください。

持ち運びは2人以上で行う

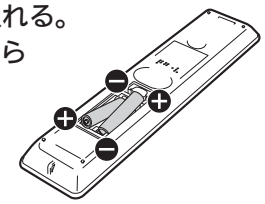
本機の落下や思わぬけがの原因になります。
車(キャスター)付きのテレビ台ごと移動させるときは、テレビ台のキャスター固定手段をはずして本機を支えながらテレビ台を押す。

本機を支えながらテレビ台を押さないと、本機が落下してけがの原因になることがあります。

2人以上で

乾電池の逆差し禁止

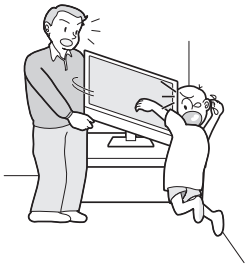
- プラス⊕とマイナス⊖の向きを正しく入れる。
- マイナス⊖側から入れる。



正しく入れる

回転中や、オートターン使用中は、本機に近づかない

特にお子様にご注意ください



禁止

回転させたときに、壁との間にはさまれると、けがの原因になります。

乾電池取扱いについて

- 分解したり、ショートさせたり、火の中に投入したりしない。
- 充電しない。
- 種類の違う電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。

禁止

電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚す原因になります。

アルカリ乾電池のアルカリ性溶液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流してください。
また、目に入ったときはきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。

本機に内蔵の無線装置を分解・改造しない 本機に貼られている無線機器認定の証明ラベルをはがさない

禁止

電波法に抵触するおそれがあります。

内部掃除は、販売店に依頼する

1年に一度くらいを目安にしてください。
内部にほこりがたまったまま使うと、火災や故障の原因になります。

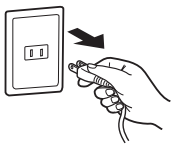
とくに梅雨期の前に行うのが効果的です。
内部掃除費用については販売店にご相談ください。

内部掃除

安全のために必ずお守りください(つづき)

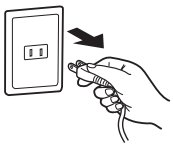
⚠注意

電源プラグを持って抜く



コードを引っ張ると傷がつき、
感電・火災の原因になります。

お手入れのときは、電源プラグを抜く



感電の原因になります。

電源プラグは根元まで差し込む

差し込みが不完全な場合、
火災・感電の原因になります。

長期間の旅行、外出のときは電源プラグをコンセントから抜く

ケーブル類を接続したりはずしたりする前に、必ず電源プラグを抜いてください。

ご使用上のお願い

電波妨害について

本機は規格を満たしていますが若干のノイズが出ています。「ラジオ」や「パソコン」などの機器に本機を近付けると互いに妨害を受けることがあります。このときは機器を影響のないところまで本機から離してください。

搬送について

- 引っ越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱と緩衝材および包装シート・袋をご用意ください。
- 本機は立てた状態で運搬してください。
  横倒しにして運搬した場合、液晶パネルのガラスが破損したり、輝点や黒点が増加することがあります。
- ディスクやSDカードは取り出しておいてください。

壁への取付けについて

- 危険ですからお客様ご自身で取り付けずに、販売店にご相談ください。
- 壁掛け時に製品が前傾等のチルト状態にならないように設置ください。製品が床面に対し、垂直に設置されていない場合、故障の原因になります。
- ケーブルの端子形状/サイズによっては壁面と干渉し使用できません。設置前にご確認ください。
- 振動の多い場所、衝撃や大きな力がかかる場所には設置しないでください。
- 液晶テレビと壁掛け金具の総合荷重に長期間耐えられない壁や、地震や想定される振動や外力に十分耐えられない壁には取り付けないでください。
- 壁掛け金具を壁面に固定するときは、壁の材質や構造に適したネジをご使用ください。
- 長期間取り付けてご使用されたときは、壁の材質によっては、テレビの放熱によりテレビ本体の背面や上面にあたる壁面が変色したり、壁紙がはがれたりすることがあります。
- 壁掛け金具をいったん取り付けると、外した場合に壁にネジ穴の跡や壁掛け金具の取付け跡が残ります。

露付き(結露)について

本機の内部に水滴がつくことを露付きといいます。
露付き状態で本機を使用すると、本体(HDD)やディスク、SDカードの情報が読みとれないなど、本機が正常に動作しなかったり故障の原因となることがあります。

- 露付きは、次のように温度が急に変わる場合に起こります。
  - 部屋を急激に暖房したとき
  - エアコンなどの冷風を直接当てたとき
  - 本機を寒いところから暖かいところに移動させたとき
- 露付きが起こりそうなときは、電源を入れて2時間以上おき、充分に乾燥させてからご使用ください。
  ディスクやSDカードが入っているときは、必ず取り出しておいてください。
- ディスクが結露しているときは、ディスクの表面の水滴をよく拭き取ってからお使いください。

取り扱い

本機は、振動や衝撃、周囲の環境(温度など)の変化に影響されやすい部品(HDD(本体)など)を使用した精密な機器です。取り扱いは慎重に行ってください。

液晶パネルについて

- 液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯する画素があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承願います。液晶パネルの輝点(点灯したままの点)や黒点(点灯しない点)は保証の対象とはなりません。
- 液晶パネルが汚れた場合は、脱脂綿か柔らかい布で拭きとってください。
  液晶パネルを素手で触らないでください。
- 液晶パネルに水滴などがかかった場合はすぐに拭きとってください。そのままにすると液晶パネルの変質、変色の原因になります。
- 液晶パネルを傷つけないでください。
  硬いもので液晶パネルの表面を押したり、ひっかいたりしないでください。

動作時・待機時の本体温度について

本体や上面の一部は温度が高くなりますので、ご注意ください。品質・性能には問題ありません。

画面の残像について

時刻表示や静止画を長時間表示された場合や、画面に黒帯等が出る状態で長時間ご使用された場合、部分的に映像が消えない(残像)症状が発生する場合がありますが、これは故障ではありません。通常の動画放送をご覧いただくことにより、次第に目立たなくなります。

大切な録画(録音)の場合は

- **本体はディスクにダビングするまでの、一時的な保管場所としてお使いください。**
- **大切な録画(録音)内容は、BD-RE/BD-R/DVD-RW/DVD-Rに保存しておくことをおすすめします。**
- 事前に録画(録音)をして、正常に録画(録音)されていることを確認しておくことをおすすめします。
- 本機に故障や異常が発生すると、本体に録画(録音)された内容が失われることがあります。
- 万一本機の不具合により録画できなかった場合の補償については、ご容赦ください。

ご使用上のお願い(つづき)

開封時・ご使用初期の臭いについて

開梱時や据付初期のご使用中およびご使用後に、多少の臭いを感じることがあります。
これは、プラスチックなどを外装や内部に使用しているために発生するものです。
この臭いはご使用とともに軽減されます。

本機を使わないときは

ふだん使わないときは、ディスクやSDカードを取り出し、リモコンまたは本体の電源ボタンで電源を切っておいてください。

録画再生用レンズ(レーザーピックアップ)について

録画/再生用レンズにごみ・ホコリ・たばこのヤニなどがつくと、映像の乱れや音飛びなどが発生し、正常に録画や再生ができなくなります。
点検、清掃については「三菱電機お客さま相談センター」にご相談ください。正常にお使いいただくためには、定期的な点検をおすすめします。

録画(録音)内容の補償について

- **万一、下記を一例とする何らかの不具合が発生した場合、停電、結露、その他の事象により録画(録音)や編集が正常に行われなかった場合に、録画内容やデータの損失、およびこれらに関するその他の直接・間接の損害については、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。**
  (例)
  - ・本機で録画したディスクを、他社のBD/DVDレコーダーやパソコンのBD/DVDドライブで動作させたことによる不具合
  - ・上記の動作を行ったディスクを、再び本機で動作させたことによる不具合
  - ・他社のBD/DVDレコーダーやパソコンのBD/DVDドライブで録画したディスクを、本機で動作させたことによる不具合
  - ・本機、記録媒体(本体、外付ハードディスク、メディアなど)の故障または異常による録画(録音)内容の損失
- 本機を修理した場合(本体以外の修理を行った場合でも)、本体や外付ハードディスクの録画(録音)内容が失われることがあります。その場合の内容の補償、データの損失、およびこれらに関するその他の直接・間接の損害については、当社は責任を負いかねます。
  あらかじめご了承ください。

壁掛け使用時について

壁掛け使用時は、「本体操作部ロック」を「入」にして使用することをおすすめします。設定のしかたについては、「使いかたガイド」をご覧ください。

無線LAN/Bluetooth®について

本機の無線LANは2.4GHz帯と5GHz帯、Bluetooth®は2.4GHz帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使用している場合があります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、以下の事項に留意してご使用ください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

三菱電機お客さま相談センター P.86

■現品表示

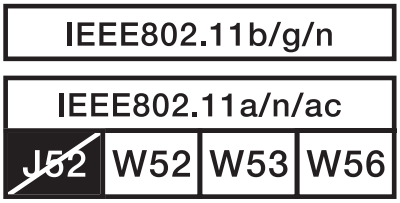
- Bluetooth®の周波数表示の見かた

「2.4」:2.4GHz帯を使用する無線設備であることを表す。
「FH」:変調方式を表す。FHSS方式。
「1」:想定される与干渉距離を表す。10m以下
▬▪▬▪▬ :2.4GHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを表す。

- 無線LANの周波数表示の見かた

「2.4」:2.4GHz帯を使用する無線設備であることを表す。
「DS/OF」:変調方式を表す。DSSSとOFDM方式。
「4」:想定される与干渉距離を表す。40m以下
▬ ▬ ▬ :2.4GHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを表す。

本機は、以下の無線LANの規格にも対応しています。



「W52」:5.2GHz 帯(36、40、44、48ch)が利用可能。
「W53」:5.3GHz 帯(52、56、60、64ch)が利用可能。
「W56」:5.6GHz 帯(100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch)が利用可能。
※本機は従来の無線規格であるJ52には対応していません。

■機器認定

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局として、工事設計認証を受けた無線設備を内蔵しています。従って本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。使用上の注意に反した機器の利用に起因して電波法に抵触する問題が発生した場合、当社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

- ●本機内蔵の無線装置を分解・改造すること。
- ●本機に貼られている証明ラベルをはがすこと。

■使用制限

- ●本機は、日本国内でのみ使用できます。
- ●本機はご家庭内の同一部屋内で、見通しのよいところでご使用ください。
- ●5GHz帯の無線設備を屋外で使用することは法令で禁止されています。
- ●すべての使用環境で無線LAN接続、性能を保証するものではありません。
- ●2.4GHz帯の機器(電子レンジなど)をお使いの場合は、無線LANの通信が途切れることがあります。
- ●5GHz帯に対応した無線LANルーター(アクセスポイント)をお使いの場合は、5GHz帯でのご使用をおすすめします。
- ●本機のBluetooth®機能を使用するには、Bluetooth®対応機器がA2DPのソース機器である必要があります。
- ●本機はAVRCPには非対応です。
- ●すべてのBluetooth®対応機器との無線通信を保証するものではありません。
- ●本機を航空機や医療電気機器などの高精度電子機器の近くで使用すると誤動作の原因となることがあります。これらの近くで使用しないでください。特に、医療機関には設置しないでください。
- ●電波の状況によっては、音が途切れたり雑音が入ったりすることがあります。
- ●無線LANはBluetooth®と同一周波数帯を使用するため、近くでBluetooth®機能を利用すると通信速度の低下や雑音・通信不能の原因になることがあります。無線LANの接続に支障がある場合はBluetooth®機能の使用を中止してください。

■セキュリティ

- ●無線LANでは、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届いてしまいます。セキュリティに関する設定を行うことで、以下のようなことを防げます。
  - ・通信内容を盗み見られる
    悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
  - ・不正に侵入される
    悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)。
    特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)。
    傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)。
    コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)。

本来、無線LAN製品はセキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分に理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。セキュリティ対策を行わず、あるいは、無線LAN仕様上やむをえない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- ●本機は、Bluetooth®標準規格に準拠した盗聴防止機能を搭載していますが、環境や設定により機能が十分でない場合があります。傍受にご注意ください。
- ●Bluetooth®利用時のデータや情報の漏洩により発生した損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ●本機を第三者に譲渡したり、廃棄するなどお客様以外の方へ渡される場合は、LANの設定情報を初期化してください。初期化のしかたは、当社ホームページ掲載の本機取扱説明書「インターネット編」P.3 ▶ をご覧ください。

留意点

ご使用の前に下記の内容を必ずお読みください。

■受信異常により本機の操作ができなくなった場合は、以下のいずれかを行ってください。（リセット）
- テレビ本体の電源ボタンを長押しする。いったん電源が切れ、自動的に起動します。
- コンセントから電源プラグを抜き電源をいったん切ったあと、しばらくして再度コンセントへ電源プラグを差し電源を入れ直す。

■国外でこの製品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料サービス契約上禁止されています。

■万一、本機の不具合により、録画できなかった場合の補償についてはご容赦ください。

■本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

●本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください

本機の受信周波数帯域（VHF：90 ～ 222MHz、UHF：470 ～ 710MHz、BSデジタル：1032 ～ 1489MHz、110度CSデジタル：1595MHz ～ 2071MHz、BS4K：2224 ～ 2681MHz、110度CS4K：2748 ～ 3224MHz）に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。

●頻繁に電源プラグを抜いたままにしないことをおすすめします

長期間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は、本機の電源プラグをコンセントから抜いたままにしないことをおすすめします。本機は電源オフ（待機）状態でも、自動的にテレビ放送のメンテナンス情報を受信して、ソフトウェアの更新が行われる場合があります。

本体電源ボタン設定P.18を「電源断」に設定して本体電源ボタンで電源を切る場合も頻繁に切らないことをおすすめします。

●天候不良によっては、画質、音質が悪くなる場合があります

衛星デジタル放送の場合、雨の影響により衛星からの電波が弱くなっているときは、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えます。（降雨対応放送が行われている場合）降雨対応放送に切り換わったときは、画面にメッセージが表示されます。

降雨対応放送では、画質や音質が少し悪くなります。また、番組情報も表示できない場合があります。

■お客様または第三者が本機の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合または本機の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

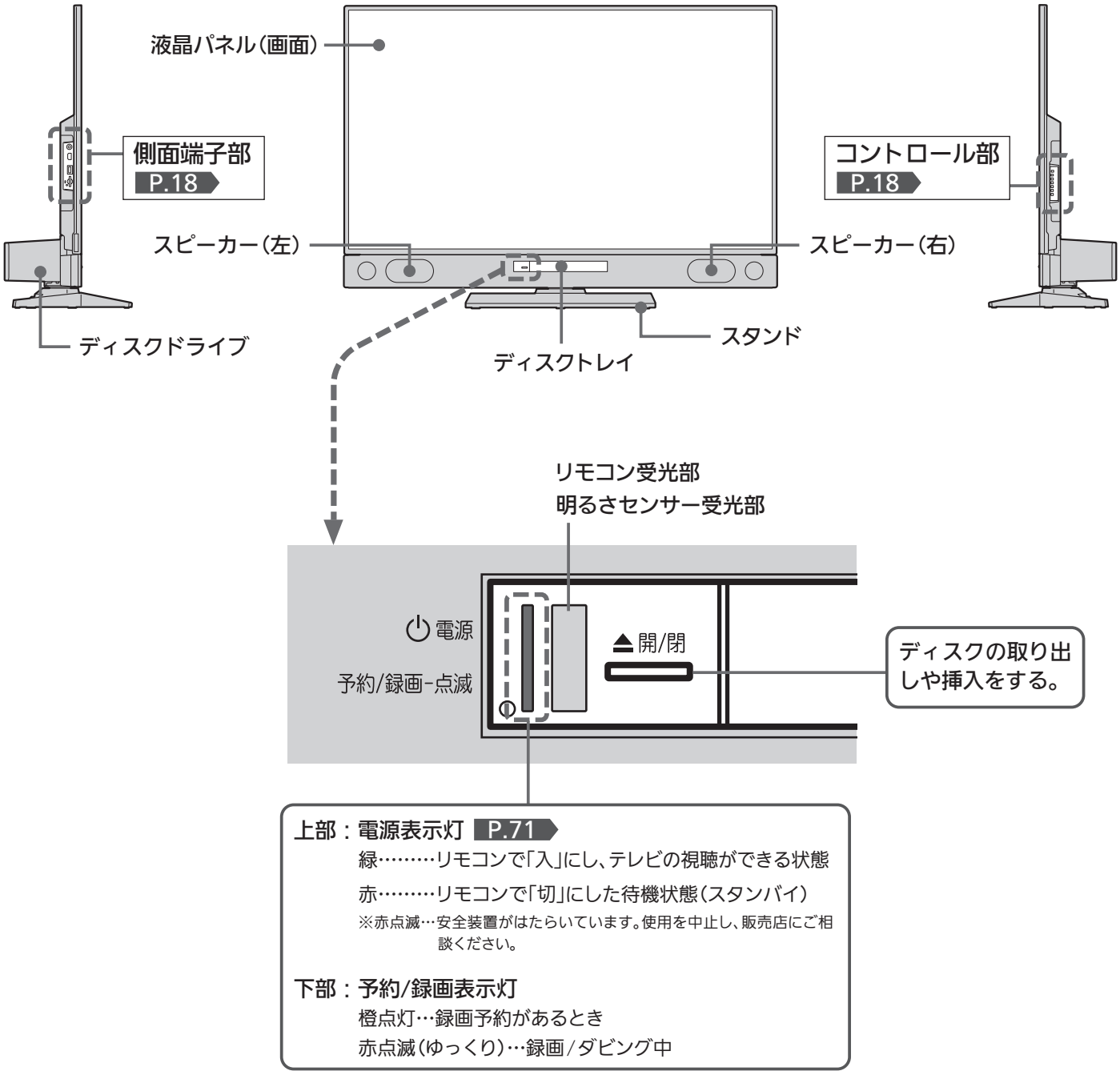
■データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、アフターサービス時も含め、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■本機でお客様が設定されるデータには、個人情報を含むものがあります。本機を譲渡または廃棄される場合には、「全情報の初期化」により個人情報を消去されることをおすすめします。

■火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、塩害、公害、ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧による故障および損傷は有料修理になります。

■LCD（液晶）パネルおよびバックライトの経時による劣化（焼き付き、輝度の低下など）が生じた場合は有料修理になります。

各部のなまえとはたらきー本体前面/側面



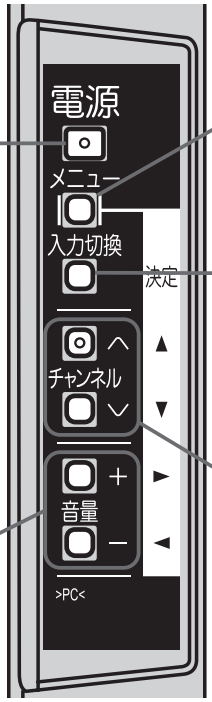
お知らせ

- ディスクトレイは、開いてからしばらくすると自動的に閉まります。
- 本機を壁掛け設置で使用する場合は、「本体操作部ロック」を「入」にして使用することをおすすめします。設定のしかたについては、「使いかたガイド」をご覧ください。
- リモコンの電源ボタンで「切」にすると待機状態になります。マイコンおよびチューナーなどの回路が通電しています。
- 本機は待機状態のときに、自動的にテレビ放送のメンテナンス情報を受信して、ソフトウェアの更新が行われる場合がありますので、長期間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は電源プラグを抜いたりしないことをおすすめします。
- 受信状態により、テレビ放送などで操作できなくなった場合は、しばらく電源プラグを抜いてみてください。
- **「メニュー」→「設定」→「初期設定」→「本体電源ボタン設定」→「電源断」に設定し機能停止状態にした場合、次のようなときは、本体の電源ボタンで「切」にしないでください。**
  - ディスクの読み込み中、初期化(フォーマット)中、ファイナライズ中/解除中
  - SDカードやUSB機器、外付ハードディスクの認識中や読み込み中
  - 録画予約したとき
  - 録画中
  - ダビング中
- テレビ画面に向けて光線銃などを使い、画面を標的にするゲームでは、正しく動作しないことがあります。
  くわしくはゲームの取扱説明書をご覧ください。

次ページへつづく

各部のなまえとはたらきー本体前面/側面(つづき)

コントロール部



電源を入/切できる。
このボタンで電源「切」にしたとき、電源コードを抜いたときのように、電源表示灯を消し、ほぼ全面的に機能を停止させるように設定できます。
「メニュー」→「設定」→「初期設定」→「本体電源ボタン設定」→「電源断」
「電源断」に設定して、このボタンで電源を「切」にすると、次にこのボタンで「入」にするまで、リモコンでの操作ができなくなるのでご注意ください。

受信異常によりテレビの操作ができなくなった場合、長押しするとテレビを再起動できます。

音量を調節する。
メニュー表示中はリモコン〈〉と同じはたらきをする。

メニューを表示する。

ビデオなどを見るときに押す。 P.72
押すごとに、地上デジタル→BS→CS1→CS2→BS4K→CS4K→ビデオ→HDMI1→HDMI2→HDMI3→Bluetoothの順に切り換わります。
メニュー表示中はリモコンの決定と同じはたらきをする。

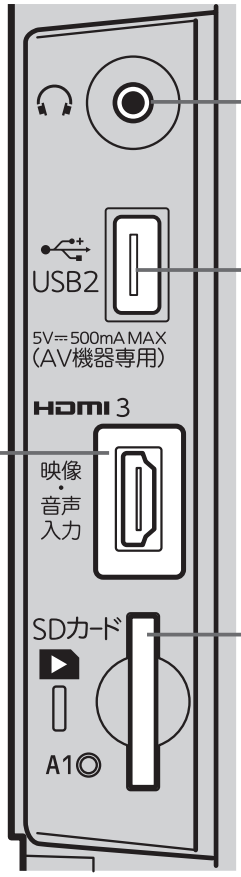
視聴している放送の種類の中でチャンネルを順送り、または逆送りで切り換える。 P.71
メニュー表示中はリモコンの∧∨と同じはたらきをする。

お知らせ

入力切換、チャンネル、音量ボタンが、リモコンの決定、∧∨〈〉と同じはたらきをするのは、メニューの各項目が画面に表示されているときに限ります。

メニュー項目が消えたあとの画面、たとえば項目「見る(再生)」から表示した録画一覧などではリモコンと同じはたらきはしません。

側面端子部



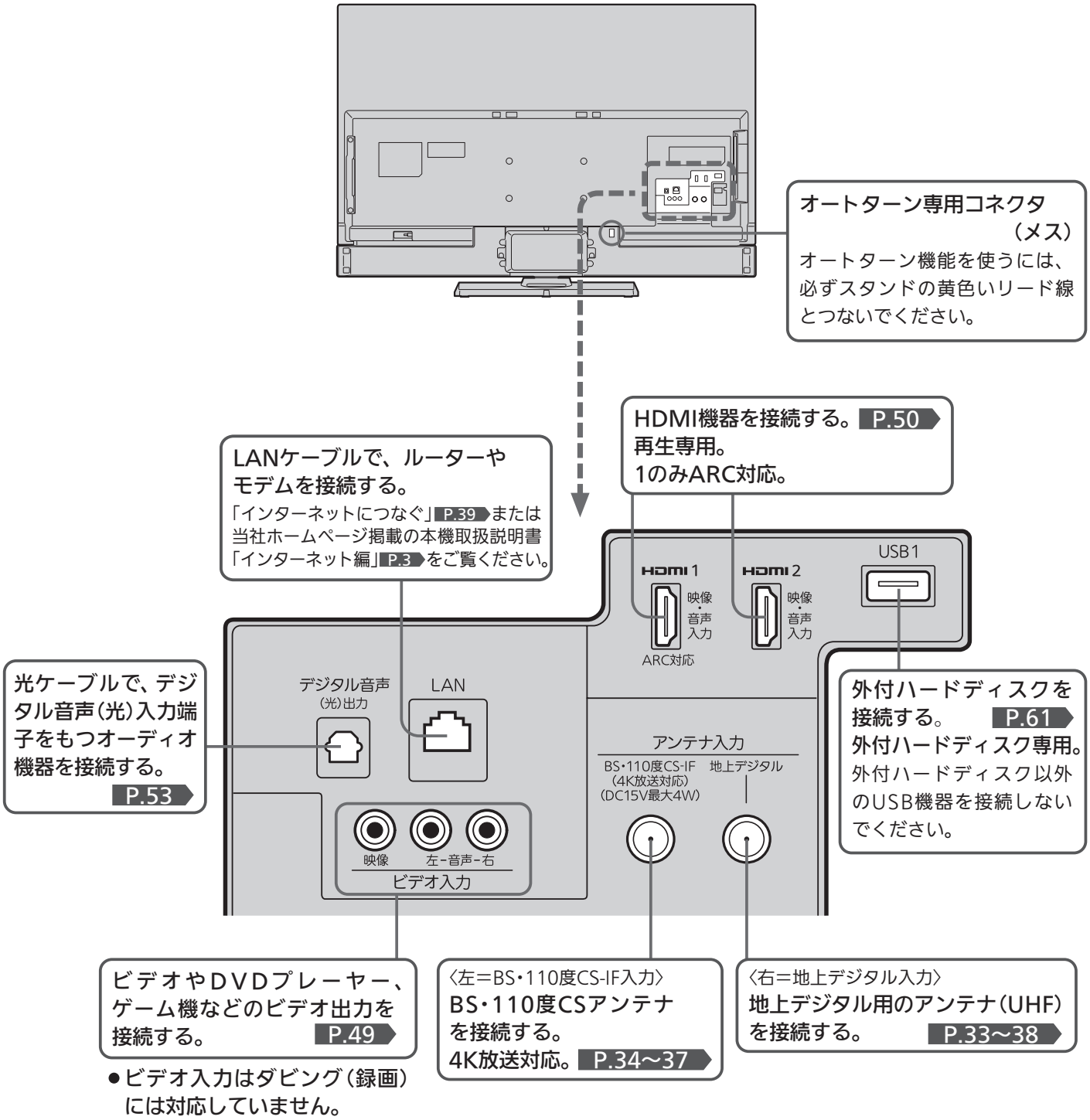
ステレオのヘッドホンを差し込む。
スピーカーとヘッドホンで別々に音量が設定できます。
スピーカーとヘッドホンを同時に使用したい場合は、「音声出力先手動切換」を「入」に切り換えた後、消音ボタンで「スピーカー/ヘッドホン同時出力」を選択してください。
外部音声出力端子としてもお使いください。

デジタルカメラなどのUSB機器を接続する。
AV機器専用。
本機で利用可能な写真/AVCHD/MP4の動画用のUSB機器以外は接続しないでください。

HDMI機器を接続する。
再生専用。 P.50

SDカードを入れる。

各部のなまえとはたらきー本体後面

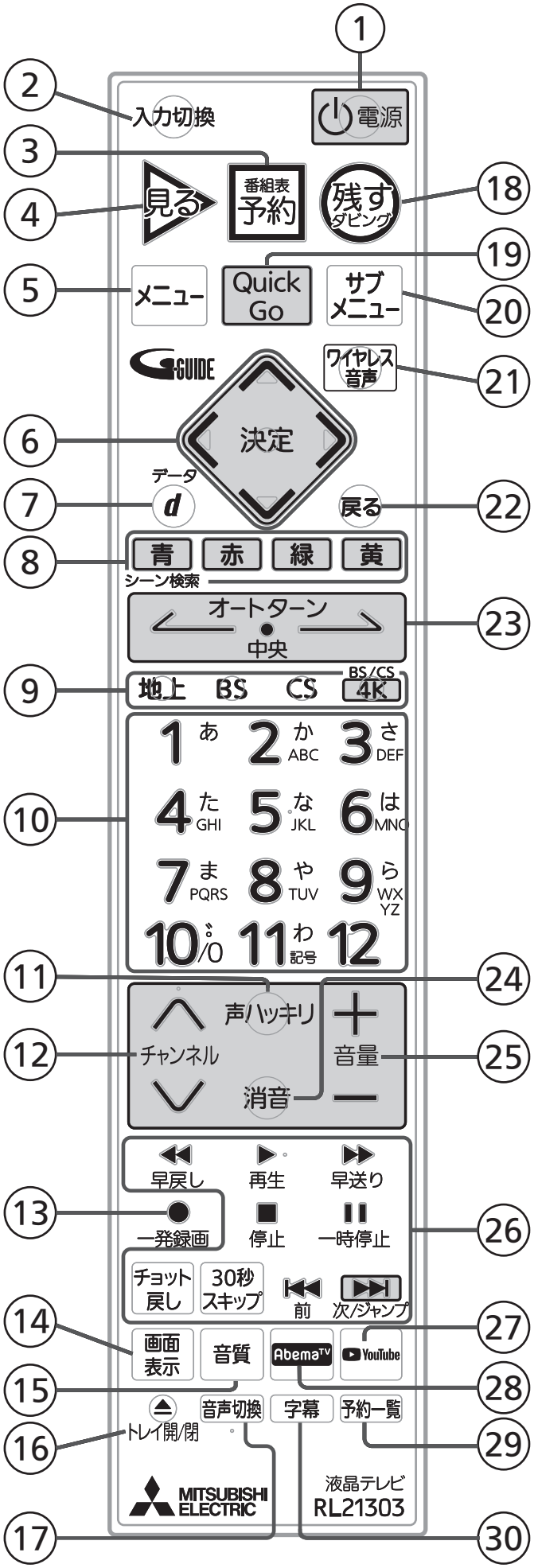


●ビデオ入力はダビング（録画）には対応していません。

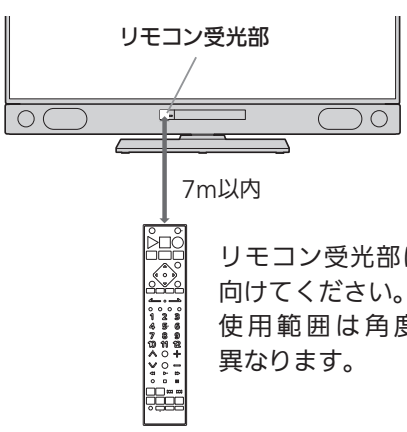
お知らせ

これまでD端子を使って接続していた機器で、HDMI端子があるものについては、HDMI端子をご利用ください。

リモコンのボタンの位置とはたらき



リモコンの使用範囲



リモコン受光部に正しく向けてください。
使用範囲は角度により異なります。

この製品はリモコンコードを変更できます。

当社製テレビが複数台近くにあるときなどに切り換えると便利です。

① **電源**：電源を入/切する。P.71

② **入力切換**：押すごとに、ビデオ→HDMI1→HDMI2→HDMI3→Bluetooth→放送の順に切り換わる。P.72
使用しない入力をスキップ(飛び越し)することができます。

③ **予約** 番組表：番組表を表示する。
番組表から録画予約をする。

④ **見る**：録画一覧を表示する。

⑤ **メニュー**：メニューを表示する。

⑥ **上下左右、決定**：番組表、メニューなどの画面を表示中に、選択や決定などをする。

⑦ **データ**：テレビ放送に連動したデータ放送画面を表示する。P.71
画面に「ⓓボタンを押してください」と表示が出たときにも押します。

⑧ **色ボタン**：番組表、録画一覧の表示中やデータ放送などで、画面に色ボタンの表示があるときに使用できる。P.71

青ボタン：再生中にシーン検索画面を表示する。
画面によって機能が変わるので、画面下部の説明に従って操作してください。

⑨ **地上、BS、CS、BS/CS 4K**：地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送、BS4K・110度CS4K放送に切り換える。P.71
視聴しない放送波のボタンを無効にすることができます。

⑩ **数字ボタン**：チャンネルを直接選んだり、数字や文字を入力する。P.71

⑪ **声ハッキリ**：声ハッキリプラスの設定をする。

⑫ **チャンネル** ∨ ∧：チャンネルを順送り、または逆送りで切り換える。P.71

⑬ **一発録画**：見ている番組をすぐに録画する。

⑭ **画面表示**：番組名、チャンネル番号、ディスク残量(停止中)、録画中、再生中、視聴中の情報や、現在時刻などを画面に表示する。

⑮ **音質**：音声設定画面を表示する。

⑯ **トレイ開閉**：ディスクトレイを開閉する。

⑰ **音声切換**：視聴中や再生中の音声を切り換える。

⑱ **残す** ダビング：ダビング一覧を表示する。

⑲ **Quick Go**：Quick Go画面を表示する。

⑳ **サブメニュー**：サブメニューを表示する。

㉑ **ワイヤレス音声**：Bluetooth®音楽操作選択画面を表示する。

㉒ **戻る**：メニューなどの画面を表示中に、1つ前の画面や元の画面に戻る。

㉓ **オートターン**：本体の向きを変えたり、中央に戻す。

㉔ **消音**：音を一時的に消す。
音声出力先手動切換を「入」に設定した場合は、音声出力先を切り換える。

㉕ **音量** ＋ ー：音量を調節する。P.71

㉖ **早戻し、再生、早送り、停止、一時停止、チョット戻し、30秒スキップ、前、次/ジャンプ**：本体に録画した番組やディスクなどを見るときに使う。

㉗ **YouTube**：YouTube™画面を表示する。
インターネットへの接続と設定が必要になります。
「インターネットにつなぐ」P.39または当社ホームページ掲載の本機取扱説明書「インターネット編」P.3をご覧ください。

㉘ **AbemaTV**：AbemaTV画面を表示する。
インターネットへの接続と設定が必要になります。
「インターネットにつなぐ」P.39または当社ホームページ掲載の本機取扱説明書「インターネット編」P.3をご覧ください。

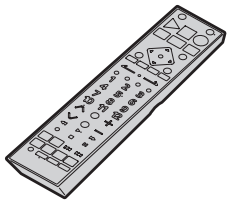
㉙ **予約一覧**：予約一覧画面を表示する。
時刻指定予約をする。

㉚ **字幕**：字幕の言語や、表示の有無を設定する。P.72
一部録画したものでも字幕表示の操作ができます。

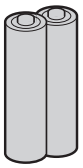
付属品

テレビを見るために

リモコン…1台

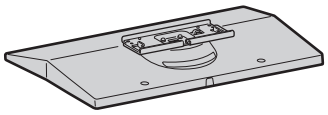


単4形乾電池…2個
（リモコンのそばにあります）

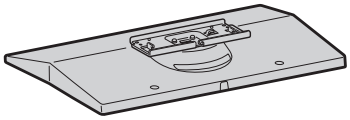


※スタンド…1台

［40/50V型］



［58V型］

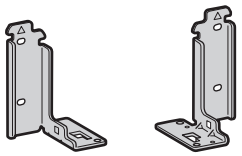


※スタンド取付ネジA…4個
（取扱説明書と同じ袋に入っています）
スタンドとテレビ本体の固定に使用

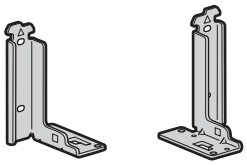
ネジA（M4×10）

※支柱…2本

［40/50V型］



［58V型］

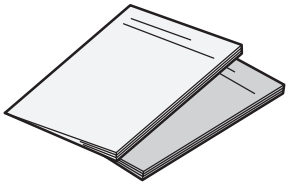


※支柱取付ネジB…4個
（支柱用の梱包袋に袋入りネジを貼り付けてあります）
スタンドと支柱の固定に使用

ネジB（M5×8）

（ネジ先端にネジロック剤（青色）が塗布されています）

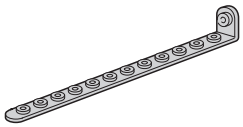
取扱説明書…1冊
早わかりガイド…1冊
（梱包箱下方にあります）



安全のために

テレビ台への固定用部品
取扱説明書と同じ袋に入っています。

固定バンド…1本



テレビ側固定ネジ…1個
ネジC（4×12）

テレビ台側固定ネジ…1個
ネジD（3.5×20）

※最初に本体と付属品のスタンドをスタンド取付ネジで確実に取り付けてください。

本体とスタンドを取り付けないと製品が転倒し、けがの原因になります。
また、テレビ台や床などが傷つくことがあります。
取付方法は、「テレビ本体へのスタンドの取り付け」P.26 をご覧ください。

専用壁掛け金具［他社製斡旋品］

同梱スタンド以外での設置は、必ず下記当社指定の専用壁掛け金具と壁掛け金具取付用金具を使用し、
必ず「お買上げの販売店」または専門業者にご依頼ください。

お知らせ

本機の専用壁掛け金具と壁掛け金具取付用金具は、三菱電機株式会社での取り扱いを行っておりません。
お買い求めは、当社販売店よりご購入ください。
商品の詳細に関しましては、下記取扱いメーカーまで、お問い合わせください。

アルファーテック株式会社　　ホームページ：http://www.atc-inc.co.jp/

アルファーテック株式会社製　専用壁掛け金具/壁掛け金具取付用金具（斡旋品）

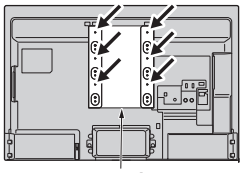
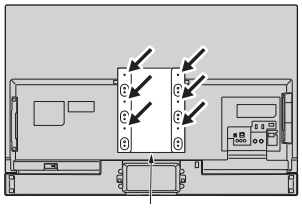
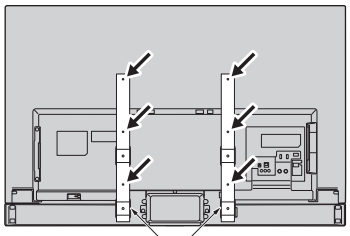
壁掛け金具	型番	PS-6F-MK06RXB		PS-6F-MK05RX
	調整角度	約0°（固定）		約0°（固定）
	取付ネジ（同梱品）	M6x20	M6x20	M6x20
	対象のテレビのV型	40V型	50V型	58V型

※壁掛け設置には、下記の専用壁掛け金具取付用金具が必要となります。

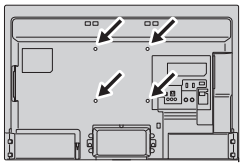
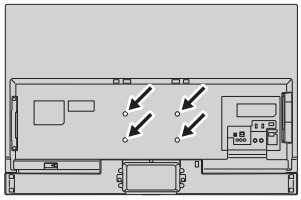
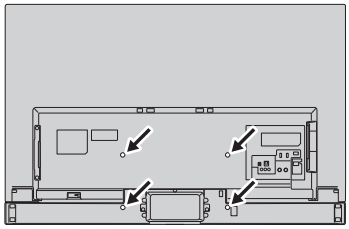
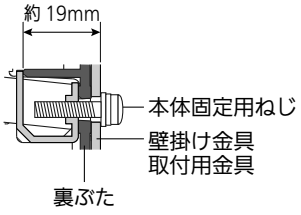
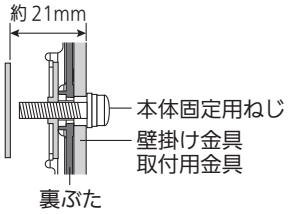
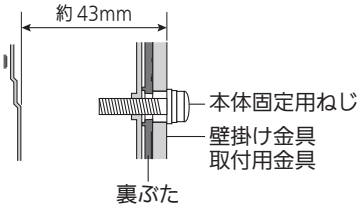
壁掛け金具取付用金具	型番	MK06BDアダプタ		MK05BDアダプタ
	取付ネジ（同梱品）	M4x16	M6x20	M6x20
	対象のテレビのV型	40V型	50V型	58V型

※液晶テレビの底面に取り付けるカバーも同梱されています。

専用壁掛け金具取付位置（↙）

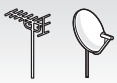
テレビのV型	40V型	50V型	58V型
取付位置			

壁掛け金具取付用金具取付位置（↙）

テレビのV型	40V型	50V型	58V型
取付位置			
取付用ネジ穴断面図			

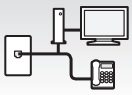
テレビを見るまでの準備

準備1 設置と転倒・落下防止 P.25

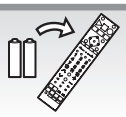
準備2 アンテナをつなぐ
ケーブルテレビでホームターミナル/セットトップボックスをご使用のときは P.38・43
 P.33

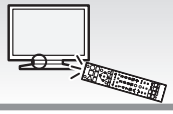
必要により

必ず行う

準備3 インターネットにつなぐ
ブロードバンド回線経由で、動画配信サービスや一層充実したデータ放送が楽しめます。
 P.39

準備4 録画・再生機器、ゲーム機などとつなぐ
お手持ちの録画・再生機器、ゲーム機を利用できます。
P.43

準備5 リモコンの準備  P.55

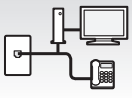
準備6 電源を入れる
リモコンは受光部に向けて操作してください。  P.56

準備7 「らくらく設定」をする
テレビを見るための基本的な設定が簡単にできます。 P.57

準備8 ACAS番号の確認 P.59

必要により

準備9 外付ハードディスクを使う
直接録画ができ、本体に録画した番組を移動することもできます。
P.61

準備10 通信設定をする
インターネットを利用するために、通信設定をしてください。
 P.67

準備1 設置と転倒・落下を防止する

本機の設置についてのお願い

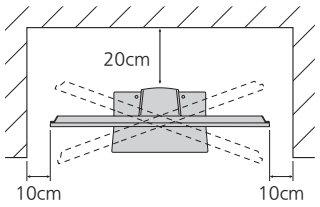
お願い! ●他のデジタル機器や電子レンジなどから出る電磁波によって本機の映像が乱れたり、雑音が出たりすることがあります。相互に影響しない位置に設置してください。

スタンドでの設置時について

不安定な場所に置くと、ディスクが正常に動作しないなどの原因になります。

お願い! ●傾斜面や、水平でない面、カーペットなどの軟らかい面への設置をさけてください。
●本機の下へ物をはさまないでください。
●本機を高いところに置かないでください。
●万一転倒した場合に備えて、就寝場所や避難障害となる場所に本機を置かないでください。

●最低限、下図のスペースを取ってください。



●不安定な場所に置かないでください。
台の上に設置するときは、平坦ですべりにくい、本機の外形より大きい、変形しない台の上に置いてください。

据付時(壁掛け時)について

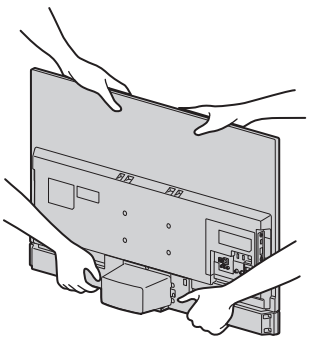
●お客様ご自身では据付けないでください。(安全や機能の確保ができません。)
●液晶テレビの据付け(壁掛け)は、必ず「お買上げの販売店」または専門業者にご依頼ください。
●「お買上げの販売店」が据付け後に立ち会ってください。操作手順、安全を確保するための正しい使いかたについて、「お買上げの販売店」から説明を受けてください。
●万一落下した場合に備えて、就寝場所や避難障害となる場所に本機を設置しないでください。

移設時について

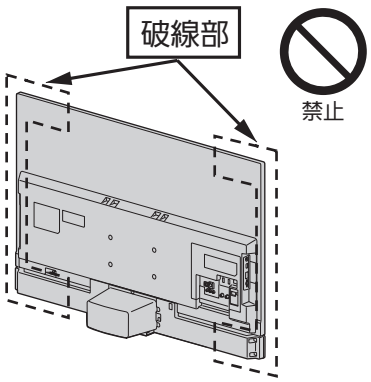
●増改築・引越しのため液晶テレビを壁から取り外したり、再度据付け(壁掛け)をするときは、専門の知識と技術が必要です。
「お買上げの販売店」または「三菱電機修理窓口」にご相談ください。

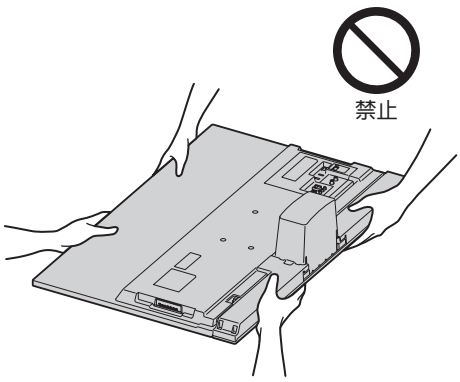
製品の取扱いについて

※製品の開梱や運搬をするときは、
下図のように製品を垂直にしたまま
保持してください。



※製品の運搬や移動をするときは、製品の破線部の位置を持たないでください。
※水平にしたままで、保持しないでください。





準備1 設置と転倒・落下を防止する(つづき)

本機の同梱スタンドでの設置についてのお願い

テレビ本体と付属品のスタンドをスタンド取付ネジで確実に取り付けてください。

本体とスタンドを取り付けないと製品が転倒し、けがの原因になります。
また、テレビ台や床などが傷つくことがあります。

テレビ本体へのスタンドの取り付け

用意するもの:プラスドライバー No.2(柄が細みで長いもの)

※ネジ頭の十字穴にぴったり合ったドライバーをお使いください。十字穴に合わないドライバーをお使いになると、十字穴がつぶれたり、ドライバーの先がつぶれたりしてネジがしっかりしまらなくなります。

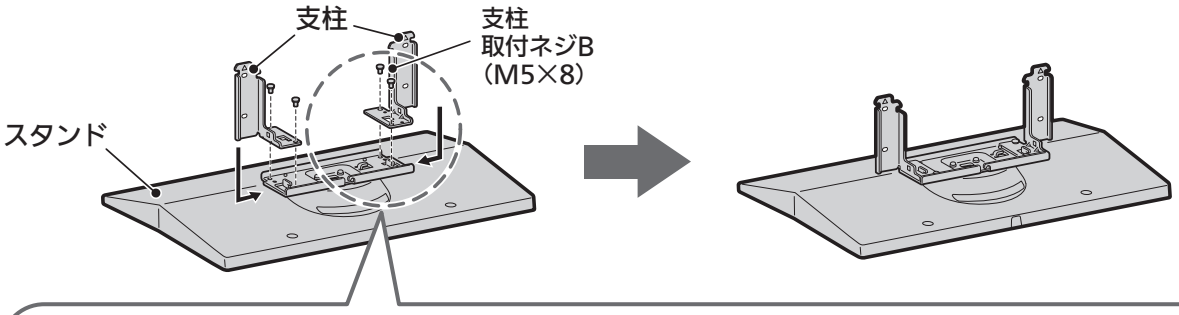
※ネジの取り扱いにはご注意ください。(お子様が飲み込むと危険です。)

必ず2人以上で作業してください。
作業中は、指をはさまないよう、ご注意ください。

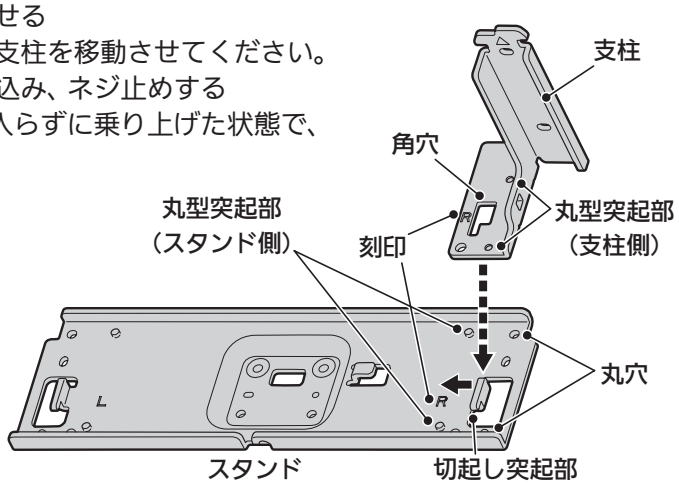
1 付属の支柱取付ネジB(M5×8)で、支柱とスタンドをしっかりネジ止めする

※ネジ止め後、支柱にぐらつきがないことをご確認ください。

支柱取付ネジB入りの袋は、支柱用の梱包袋に貼り付けてあります。

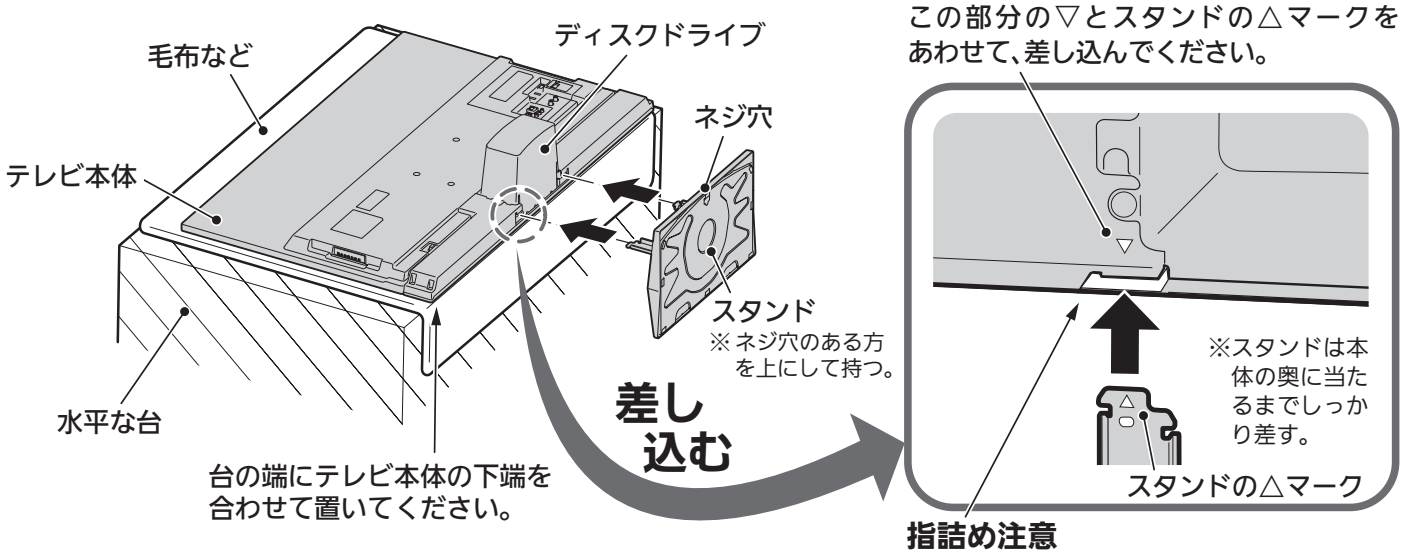


① 取り付ける支柱とスタンドの刻印の文字(「R」と「R」、または「L」と「L」)が合っていることを確認する
② 支柱の角穴をスタンドの切起し突起部に差し込む
③ 支柱をスタンドの中央部へ向かって移動させる
※スタンドの丸型突起部に当たる位置まで支柱を移動させてください。
④ 支柱の丸型突起部をスタンドの丸穴にはめ込み、ネジ止めする
※支柱の丸型突起部が、スタンドの丸穴に入らずに乗り上げた状態で、ネジ止めしないでください。



2 図のようにテレビ本体をふせて置いて、右図のようにスタンドの金属部分をテレビ本体に差し込む

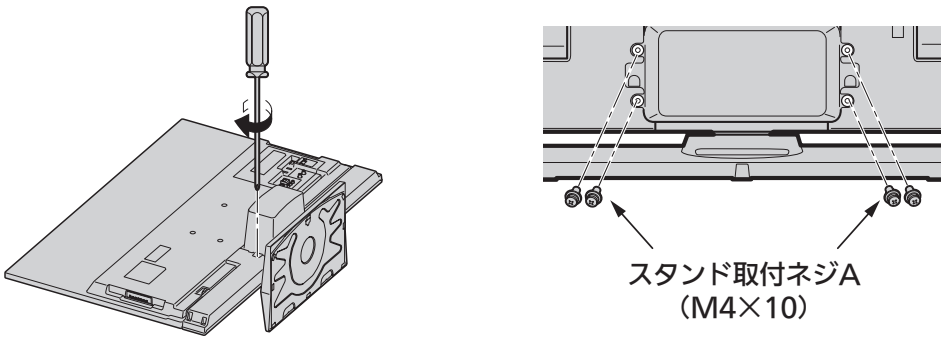
※液晶画面には、さわらないでください。（画面に傷や汚れがつく場合があります。）
※液晶画面前面のダンボールシートはスタンド取り付け作業が完了するまではがさないでください。



3 付属のスタンド取付ネジA（M4×10）で、本体とスタンドをしっかりとネジ止めする

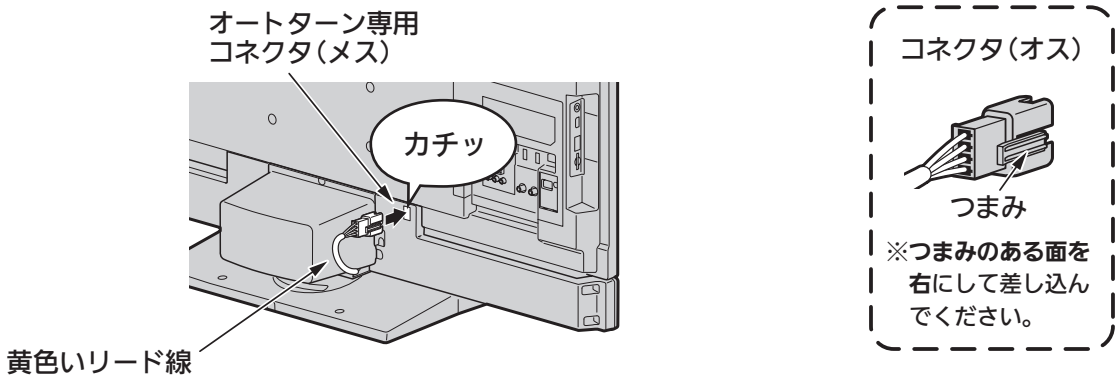
※ネジ止め後、画面の傾きが気になる場合は、締め付けたネジを少しゆるめて傾きを調整のうえ、ネジを締め直してください。

スタンド取付ネジA（M4×10）は、取扱説明書と同じ袋に入っています。



4 黄色いリード線を固定しているテープをはがし、コネクタを矢印の方向にオートターン専用コネクタ（メス）へ差し込む

※テープを付けたままコネクタ部分を引っ張らないでください。破損の原因になります。



設置後は、必ず転倒防止の処置をしてください。くわしくは、P.28 をご覧ください。

準備1 設置と転倒・落下を防止する(つづき)

転倒防止についてのお願い

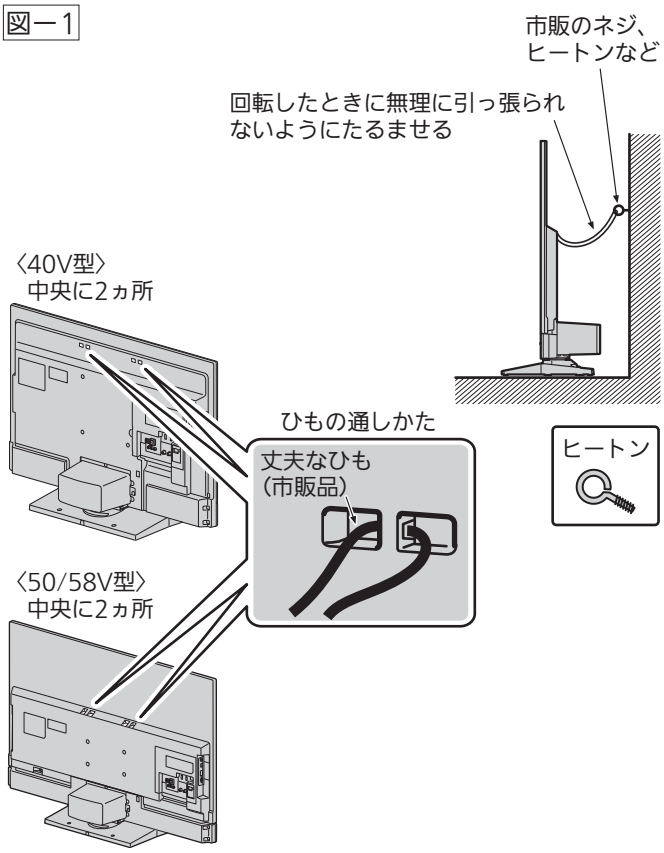
⚠注意

衝撃などで本機が転倒すると、けがの原因になることがあります。ご家庭での安全確保のために、置く場所が決まったら次の処置をお願いします。次の処置内容は、振動や衝撃での製品の転倒、落下によるけがなどの危害を軽減するためのものです。すべての地震等に対してその効果を保証するものではありません。

壁や柱などの安定した場所への固定

図−1のように本機を壁や柱などの安定した場所に本機の重さに耐えられる丈夫なひも(市販品)で確実に取り付けてください。

図−1



お願い! ひも、ネジなどの取り付けは確実に行ってください。

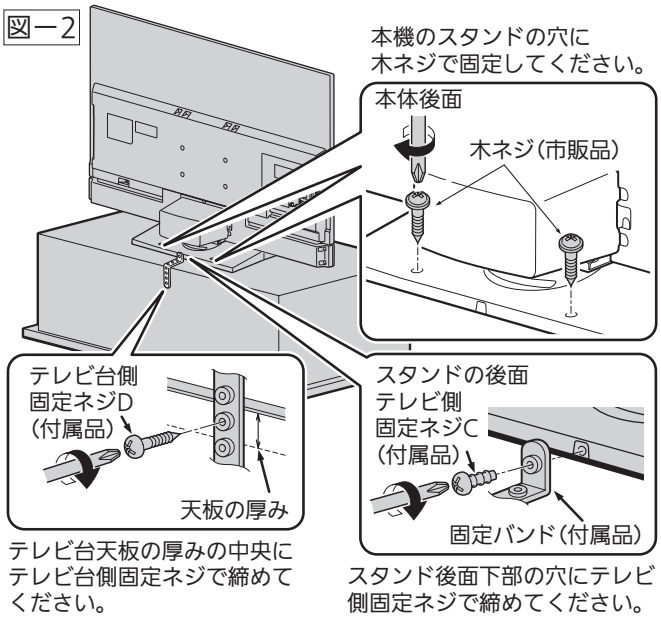
テレビ台への固定

図−2のように、お使いの台の天板と本機のスタンド(2 ヵ所)を市販の木ネジで取り付けてください。軸径(4.1 ～ 4.8 mm)で、十分長い木ネジを使用してください。テレビ台をネジが突き抜けるとけがなどの原因になりますので、テレビ台の厚みにスタンドのネジ穴部分の厚みを足した数より短くしてください。スタンドのネジ穴部分の厚みは次のとおりです。

形名	厚み
40/50V型	6.0mm
58V型	6.5mm

または、テレビ台への固定用部品(付属品)で、スタンド後面下部とお使いの台の強固な部分を、固定してください。

図−2



テレビ台天板の厚みの中央にテレビ台側固定ネジで締めてください。

スタンド後面下部の穴にテレビ側固定ネジで締めてください。

お願い!
- 再び移動させるときは木ネジやテレビ台への固定用部品をはずしてから行ってください。
- テレビ台も可能な限り床や壁などに固定してください。

本機の壁掛け設置についてのお願い

同梱スタンド以外での設置は、必ず当社指定の専用壁掛け金具と壁掛け金具取付用金具を使用し、必ず「お買上げの販売店」または専門業者にご依頼ください。

- 専用壁掛け金具や壁掛け金具取付用金具に同梱されている取扱説明書の記載どおりに設置し、専用壁掛け金具や壁掛け金具取付用金具に同梱のネジを必ずご使用ください。
- 専門業者以外の方が取り付けられたり、取扱説明書の記載と異なる取り付けをすると、テレビが落下し、けがの原因になります。指定と異なる取り付けの場合は保証いたしません。
- 当社指定の専用壁掛け金具、壁掛け金具取付用金具に関しては、P.23 をご覧ください。

用意するもの:プラスドライバー No.2(柄が細みで長いもの)

※ネジ頭の十字穴にぴったり合ったドライバーをお使いください。十字穴に合わないドライバーをお使いになると、十字穴がつぶれたり、ドライバーの先がつぶれたりしてネジがしっかりしまらなくなります。

※ネジの取り扱いにはご注意ください。(お子様が飲み込むと危険です。)

必ず2人以上で作業してください。
作業中は、指をはさまないよう、ご注意ください。

壁掛け金具取付用金具・カバーの取り付け

- 必ず本機に付属の支柱2本と当社指定の専用壁掛け金具取付用金具とカバーを取り付けてご使用ください。
  ※カバーは専用壁掛け金具取付用金具に同梱されています。

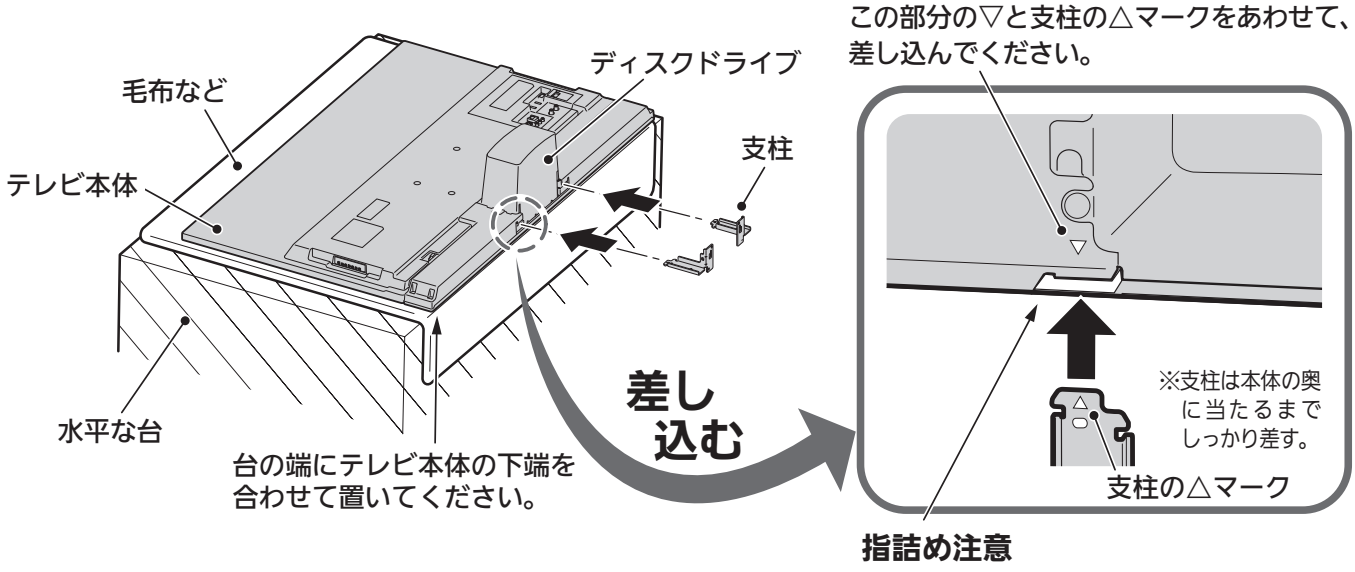
1 図のようにテレビ本体をふせて置いて、右図のように支柱(2本)をテレビ本体に差し込む

※液晶画面には、さわらないでください。(画面に傷や汚れがつく場合があります。)

※液晶画面前面のダンボールシートはテレビ本体の壁掛け取り付け作業が完了するまではがさないでください。

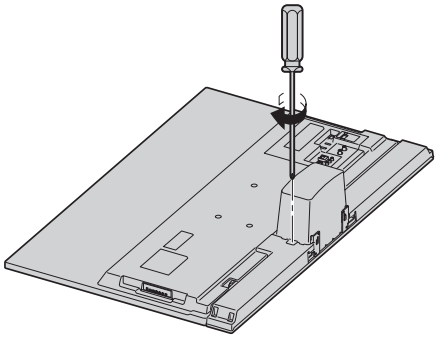
※ネジのゆるみがないことをしっかり確認してください。

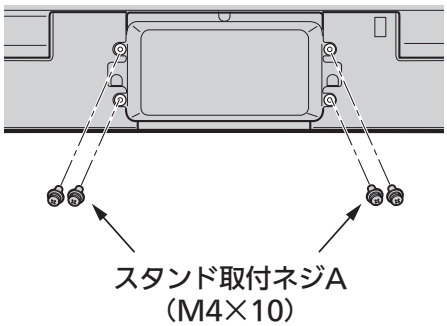
※取り付けかたのイラストは、50V 型です。



2 付属のスタンド取付ネジA(M4×10)で、本体と支柱をしっかりとネジ止めする

スタンド取付ネジA(M4×10)は、取扱説明書と同じ袋に入っています。

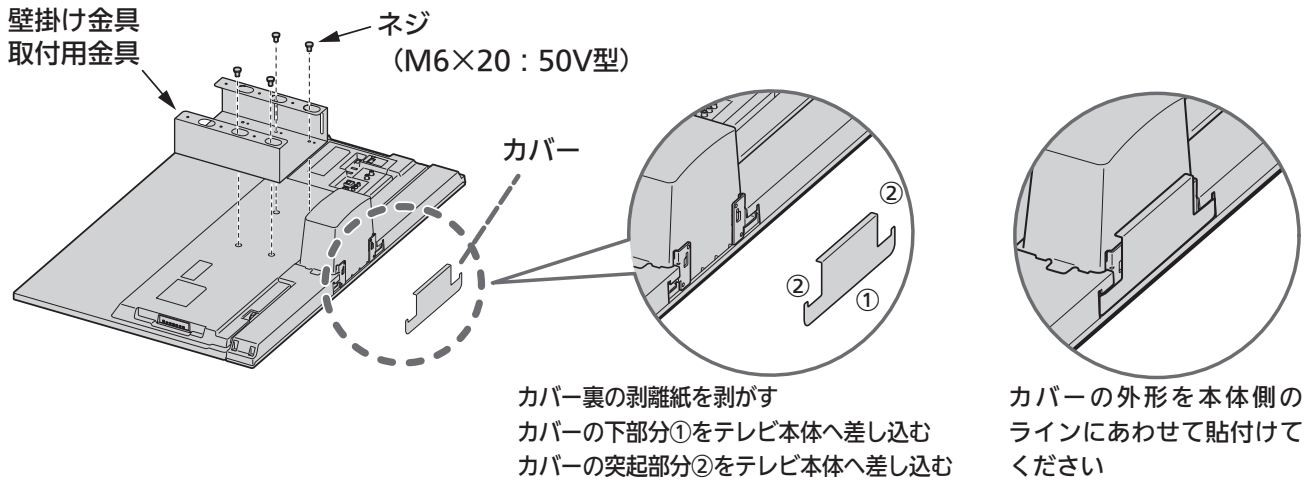




次ページへつづく

3 図のように壁掛け金具取付用金具、カバーを取り付ける

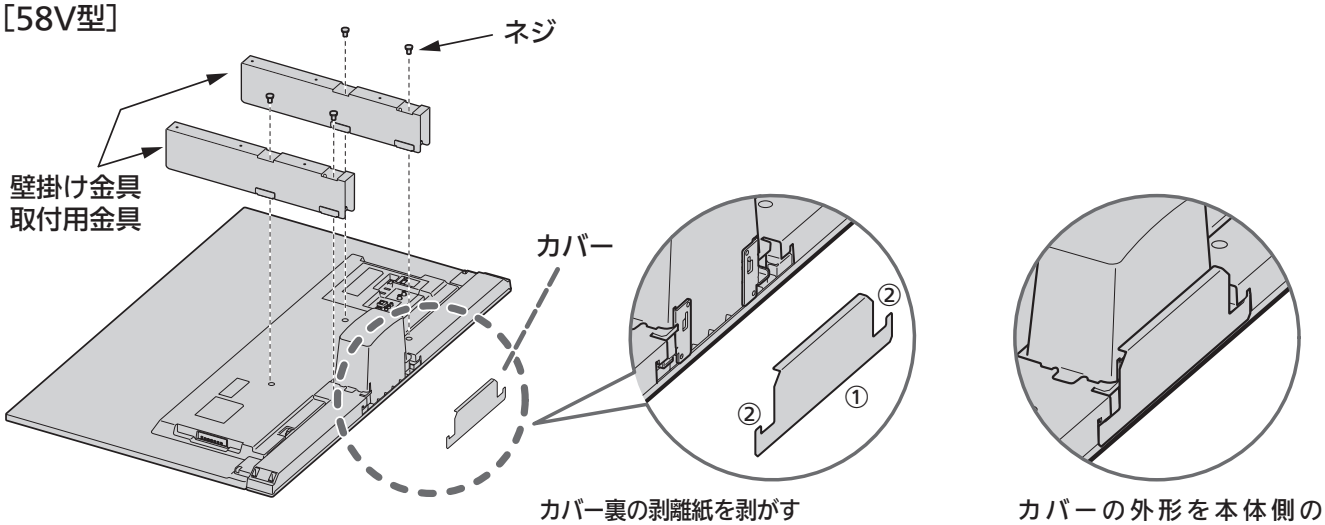
［40/50V型］※取り付けかたのイラストは、50V型です。取付ネジは機種に合ったものをご使用ください。



カバー裏の剥離紙を剥がす
カバーの下部分①をテレビ本体へ差し込む
カバーの突起部分②をテレビ本体へ差し込む

カバーの外形を本体側のラインにあわせて貼付けてください

［58V型］



カバー裏の剥離紙を剥がす
カバーの下部分①をテレビ本体へ差し込む

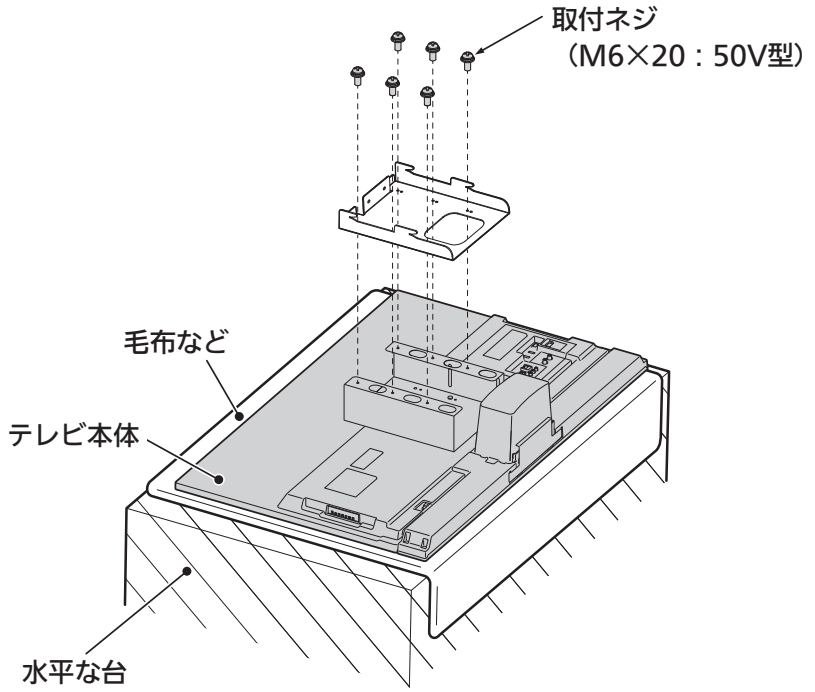
カバーの外形を本体側のラインにあわせて貼付けて

お願い!
- 専用壁掛け金具取付用金具取付位置（✔）P.23の4 ヵ所は、あらかじめネジで固定されています。固定されているネジを取り外してください。取り外したネジを壁掛け金具や壁掛け金具取付用金具の固定に使用しないでください。
- 取付けには専用壁掛け金具取付用金具に同梱のネジとカバーを必ずご使用ください。
- カバーは異物侵入防止のため、必ず取り付けてください。

テレビ本体への壁掛け金具の取り付け

図のようにテレビ本体をふせて置いて、壁掛け金具を取り付ける

※液晶画面には、さわらないでください。(画面に傷や汚れがつく場合があります。)
※液晶画面前面のダンボールシートは、テレビ本体の壁掛け取り付け作業が完了するまではがさないでください。
※ネジのゆるみがないことをしっかり確認してください。
※取り付けかたのイラストは、50V型です。取付ネジは機種に合ったものをご使用ください。



お願い!
- 取付けには専用壁掛け金具に同梱のネジを必ずご使用ください。
- 専用壁掛け金具取付位置はP.23をご覧ください。
- 壁掛け金具を取付け後、本機を壁に設置する前に、ケーブルなどを接続端子へ取り付けてください。

準備1 設置と転倒・落下を防止する(つづき)

落下防止についてのお願い

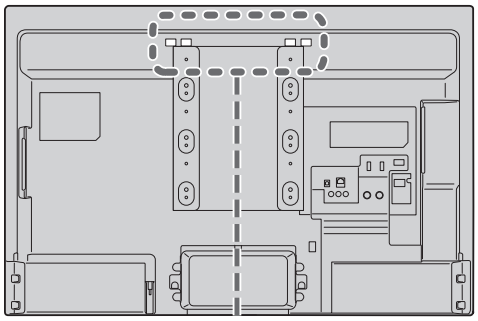
⚠ 注意

衝撃などで本機が落下すると、けがの原因になることがあります。ご家庭での安全確保のために、設置場所が決まったら次の処置をお願いします。次の処置内容は、振動や衝撃での製品の転倒、落下によるけがなどの危害を軽減するためのものです。すべての地震等に対してその効果を保証するものではありません。

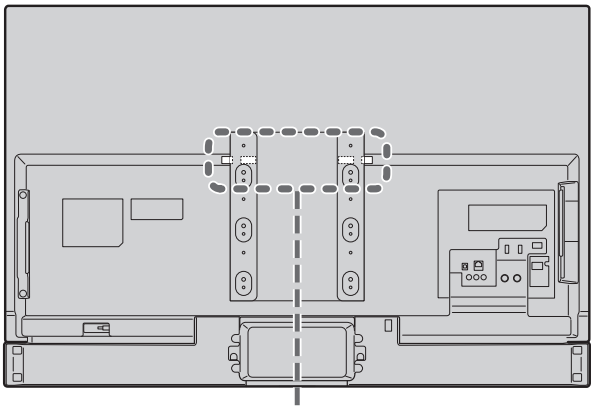
壁や柱などの安定した場所への固定

下図のように本機を壁や柱などの安定した場所に本機の重さに耐えられる丈夫なひも(市販品)で確実に取り付けてください。

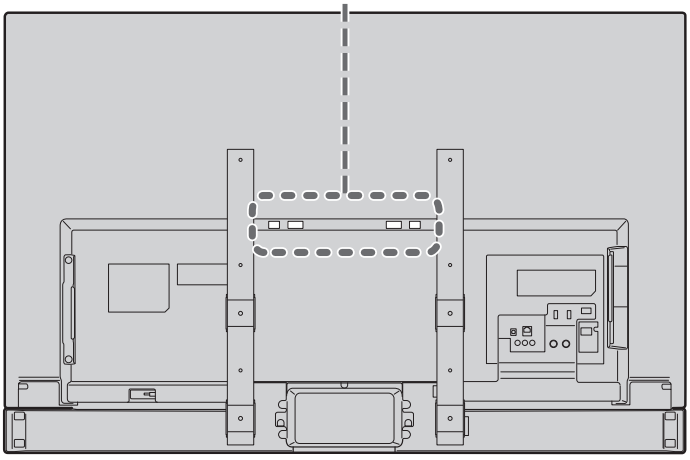
[40V型] 2カ所

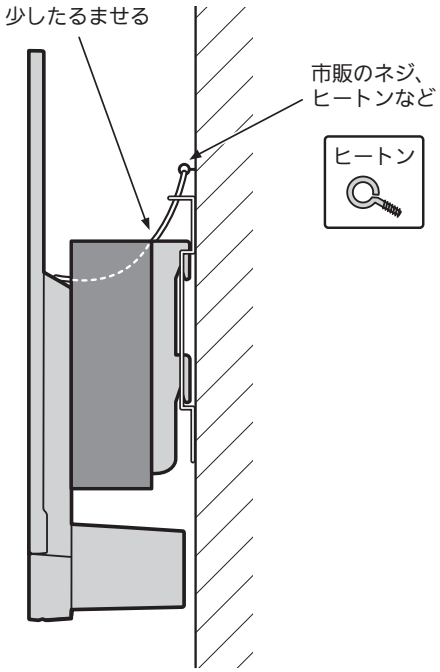


[50V型] 2カ所



[58V型] 2カ所





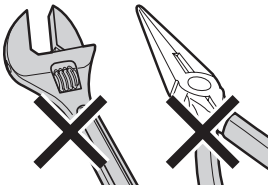
お願い! ひも、ネジなどの取り付けは確実に行ってください。

準備2 アンテナをつなぐ

本機はデジタル回路を多く内蔵していますので、きれいな映像でご覧いただくためにはアンテナの接続が重要です。
P.33〜38 の図を参考にして、あてはまる接続を確実に行ってください。

アンテナ接続時のご注意

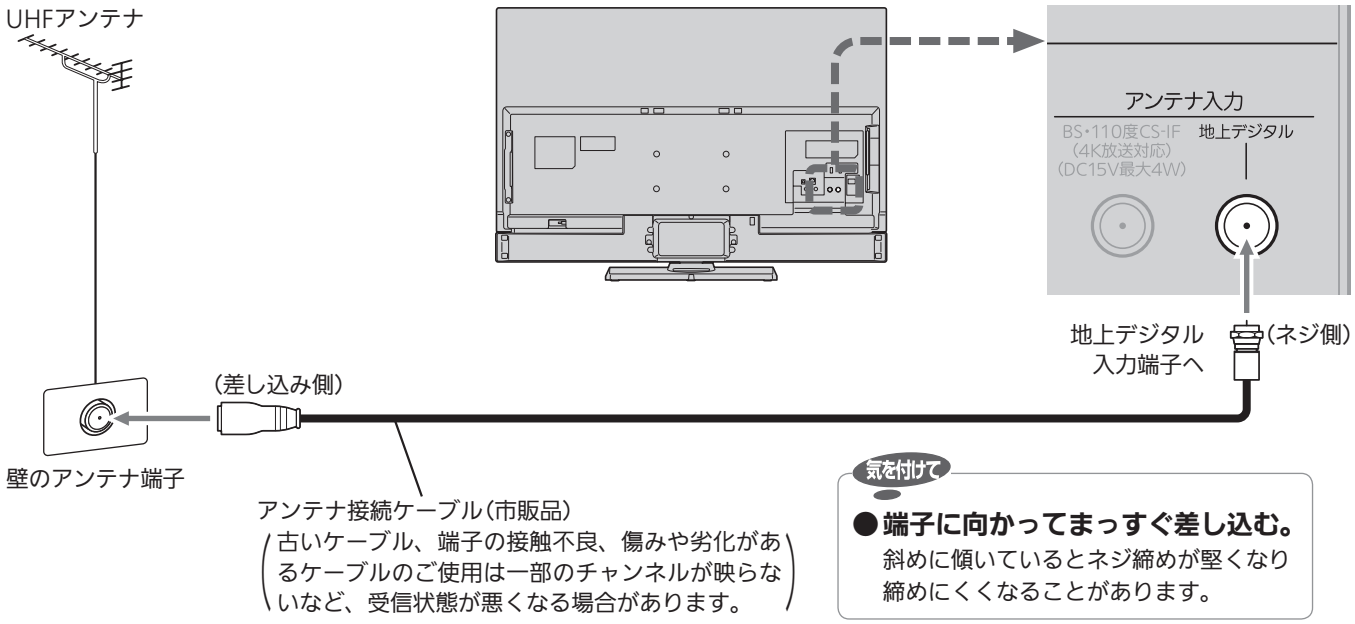
アンテナケーブルのプラグ(F型接栓)は**まっすぐに**差し込み、ネジはゆるまない程度に**手で**締めつけてください。工具などを使うと締めつけすぎて本機内部を破損するおそれがあります。
破損すると修理が必要になります。



アンテナケーブルは芯線が曲がっていないか確認してから差し込んでください。
曲がったままでは折れたり、ショートするおそれがあります。
芯線が折れるとケーブルの交換が必要になります。

UHFアンテナ　地上デジタル放送を見るとき

- 地上デジタル放送をご覧になるためには、UHFアンテナとの接続が必要です。
- ご使用中のUHFアンテナでも一部の地上デジタル放送を受信できる場合があります。くわしくは、お買上げの販売店にご相談ください。

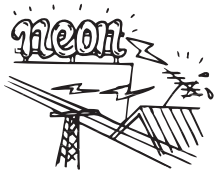


気を付けて

●端子に向かってまっすぐ差し込む。
斜めに傾いているとネジ締めが堅くなり締めにくくなることがあります。

ある放送局だけ映りが悪い、ある部屋だけ映りが悪いなどの症状があるときは、「屋内配線も重要です」
P.60 をご覧ください。

アンテナの場所



妨害電波の影響をさけるため交通の煩雑な道路、電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離してください。
万一アンテナが倒れた場合の事故を防ぐためにも有効です。なおアンテナ工事には技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください。

アンテナの定期的な点検・交換を

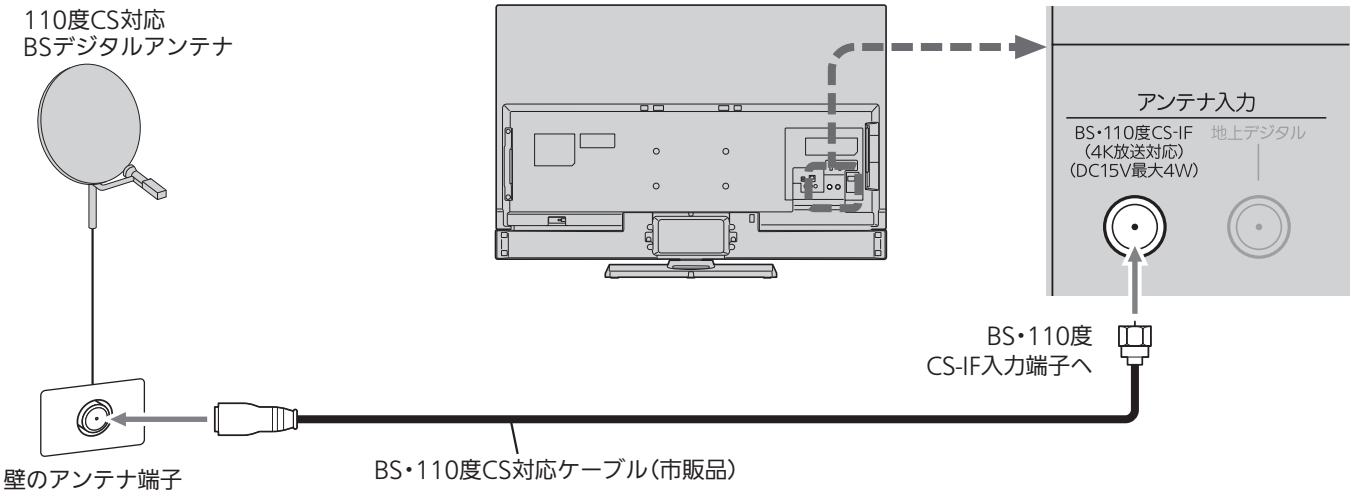
アンテナは屋外にあるため傷みやすく性能が低下します。
映りが悪い時は販売店にご相談ください。

BS・110度CSアンテナ　BSデジタル・110度CSデジタルを見るとき

アンテナは、110度CS対応のBSデジタルアンテナをご使用ください。
ケーブルや分配器などは、110度CS帯域に対応しているものをご使用ください。

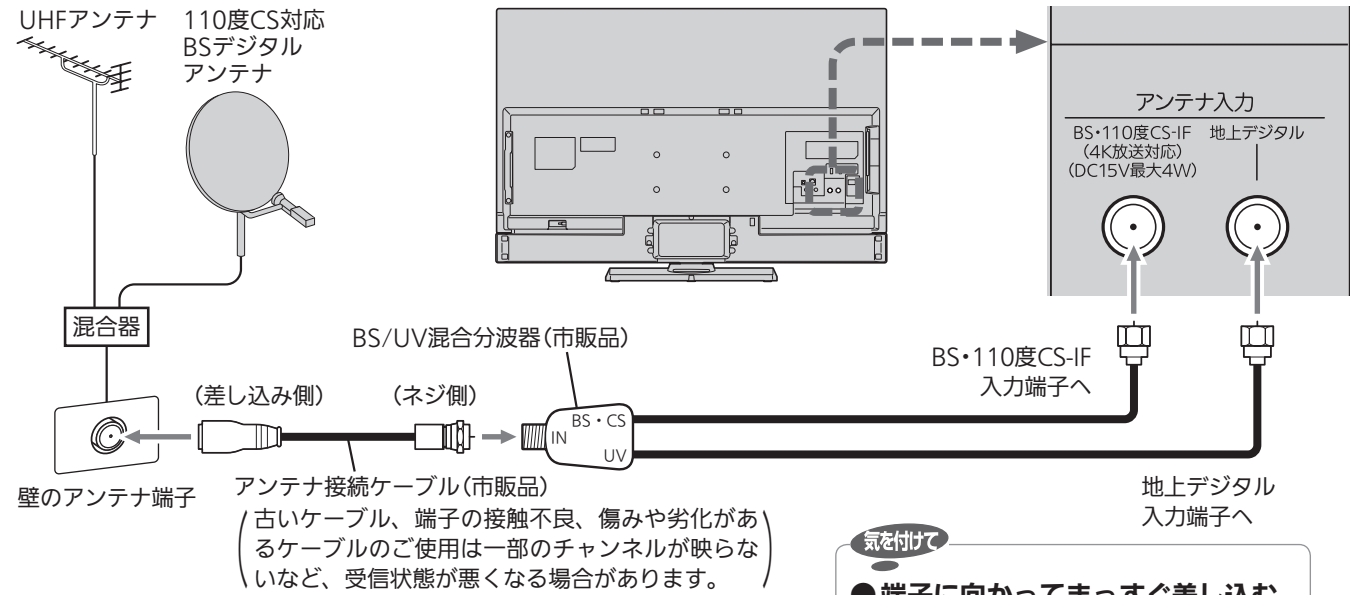
- **BS・110度CSアンテナの設置には、技術と経験が必要です。**
  BS・110度CSアンテナをお買上げの販売店にご相談ください。
  設置のしかたについては、BS・110度CSアンテナの取扱説明書をご覧ください。
- **BS・110度CSアンテナが正しい方向や角度でないと、衛星放送は見られません。**
  BS・110度CSアンテナの取扱説明書をよく読んで、方向・角度を調整してください。
- **BS・110度CSアンテナをつなぐときは、本機の電源プラグを抜いてください。**

お知らせ　アンテナ線がショートしている状態でアンテナ電源を「入」に設定すると、保護回路がはたらき、自動的に「切」に切り換わります。アンテナ線の買換え、修理については、販売店にご相談ください。



UHF/BS・110度CS混合のとき

(マンションの共同受信など)



古いケーブル、端子の接触不良、傷みや劣化があるケーブルのご使用は一部のチャンネルが映らないなど、受信状態が悪くなる場合があります。

気を付けて

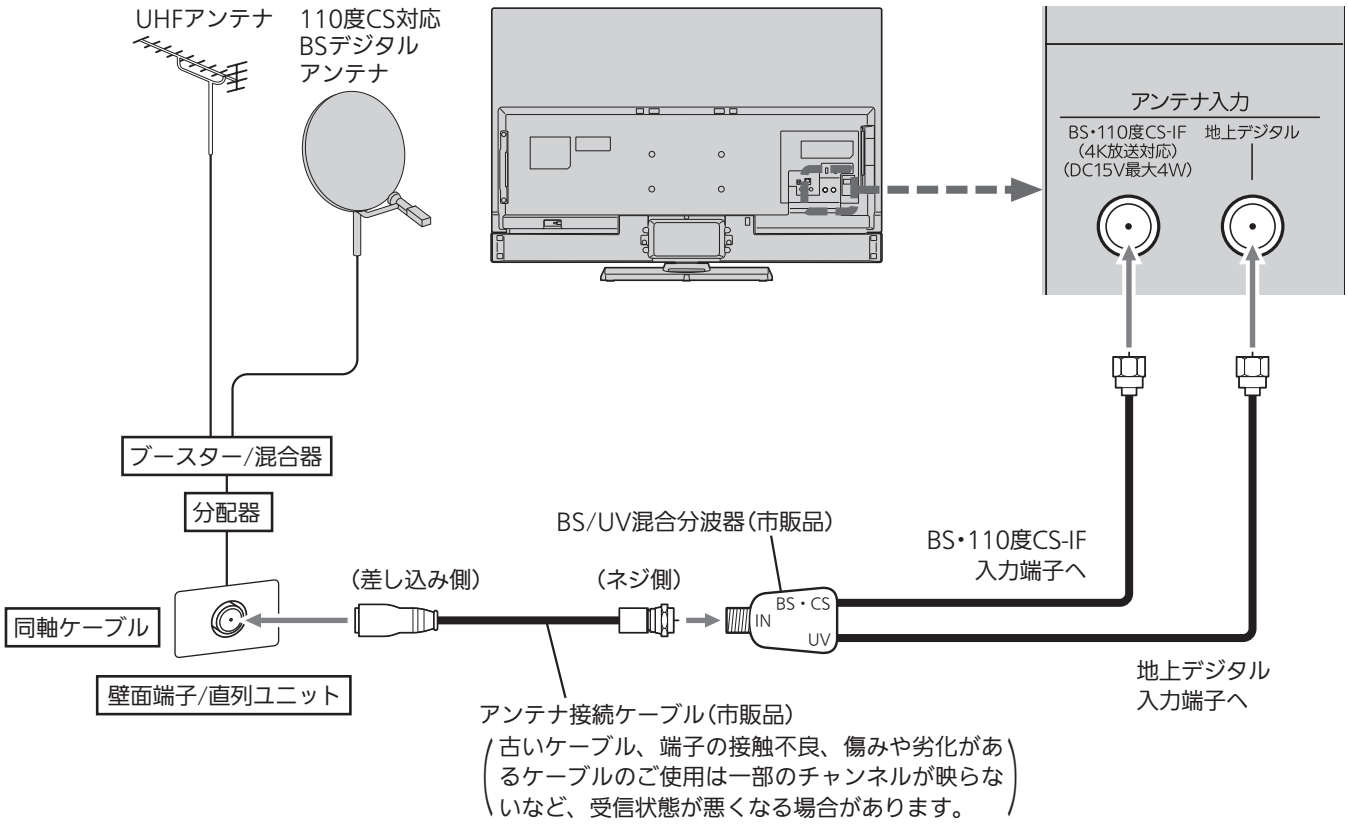
- **端子に向かってまっすぐ差し込む。**
  斜めに傾いているとネジ締めが堅くなり締めにくくなることがあります。

BS・110度CSアンテナ　BS4K・110度CS4K放送を見るとき

● 本機は、新4K8K衛星放送のBS4Kと110度CS4Kに対応しています。

現在ご使用のBS・110度CSアンテナ設備で視聴するとき

BS右旋で放送されます放送を見ることができる場合がありますが、安定して視聴するには、アンテナなどの受信設備の確認が必要となります。



気を付けて

● 端子に向かってまっすぐ差し込む。
斜めに傾いているとネジ締めが堅くなり締めにくくなることがあります。

準備2 アンテナをつなぐ(つづき)

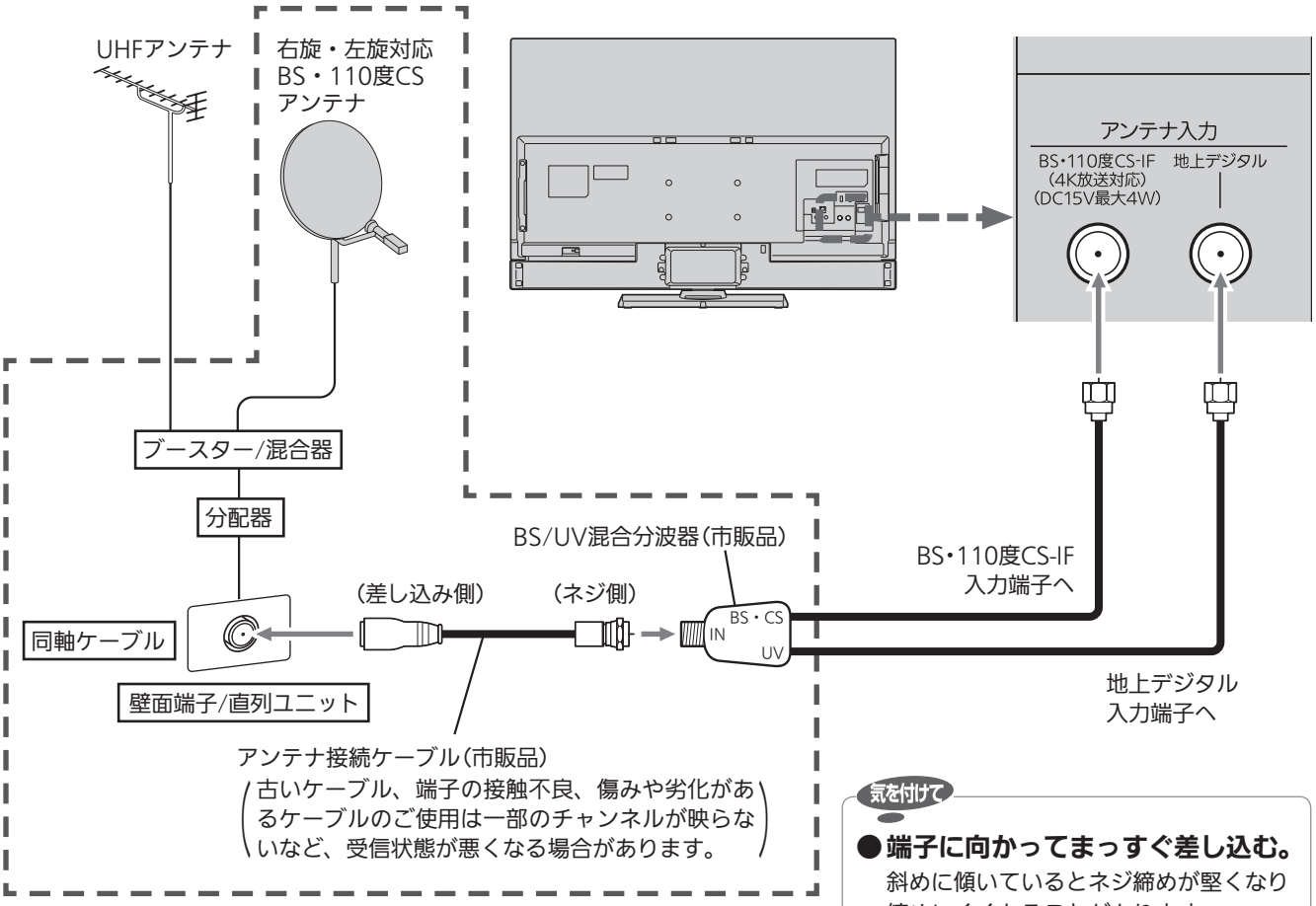
新しいBS・110度CSアンテナ設備で視聴するとき

BS右旋のほか、BS左旋および110度CS左旋の4K放送を視聴する場合は、右旋・左旋対応のアンテナへの交換のほか、ブースター、分配器、分波器、壁面端子、配線用の同軸ケーブルなども対応機器へ交換する必要があります。

機器は、SHマーク登録品(スーパーハイビジョン受信マーク)の使用をおすすめします。

- **右旋・左旋対応BS・110度CSアンテナの設置には、技術と経験が必要です。**
  右旋・左旋対応BS・110度CSアンテナをお買上げの販売店にご相談ください。
  設置のしかたについては、右旋・左旋対応BS・110度CSアンテナの取扱説明書をご覧ください。
- **右旋・左旋対応BS・110度CSアンテナが正しい方向や角度でないと、衛星放送は見られません。**
  右旋・左旋対応BS・110度CSアンテナの取扱説明書をよく読んで、方向・角度を調整してください。
- **右旋・左旋対応BS・110度CSアンテナをつなぐときは、本機の電源プラグを抜いてください。**

お知らせ アンテナ線がショートしている状態でアンテナ電源を「入」に設定すると、保護回路がはたらき、自動的に「切」に切り換わります。アンテナ線の買換え、修理については、販売店にご相談ください。



気を付けて

- **端子に向かってまっすぐ差し込む。**
  斜めに傾いているとネジ締めが堅くなり締めにくくなることがあります。

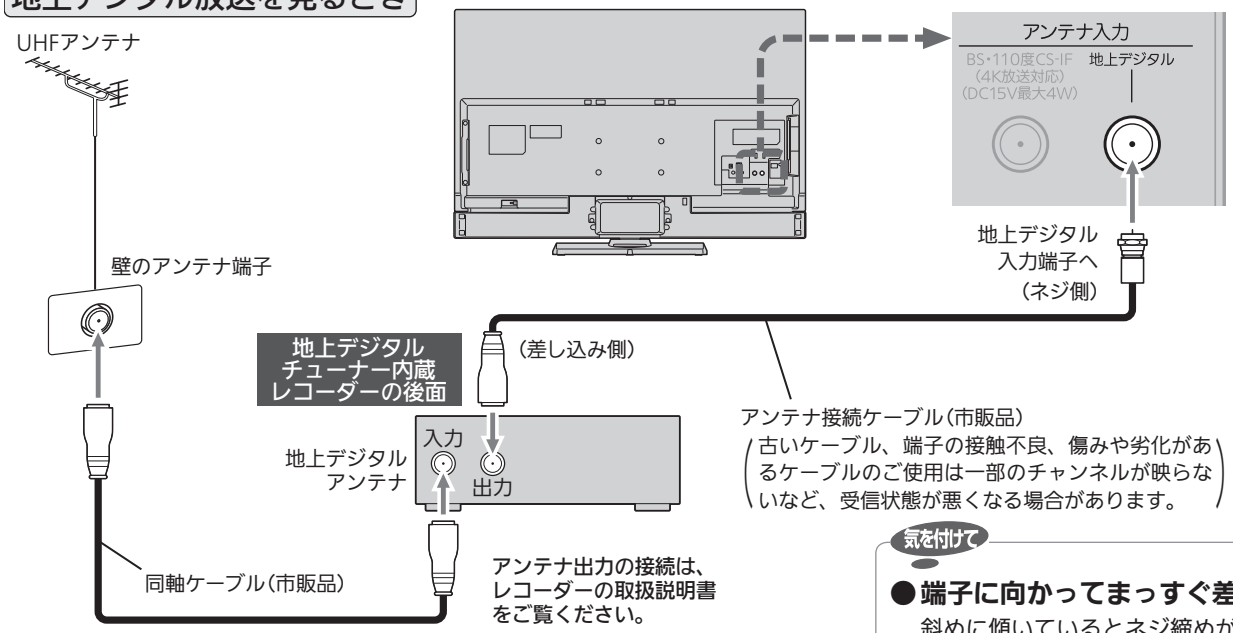
SHマーク(スーパーハイビジョン受信マーク)は、BS・110度CS右左旋放送受信帯域に対応した機器のうち、一般社団法人電子情報技術産業協会で審査・登録され、一定以上の性能を有するスーパーハイビジョン衛星放送受信に適した衛星アンテナ、受信システム機器に付与されるシンボルマークです。

お知らせ

本機は、新4K8K衛星放送の8K放送には、対応しておりません。

レコーダーを通して接続するとき

地上デジタル放送を見るとき

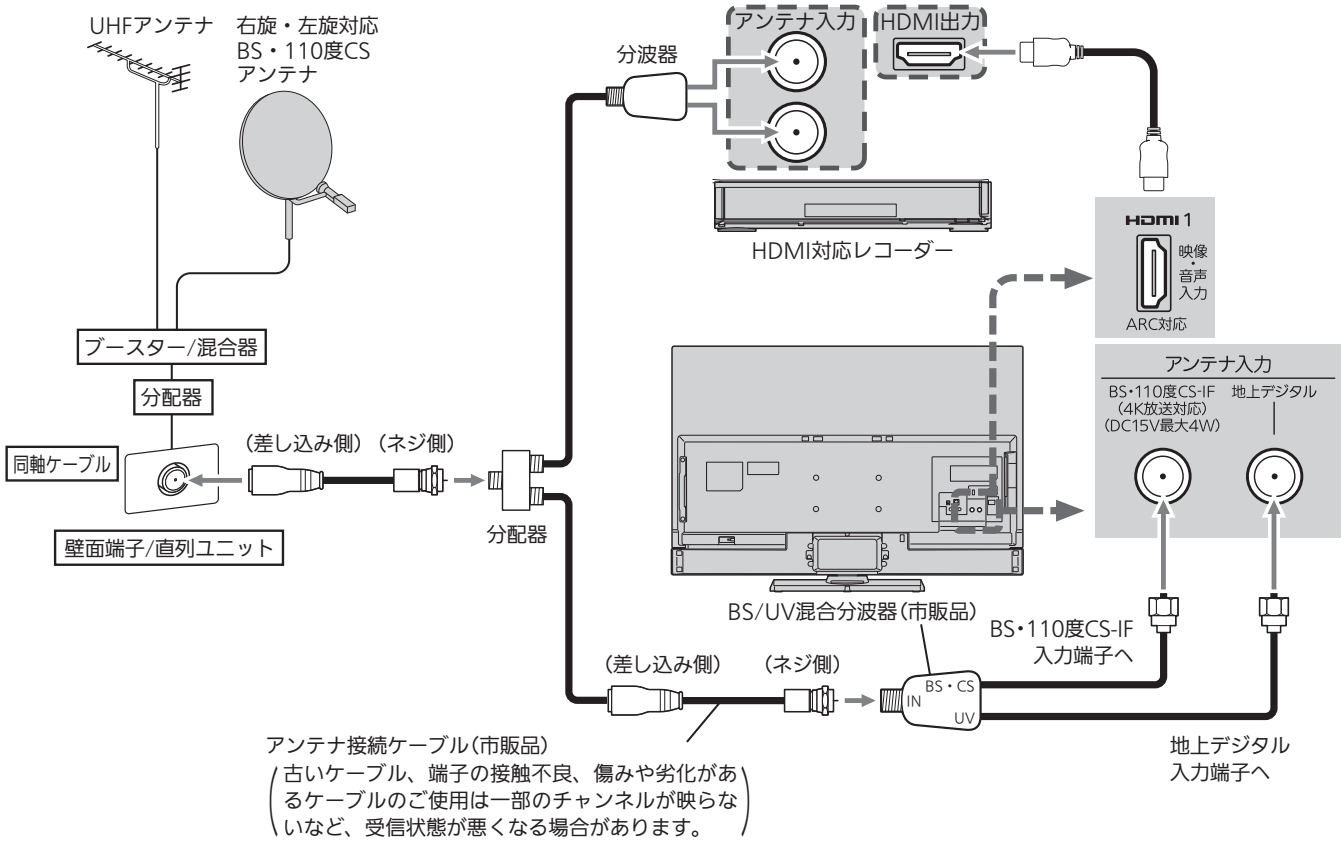


気を付けて

●端子に向かってまっすぐ差し込む。
斜めに傾いているとネジ締めが堅くなり締めにくくなることがあります。

BS4K・110度CS4K放送を見るとき

BS右旋のほか、BS左旋および110度CS左旋の4K放送を視聴する場合は、右旋・左旋対応のアンテナへの交換のほか、ブースター、分配器、分波器、壁面端子、配線用の同軸ケーブルなども対応機器へ交換する必要があります。
4K放送非対応のHDMI対応レコーダーを壁面端子/直列ユニットと本機のアンテナ入力との間に接続しないでください。
その場合は、下記のように並列して接続してください。



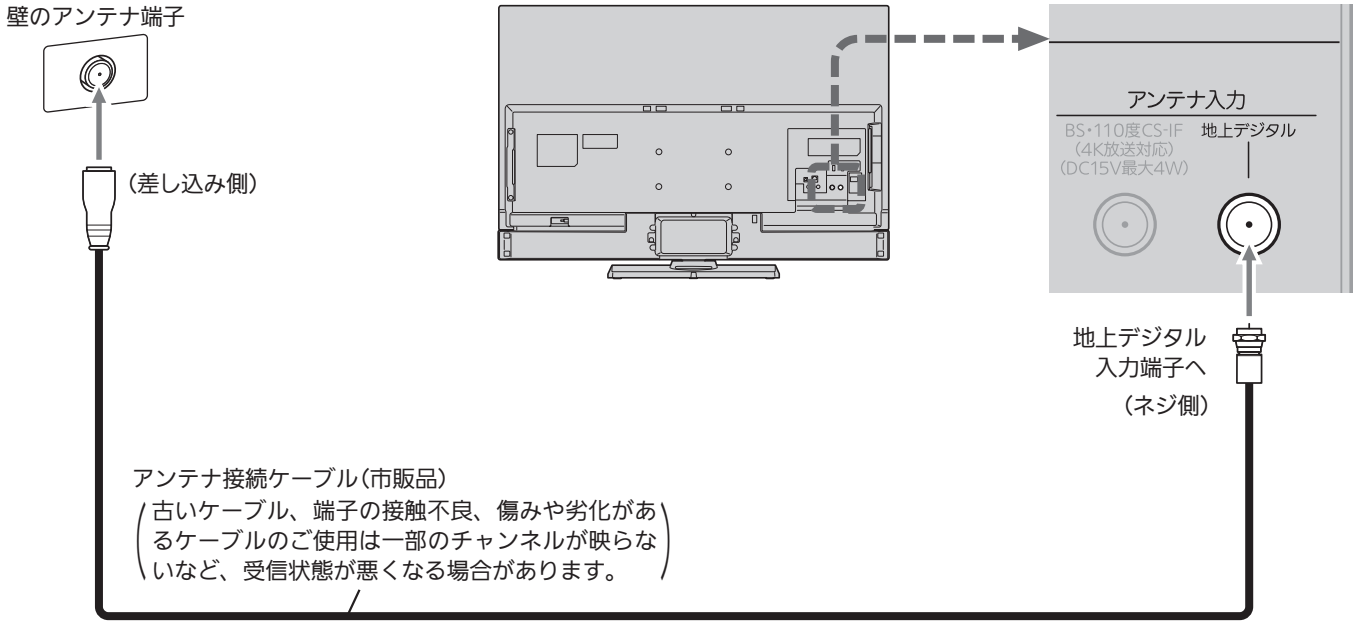
4K放送対応機器は、SHマーク登録品(スーパーハイビジョン受信マーク)のご使用をおすすめします。

お知らせ

本機は、新4K8K衛星放送の8K放送には、対応しておりません。

準備2 アンテナをつなぐ(つづき)

CATV(ケーブルテレビ)パススルーのとき



代表的な接続方法を記しています。
くわしくはCATV会社へお問い合わせください。

気を付けて

●端子に向かってまっすぐ差し込む。
斜めに傾いているとネジ締めが堅くなり締めにくくなることがあります。

準備3 インターネットにつなぐ

テレビ放送のデータ放送を行っている放送局との双方向通信は、ブロードバンド環境(FTTH、ADSL、CATVなど)をお持ちの場合、本機のLAN端子または無線LANを使用することにより一層充実したデータ放送サービスなどを楽しむことができます。サービスの詳細は各放送局にお尋ねください。「動画配信サービス」などを利用するためにはブロードバンド環境が必要です。

インターネットにつなぐことで次のことができます。くわしくは、当社ホームページ掲載の本機取扱説明書「インターネット編」P.3 をご覧ください。

- 外出先でも録画番組を見られる［外から視聴］
  スマートフォンやタブレットにあらかじめダウンロードした録画番組を宅外で視聴［ダウンロード視聴］
  宅外からインターネット経由でスマートフォンやタブレットを使った録画番組の視聴［オンライン視聴］
- 宅外からスマートフォンやタブレットを使った番組予約［リモート予約］
- 双方向データ放送
- YouTube™、AbemaTVの動画配信サービスの視聴［ネットワーク］
- 携帯端末を使った本機の操作[携帯端末連携]
- BD-Live(インターネットにつないで、特典映像取り込み、双方向ゲーム等を利用できるようになるBlu-ray Discの規格)
- 三菱HEMSおよび三菱ルームエアコンの遠隔操作機能

ブロードバンド環境をお持ちでない場合

■ まず、ブロードバンド環境が必要です。

- プロバイダおよび回線事業者と別途ご契約(有料)をしていただく必要があります。
  くわしくは、プロバイダまたは回線事業者にお問い合わせください。

既にブロードバンド環境をお持ちの場合

■ まず、次のことをご確認ください。

- 回線事業者やプロバイダとの契約
- 必要な機器の準備
- FTTH回線終端装置、またはADSLモデムやブロードバンドルーターなどの接続と設定

■ 回線の種類や回線事業者、プロバイダにより、必要な機器と接続方法が異なります。

- FTTH回線終端装置、またはADSLモデムやブロードバンドルーター、無線LANルーター、ハブ、スプリッター、ケーブルは、回線事業者やプロバイダが指定する製品をお使いください。
- お使いのモデムやブロードバンドルーター、無線LANルーター、ハブの取扱説明書も合わせてご覧ください。
- 本機では、ブロードバンドルーターやブロードバンドルーター機能付きADSLモデムなどの設定はできません。パソコンなどでの設定が必要な場合があります。
- 必ず電気通信事業法に基づく認定品ルーター等に接続してください。

お願い!

- 無線LANでの接続の場合、環境により映像や音声が乱れたり、とぎれたりすることがありますので、有線LANでの接続をおすすめします。
  また、無線LANルーターの性能が低い場合、表示速度が遅くなることがあります。無線化についてはご使用になる機器のメーカー等、専門知識のあるところにご相談ください。
  無線LAN接続で動作が不安定な場合は、有線LAN接続に変えてください。

● 接続についてのお願い

- LANケーブルは、10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-Tタイプのものをご使用ください。
- LANケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類があり、回線終端装置、またはモデムやルーターなどの種類によって使用するものが異なります。くわしくは、回線終端装置、またはモデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。
- 電話回線のみで通信が行われる場合は、対応できません。

● 本機のMACアドレスの確認方法

ルーターの設定などで本機のMACアドレスを確認する場合は、P.68 をご覧ください。

● 動画配信サービスを利用するには

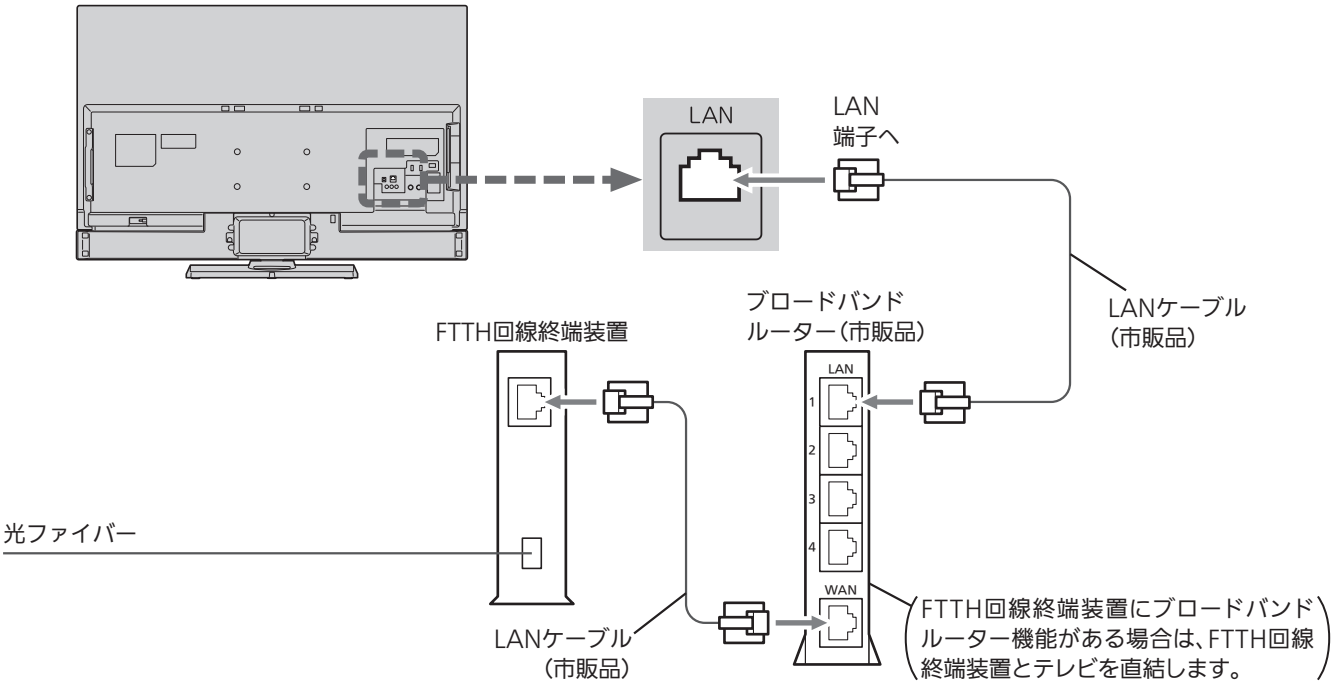
時刻情報を得るために、アンテナ線を接続してテレビ放送を受信してください。
テレビ放送の受信ができない場合は、時刻設定を行ってください。

FTTH(光ファイバー)回線をご利用の場合

●接続方法などご不明な点につきましては、プロバイダや回線事業者へお問い合わせください。

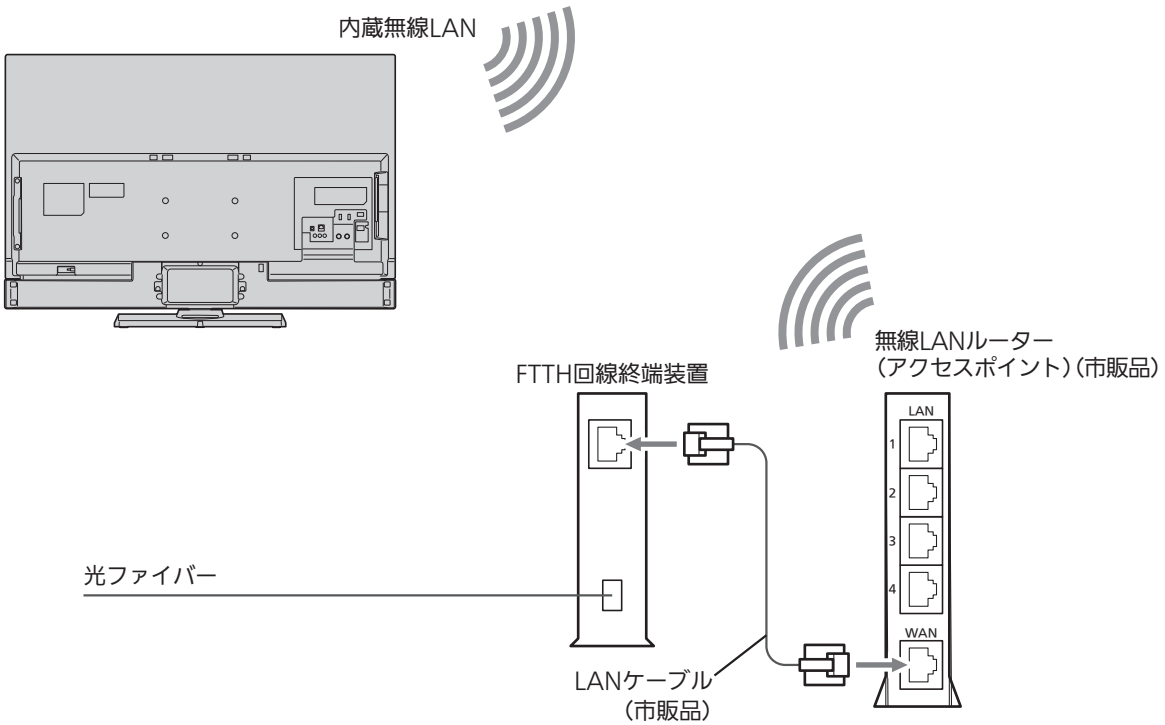
ネットワーク(動画配信サービス)を利用するときは、テレビ放送を受信するか時刻設定をしてください。
接続後は、「ネットワーク設定」P.68〜70を行ってください。

有線LANで接続する場合



無線LANで接続する場合

本機は無線LANを内蔵しており、無線LANルーター(アクセスポイント)と無線接続ができます。

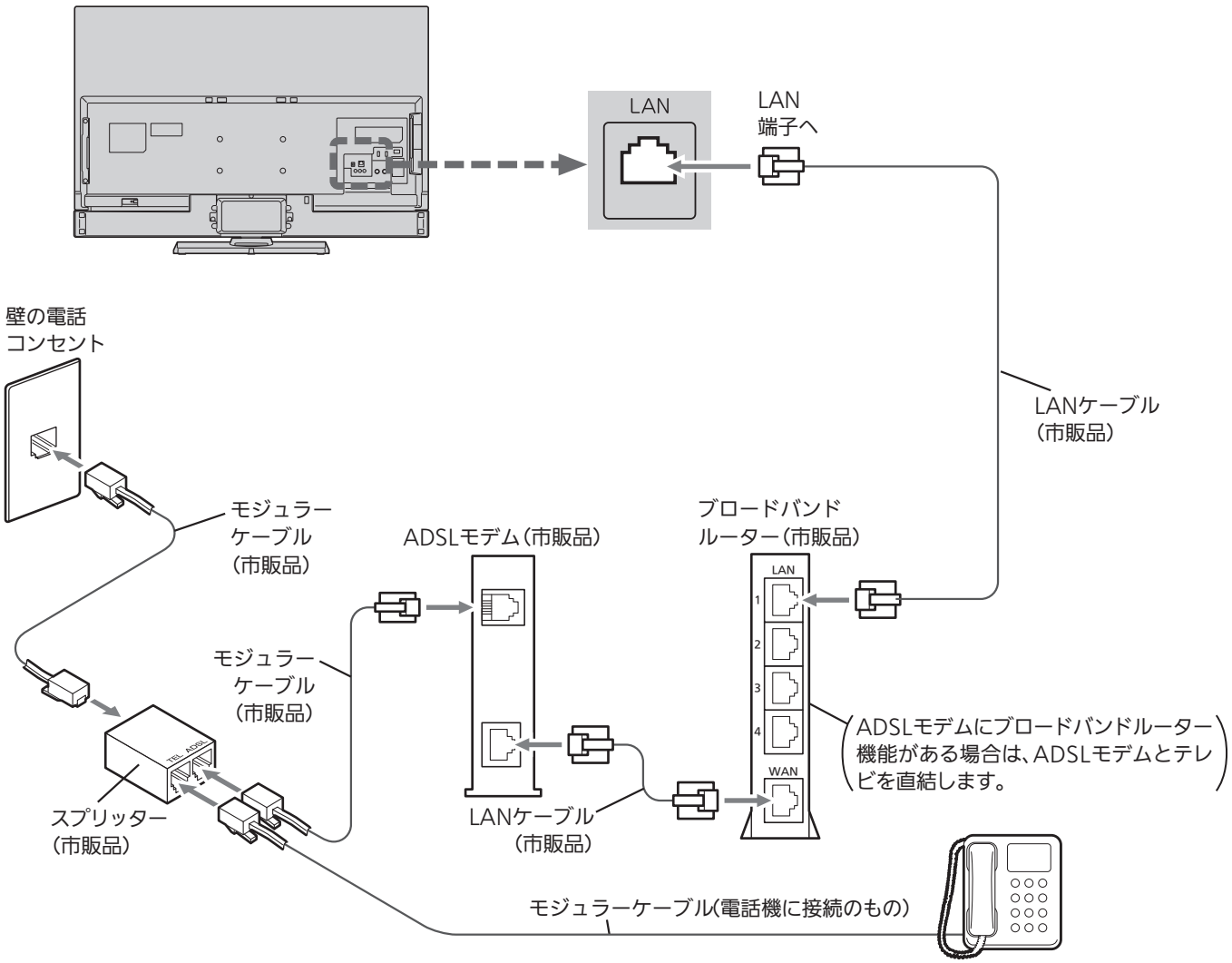


ADSL回線をご利用の場合

- ブリッジ型ADSLモデムをお使いの場合は、ブロードバンドルーター(市販品)が必要です。
- USB接続のADSLモデムをお使いの場合などは、ADSL事業者にご相談ください。
- プロバイダや回線事業者、モデム、ブロードバンドルーターなどの組合わせによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。
- ADSLモデムについてご不明な点は、ご利用のADSL事業者やプロバイダにお問い合わせください。
- ADSLの接続については、専門知識が必要なため、ADSL事業者にお問い合わせください。

ネットワーク(動画配信サービス)を利用するときは、テレビ放送を受信するか時刻設定をしてください。
接続後は、「ネットワーク設定」P.68〜70 を行ってください。

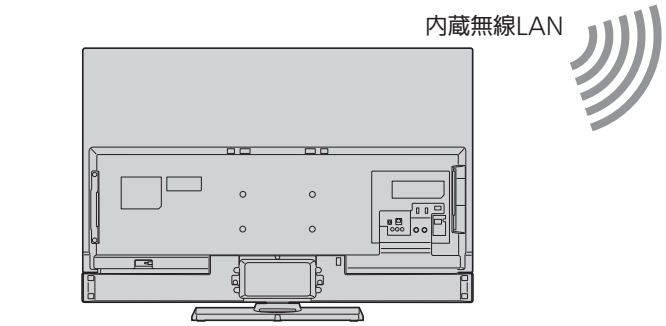
有線LANで接続する場合

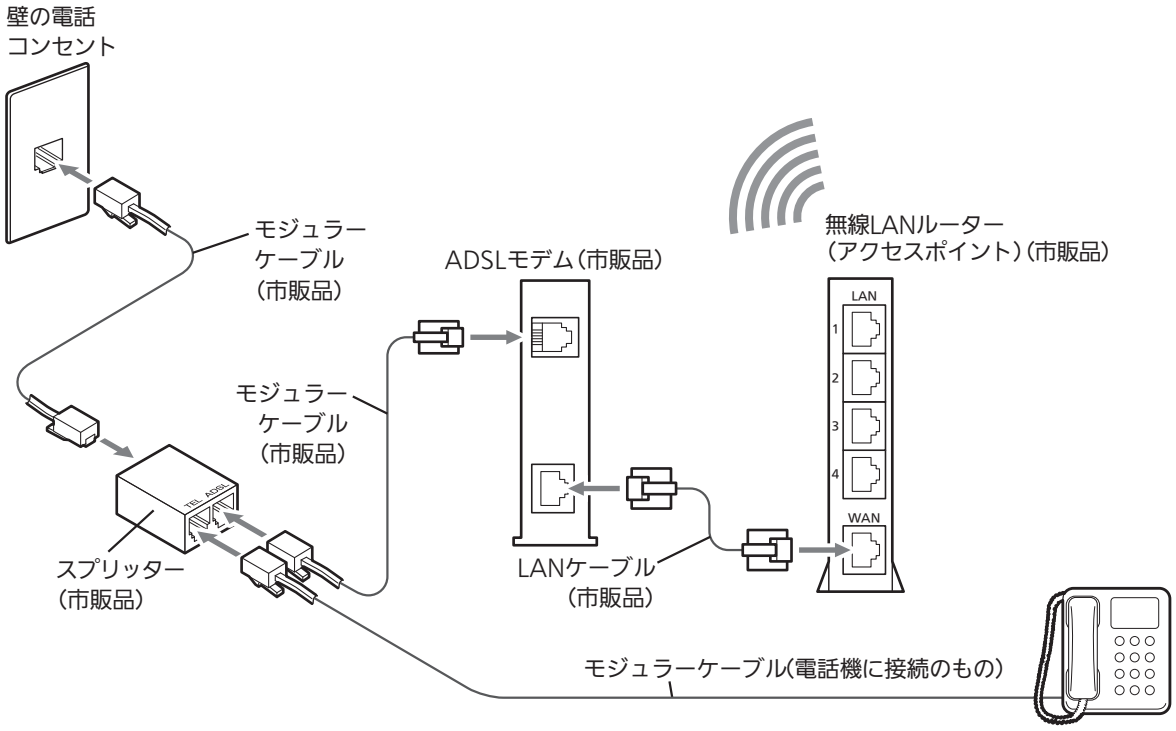


準備3 インターネットにつなぐ(つづき)

無線LANで接続する場合

本機は無線LANを内蔵しており、無線LANルーター(アクセスポイント)と無線接続ができます。





CATV(ケーブルテレビ)回線をご利用の場合

- 接続方法などご不明な点につきましては、ケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

準備4 他の機器とつなぐ

CATV(ケーブルテレビ)のデジタルセットトップボックスとの接続(録画)

CATV(ケーブルテレビ)の放送はサービスの行われている地域でのみ受信でき、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。
CATV会社によって仕様や接続方法、受信できる放送が異なりますので、くわしくはCATV会社にご相談ください。

コピーガードやスクランブルのかかった有料番組を視聴・録画するためには、CATV会社専用のセットトップボックスが必要です。
接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

有線または無線LANで、LAN録画に対応しているセットトップボックスを接続すると、ハイビジョン番組をハイビジョン画質のままで本機に録画できます(本体にのみ)。4K放送の番組は録画できません。
接続後は「ホームサーバー設定」と、セットトップボックスのネットワーク設定を行ってください。

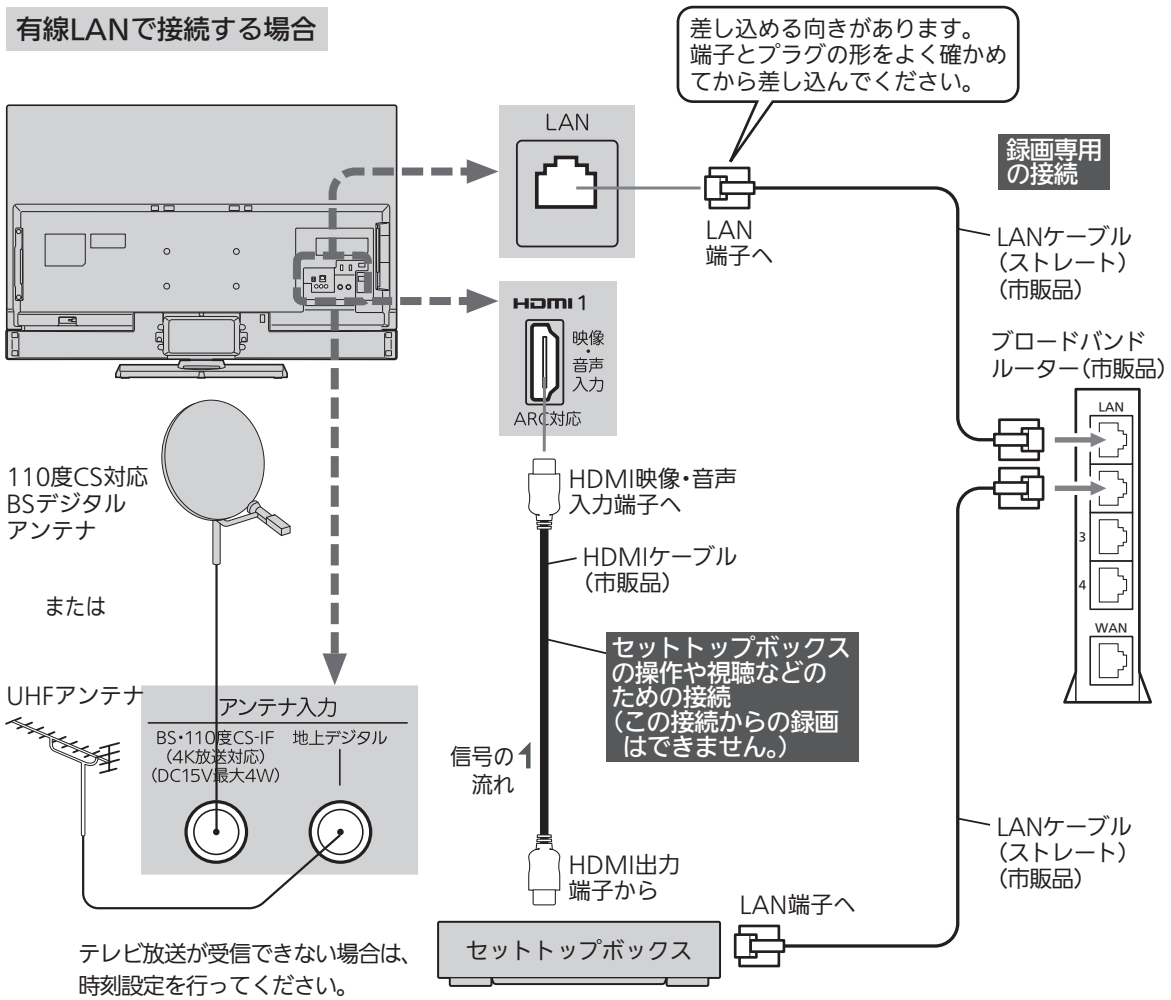
セットトップボックスの設定方法につきましては、セットトップボックスの取扱説明書をご覧ください。
本機の「ホームサーバー設定」、「ネットワーク設定」につきましては P.67〜70 または、当社ホームページ掲載の本機取扱説明書「インターネット編」P.3 をご覧ください。

お願い!

- 無線LANでの接続の場合、環境により映像や音声が乱れたり、とぎれたりすることがありますので、有線LANでの接続をおすすめします。
  また、無線LANルーターの性能が低い場合、表示速度が遅くなることがあります。無線化についてはご使用になる機器のメーカー等、専門知識のあるところにご相談ください。
  無線LAN接続で動作が不安定な場合は、有線LAN接続に変えてください。

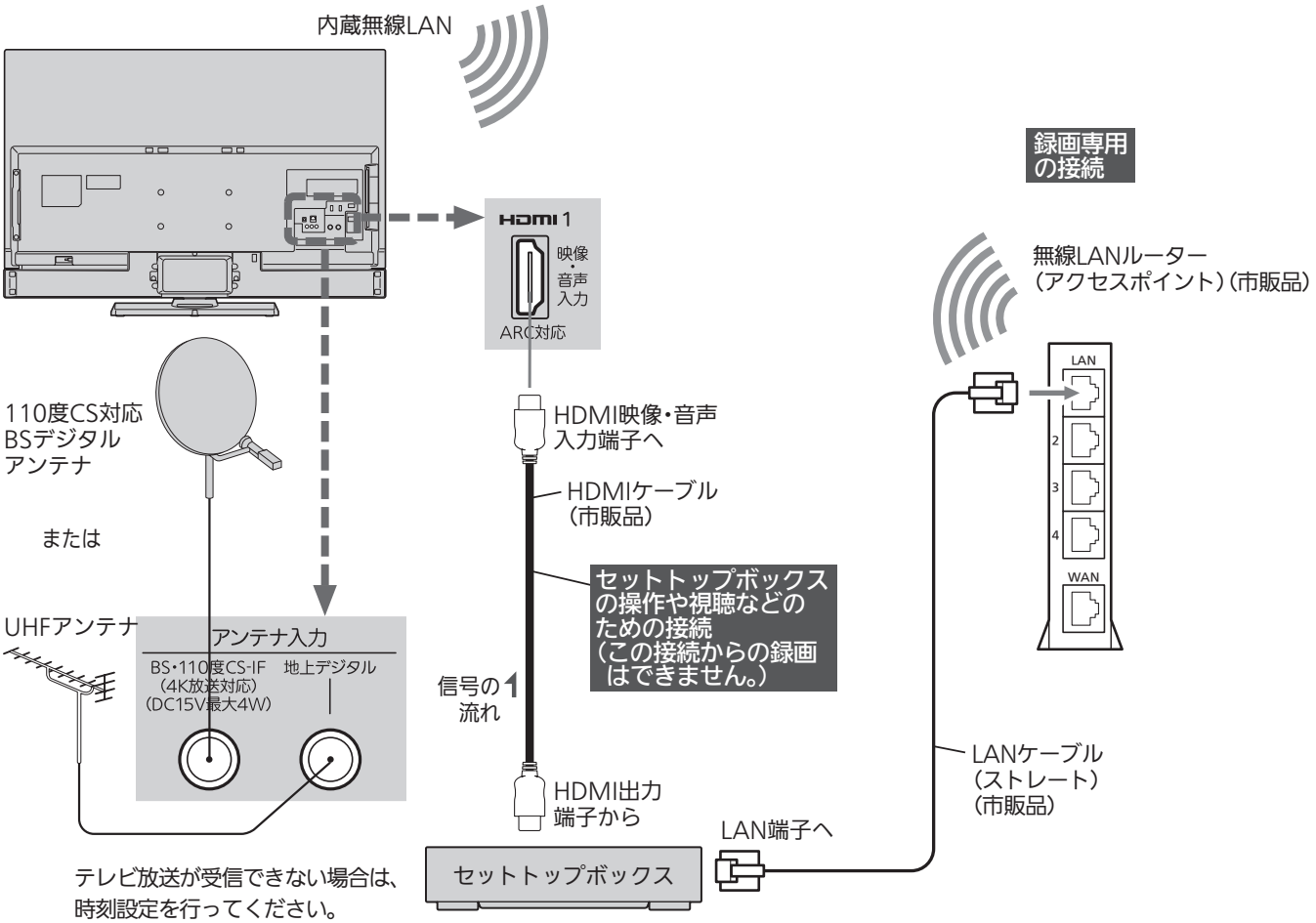
ブロードバンドルーター経由での接続例

有線LANで接続する場合



準備4 他の機器とつなぐ(つづき)

無線LANで接続する場合



お願い!

- LANケーブルは、カテゴリー 5e以上のものをご使用ください。
- 本機とテレビ放送用アンテナとの接続も行ってください。本機は録画予約に必要な時刻設定をテレビ放送から取得しています。テレビ放送の受信ができない場合は、時刻設定を行ってください。
- セットトップボックスの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- ネットワークへの接続方法などにつきましては、プロバイダや回線事業者へご確認ください。

お知らせ

- セットトップボックスのラジオ放送とデータ放送は録画できません。
- セットトップボックスがLAN対応でない場合、本機では録画できません。

スカパー！プレミアムサービスチューナーとの接続（録画）

本機は「スカパー!プレミアムサービスLink」（録画）に対応しています。
本機でスカパー!プレミアムサービスを録画するためには、スカパー!プレミアムサービスチューナーとのLAN接続が必要です。
接続後は本機の「ホームサーバー設定」、「ネットワーク設定」と、スカパー!プレミアムサービスチューナーのネットワーク設定を行ってください。

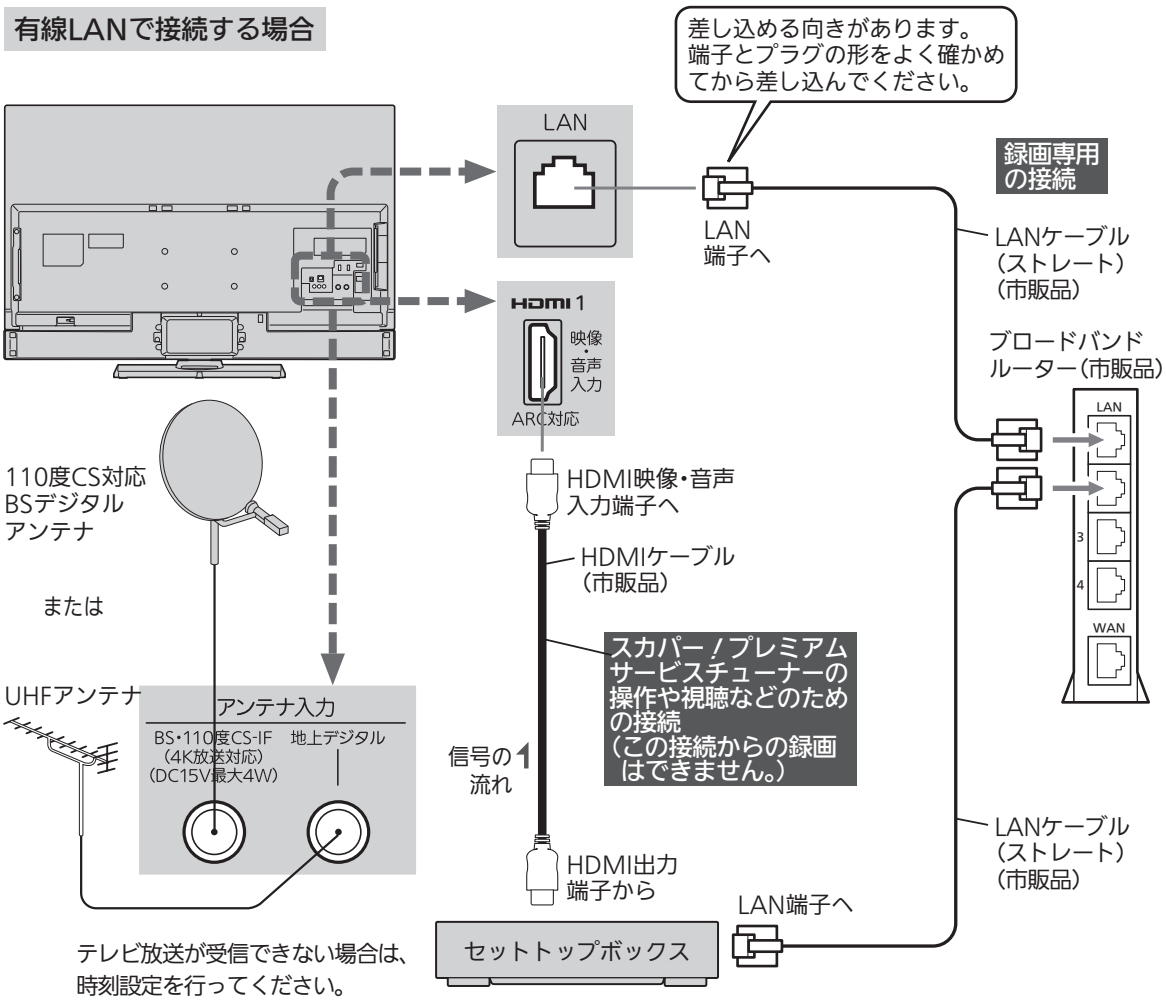
スカパー!プレミアムサービスチューナーの設定方法につきましては、スカパー!プレミアムサービスチューナーの取扱説明書をご覧ください。
本機の「ホームサーバー設定」、「ネットワーク設定」につきましては P.67〜70 または、当社ホームページ掲載の本機取扱説明書「インターネット編」P.3 をご覧ください。

お願い!

- 無線LANでの接続の場合、環境により映像や音声が乱れたり、とぎれたりすることがありますので、有線LANでの接続をおすすめします。
  また、無線LANルーターの性能が低い場合、表示速度が遅くなることがあります。無線化についてはご使用になる機器のメーカー等、専門知識のあるところにご相談ください。
  無線LAN接続で動作が不安定な場合は、有線LAN接続に変えてください。

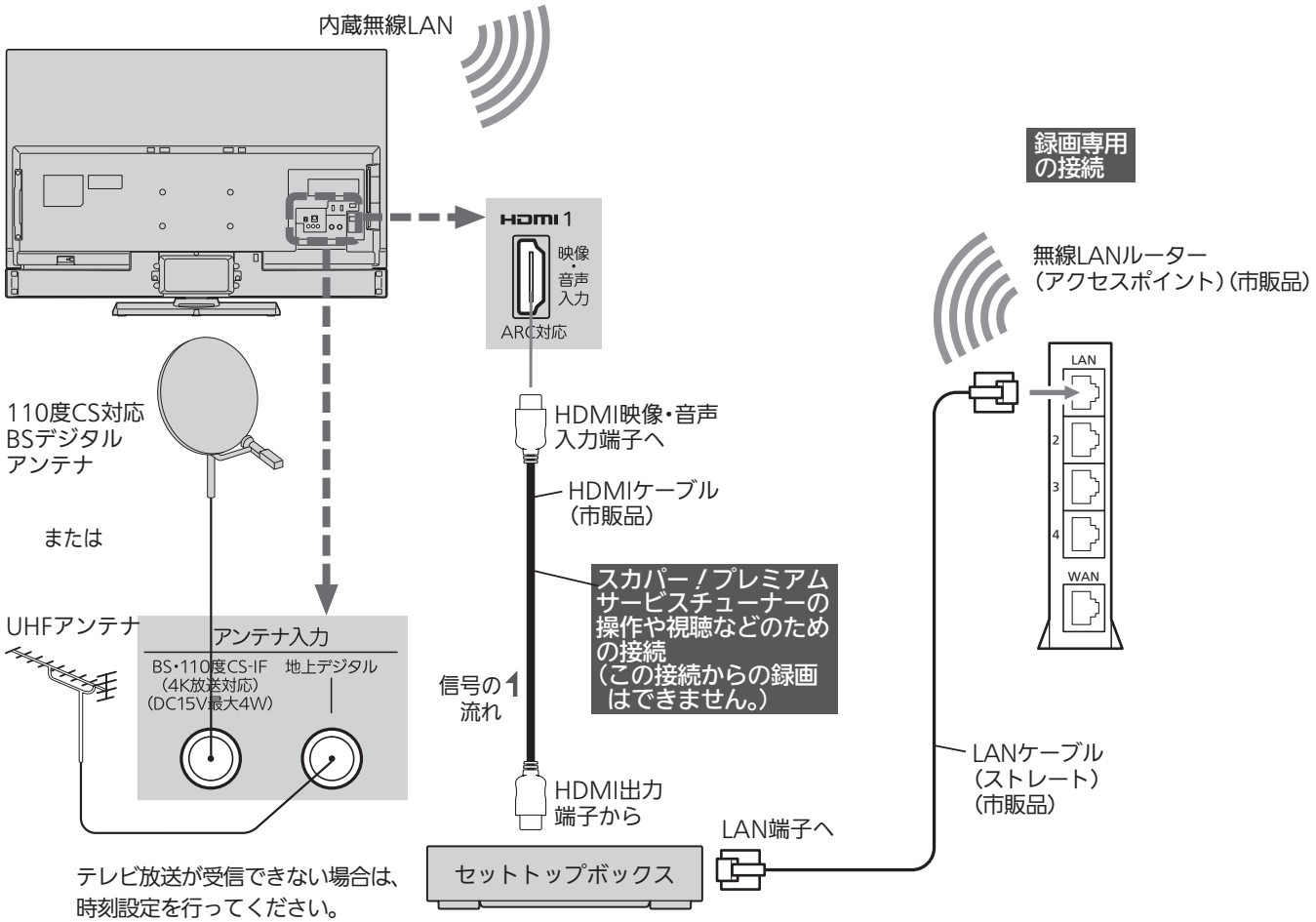
ブロードバンドルーター経由での接続例

有線LANで接続する場合



準備4 他の機器とつなぐ(つづき)

無線LANで接続する場合



「スカパー/プレミアムサービスLink」(録画)とは

「スカパー/プレミアムサービスLink」(録画)は、スカパー/プレミアムサービスの番組をホームネットワーク(家庭内LAN)内に接続された機器間で録画できる機能です。
スカパー/プレミアムサービス対応チューナーと「スカパー/プレミアムサービスLink」(録画)に対応した機器をネットワーク接続することで、ハイビジョン番組をハイビジョン画質のまま録画できます(本体のみ)。4K放送の録画はできません。
※標準画質番組は標準画質での録画となります。

お知らせ

- スカパー/プレミアムサービスのラジオ放送とデータ放送は録画できません。
- PPV(ペイ・パー・ビュー)の番組を録画する場合は、スカパー/プレミアムサービスチューナー側で電話回線の接続などが必要です。くわしくは、スカパー/プレミアムサービスチューナーの取扱説明書をご覧ください。

お願い!

- LANケーブルは、カテゴリー 5e以上のものをご使用ください。
- 本機とテレビ放送用アンテナとの接続も行ってください。本機は録画予約に必要な時刻設定をテレビ放送から取得しています。テレビ放送の受信ができない場合は、時刻設定を行ってください。
- スカパー!プレミアムサービスチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- ネットワークへの接続方法などにつきましては、プロバイダや回線事業者へご確認ください。

本機の家庭内ネットワーク機能に対応したテレビとの接続

本機に録画した番組などを、本機能に対応したテレビで離れた場所からでも視聴することができます。
接続後は、本機の「ホームサーバー設定」P.67で「ホームサーバー機能」を「入」に設定してください。
「ホームサーバー機能」を「入」に設定すると、「高速起動設定」が自動的に「入」に設定されます。
「入」では内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときと比較して、待機時消費電力(リモコンまたは本体の電源ボタンで電源「切」にしたときの消費電力)が増えます。

お知らせ

- 「家庭内ネットワーク　クライアント機能」と記載のある当社製テレビは家庭内ネットワーク機能に対応しています。
- 録画回数制限のある番組を視聴するためには、接続したテレビがDTCP-IP※規格に対応している必要があります。
  ※DTCP-IP(Digital Transmission Content Protection over Internet Protocol)： ネットワーク上で著作権保護されたデータを伝送するための規格です。
- 4K放送の録画番組については、録画モード変換後のものも含めて配信はできません。

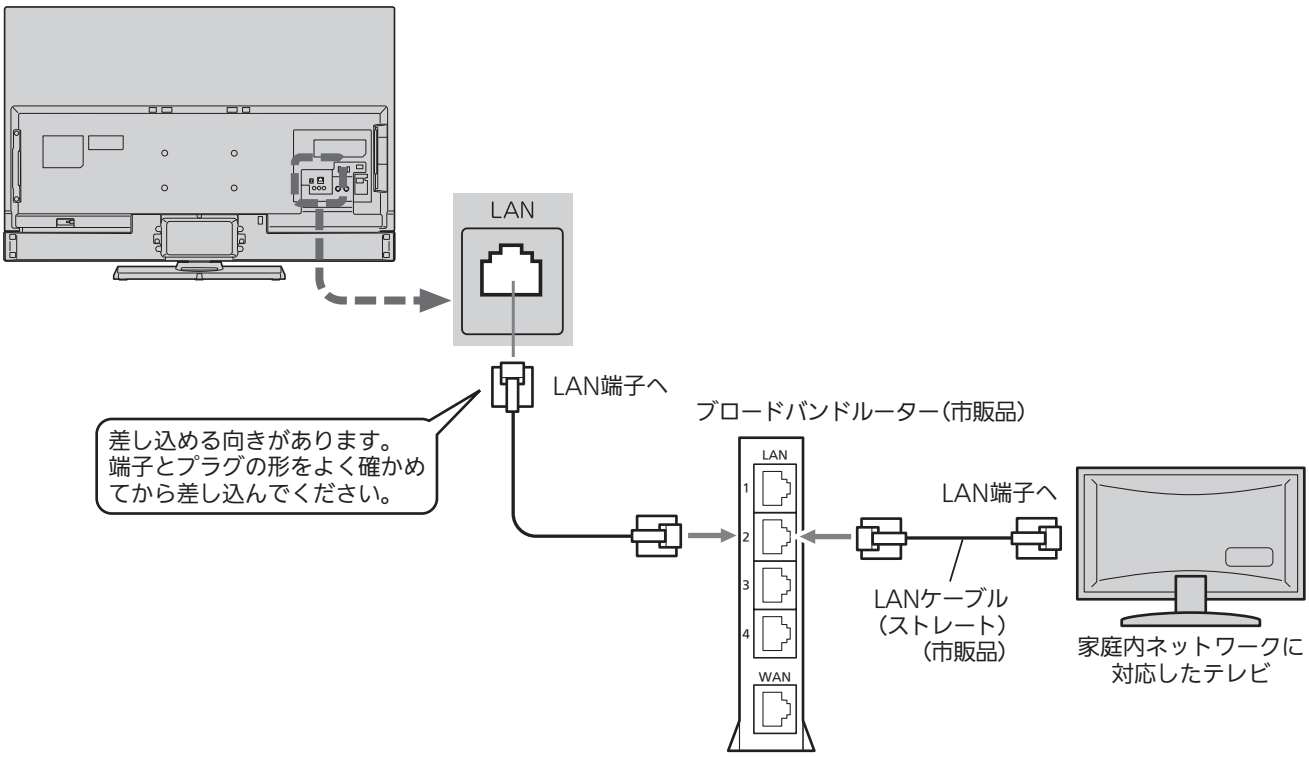
お願い!

- LANケーブルは、カテゴリー 5e以上のものをご使用ください。
- ネットワークへの接続方法などにつきましては、プロバイダや回線事業者へご確認ください。
- 家庭内ネットワーク機能に対応したテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 無線LANでの接続の場合、環境により映像や音声が乱れたり、とぎれたりすることがありますので、有線LANでの接続をおすすめします。
  また、無線LANルーターの性能が低い場合、表示速度が遅くなることがあります。無線化についてはご使用になる機器のメーカー等、専門知識のあるところにご相談ください。
  無線LAN接続で動作が不安定な場合は、有線LAN接続に変えてください。

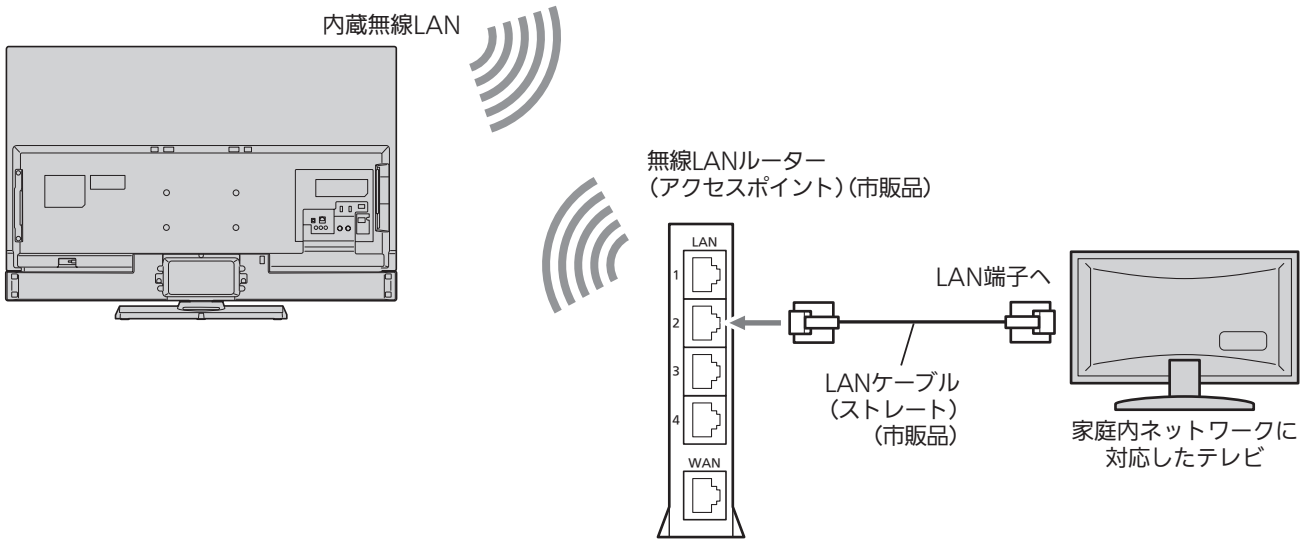
ブロードバンドルーター経由での接続例

本機で「スカパー！プレミアムサービスLink」(録画)も一緒に利用する場合の接続例です。

有線LANで接続する場合

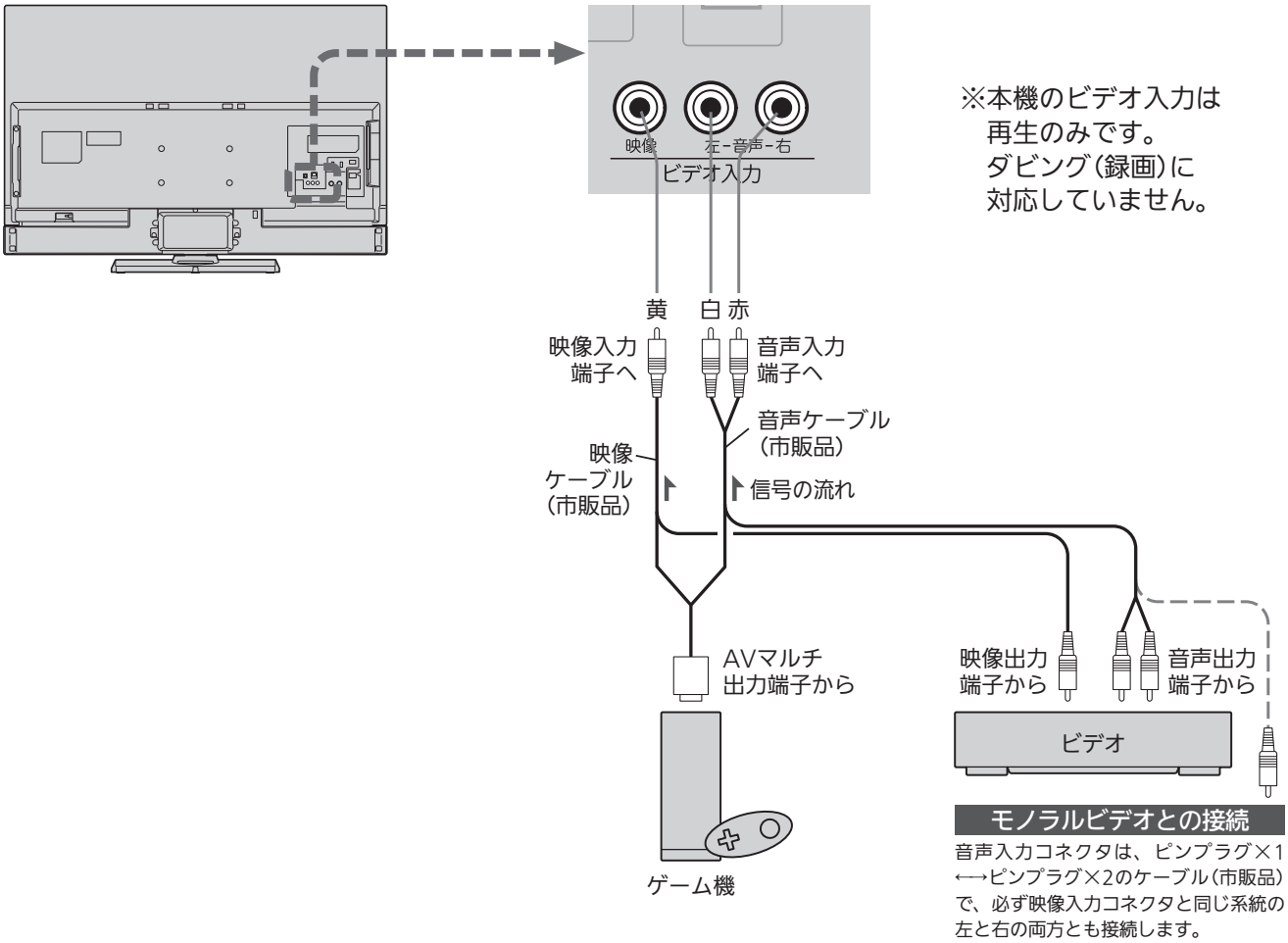


無線LANで接続する場合



ビデオ/ゲーム機との接続

例：「ビデオ入力」に接続する



モノラルビデオとの接続

音声入力コネクタは、ピンプラグ×1←→ピンプラグ×2のケーブル(市販品)で、必ず映像入力コネクタと同じ系統の左と右の両方とも接続します。

お知らせ

- **ビデオの特殊再生機能(早送り、一時停止など)を使うと映像が乱れることがあります。**
- つないだ機器で見るときは、入力切換で「ビデオ」を選んでください。
- ゲーム機により接続ケーブルの形状が異なることがあります。ケーブルの形状にあった端子をご使用ください。P.51 その場合、ゲーム機側の設定が必要な場合がありますのであわせてゲーム機の取扱説明書をご覧になり正しくご使用ください。

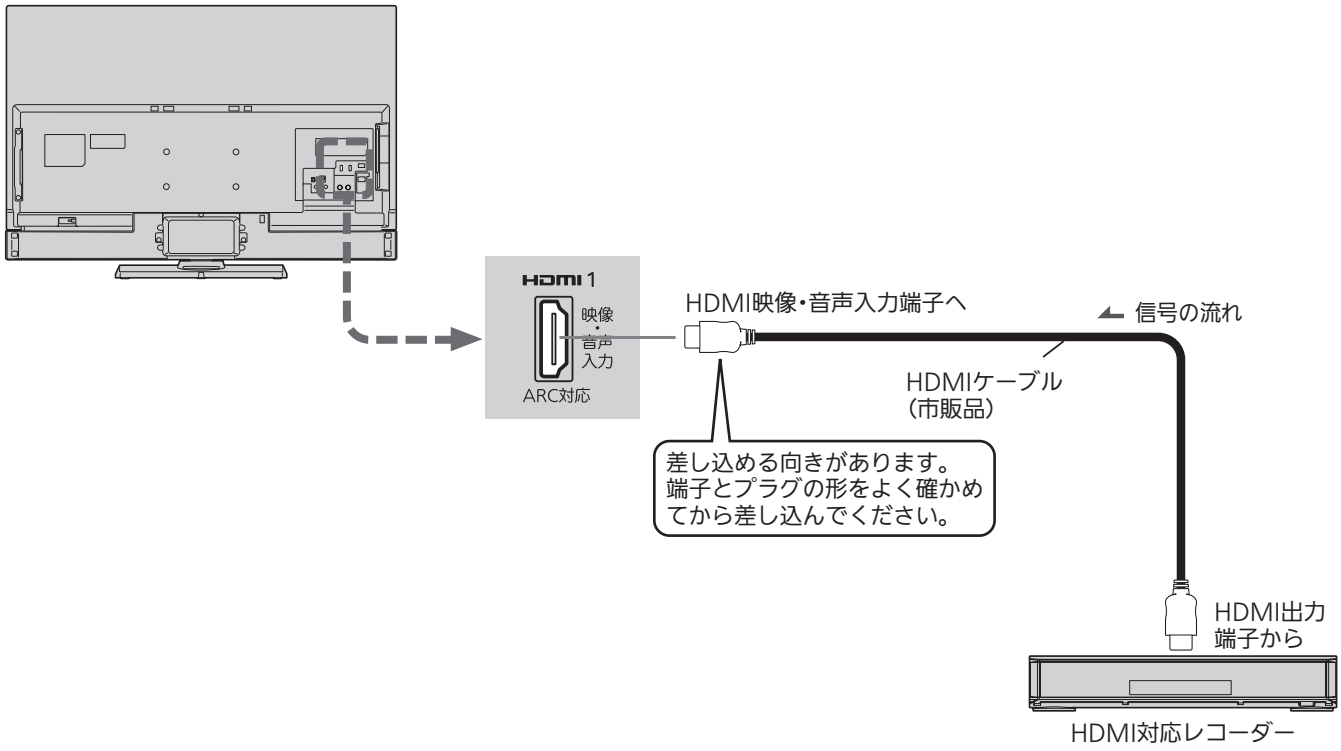
お願い!

ビデオ側の接続や操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。

HDMI機器との接続

映像・音声信号を1本のケーブルでつなぐことができます。

例：HDMI対応レコーダーを「HDMI1入力」に接続する



HDMIコントロール(リンク)について

HDMIケーブルで接続された機器間では、HDMIの制御信号規格(CEC:Consumer Electronics Control)に基づき、相互で操作を行う(**リンク**する)ことができます。
特に当社製機器相互で操作を行うことを「リアリンク(REALINK)」と称しています。

お知らせ

- 他社製の機器をHDMI接続した場合、HDMIコントロール対応機器と認識し、メニューに「リンク機器操作」などの表示が出て、接続機器側の操作の一部(一発録画など)ができることがありますが、その動作につきましては保証の対象ではありません。
- HDMI1 ～ 3入力共にHDMIコントロール対応機器を接続したときは、番号の小さい方から優先されます。

お願い!

- HDMI端子の接続を変更した場合(HDMI1入力からHDMI2入力に差し替えた場合など)は、本機の電源を入れ直して入力切換で変更後のHDMI入力を選んで、接続している機器からの映像が映っていることを確認してください。
- HDMIコントロール対応機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 機能を中止するために「リンク制御」を「切」にした場合は、本機の電源を入れ直してください。

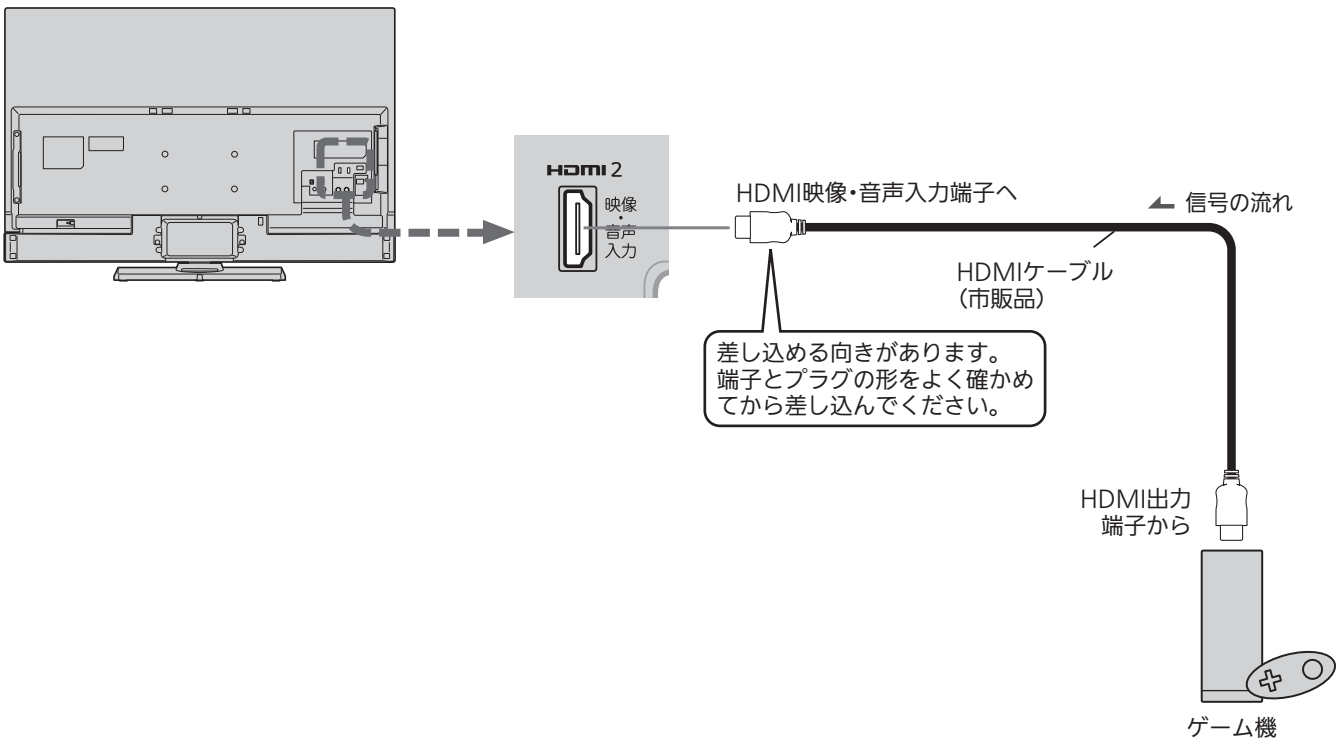
お知らせ

- 対応している映像信号・音声信号については、仕様 P.84 をご覧ください。
- HDMI対応機器の映像や音声を楽しむときは、入力切換で「HDMI1」(「HDMI2」または「HDMI3」)を選んでください。
- HDMI入力からの録画はできません。
- 非対応の信号を入力すると、映像が乱れたり、映像が出なくなることがあります。接続機器側の設定には十分ご注意ください。
- HDMI出力端子付きパソコンを接続するときは、HDMI規格に適合した信号が出力されるようパソコンを設定のうえご使用ください。

お願い!

- HDMIケーブルはHDMI規格認証されたハイスピードHDMIケーブルをご使用ください。
- 4K映像を楽しむためには、「プレミアムHDMIケーブル認証」を取得した18Gbps対応のHDMIケーブルをご使用ください。映像音声が正しく表示されないときは「メニュー」→「設定」→「機能設定」→「HDMI入力信号設定」のHDMI画質を「通常」に設定してください。くわしくは、「使いかたガイド」をご覧ください。
- HDMI対応機器の接続や操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。

例:HDMI対応ゲーム機を「HDMI2入力」に接続する



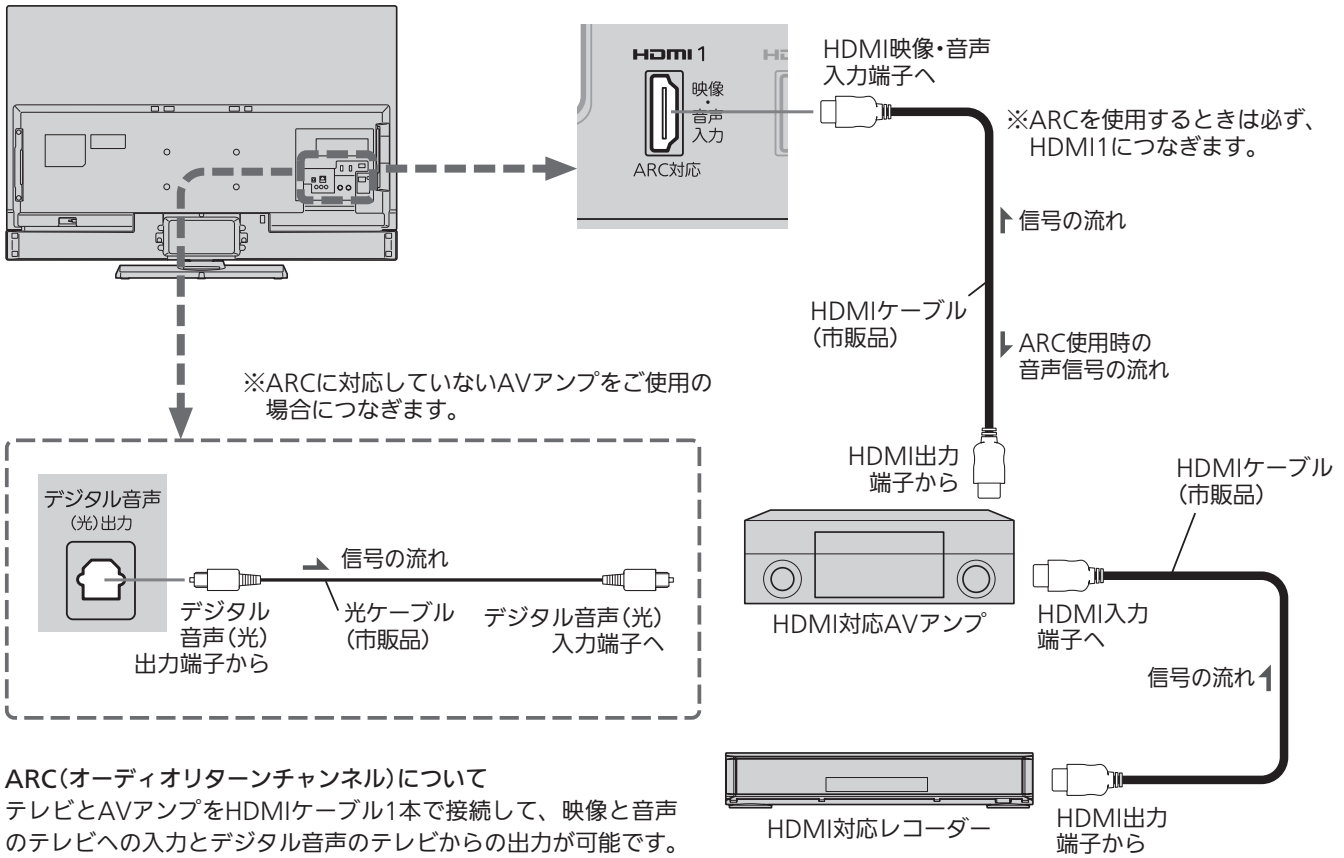
お知らせ

ゲーム機側の設定を間違えると画像が映らなくなり設定変更ができなくなる場合がありますので、ゲーム機の取扱説明書をよく読み正しく設定してください。

例：HDMIコントロール対応AVアンプを「HDMI1入力」に接続する

本機のリモコンで、HDMIコントロールに対応したAVアンプの音量調節ができます。接続後は、「リンク制御」を「入」に設定します。
さらに、光ケーブル、HDMIケーブルで接続したときは、AVアンプに合わせて「光音声/ARC出力設定」が必要です。
また、HDMIケーブルで接続する場合は、AVアンプがARC(オーディオリターンチャンネル)に対応している必要があります。

この接続図は、接続方法の一例です。



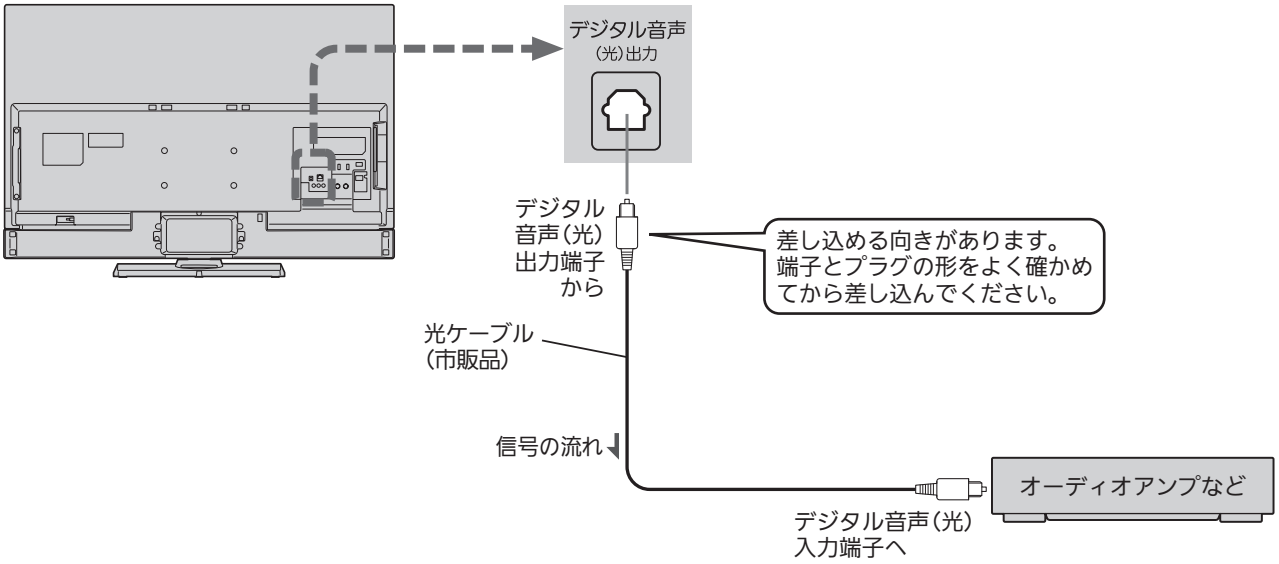
ARC(オーディオリターンチャンネル)について
テレビとAVアンプをHDMIケーブル1本で接続して、映像と音声のテレビへの入力とデジタル音声のテレビからの出力が可能です。光デジタルケーブルが不要になります。テレビもAVアンプもARCに対応している必要があります。

お願い!

- HDMIケーブルはHDMI規格認証されたハイスピードHDMIケーブルをご使用ください。
- 4K映像を楽しむためには、「プレミアムHDMIケーブル認証」を取得した18Gbps対応のHDMIケーブルをご使用ください。映像音声が正しく表示されないときは 「メニュー」→「設定」→「機能設定」→「HDMI入力信号設定」のHDMI画質を「通常」に設定してください。くわしくは、「使いかたガイド」をご覧ください。
- HDMIコントロール対応AVアンプをつないだときは、レコーダーなど周辺機器はAVアンプと接続してください。周辺機器からのサラウンドやデジタル音声出力でお聞きになれます。
- HDMIコントロール対応AVアンプをつないだときは、デジタル音声(光)出力もAVアンプと接続してください(ARC対応のAVアンプでARCを使用するときは接続不要です)。AVアンプに電源が入っているとき、本機の音声が消音される場合がありますのでAVアンプで本機の音声を聞けるようにします。この場合でもリモコンの消音ボタンで消音になります。
- ARCを使用するためには、ARC対応のAVアンプが必要です。また、AVアンプ側の設定が必要な場合があります。
- ARCを使用するときは必ず、HDMI1につないでください。
- ARCを使用するときも、本機とつなぐHDMIケーブルのAVアンプ側はHDMI出力に接続してください。
- テレビに映像を映すために、AVアンプ側の設定が必要な場合があります。
- AVアンプを含め、接続する外部機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- HDMIコントロール対応機器は製品毎に接続方法や動作が異なりますので機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

デジタル音声(光)入力対応のオーディオ機器との接続

デジタル音声(光)入力対応のオーディオ機器を接続すると、今見ている番組のマルチチャンネル音声を楽しむことができます。また番組によって録音することもできます。
接続後は、接続先に合わせて「光音声/ARC出力設定」が必要です。設定のしかたについては、「使いかたガイド」をご覧ください。



お知らせ

- 接続できるオーディオ機器は、ビットストリームまたはPCMに対応したアンプやMDなどで、デジタル音声(光)入力端子を持つ機器です。
- PCMとは、Pulse Code Modulation の略称でCDなどで使われている2chのデジタル信号です。
- 外部オーディオアンプを使って音声を聞くときは、本機の音量を「0」にしてください。

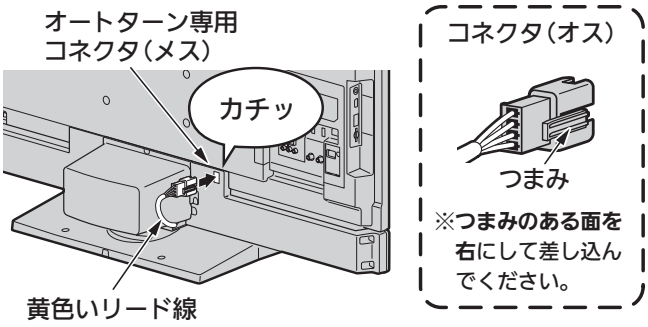
お願い!

- 接続前に本機とオーディオ機器の電源を必ず切ってください。
- 接続するオーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ケーブルを束ねる

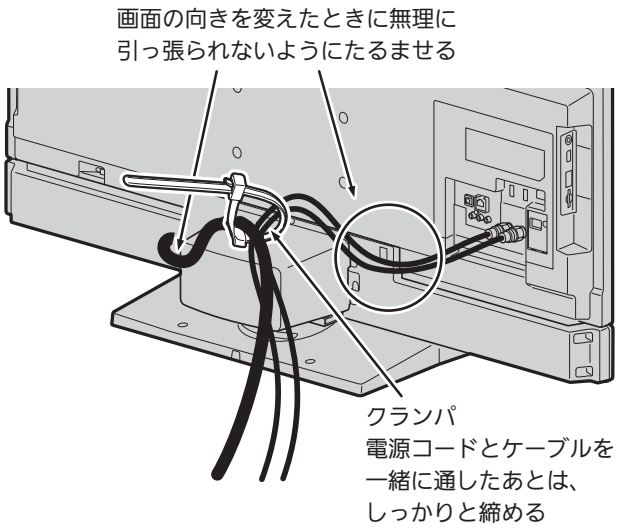
お願い!

- 接続は、電源プラグを抜いてから行ってください。
- 映像・音声接続用のプラグと端子で色分けがしてあるものは、それぞれ色が合うようにつないでください。
  映像…黄、音声ー左…白、音声ー右…赤
- プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音、映像ノイズなどの原因になります。
- 接続線は、後面のクランパで固定してください。
- プラグを抜くときは、コードを引っ張らずに、プラグを持って抜き取ってください。
- 機器をつないで映像が乱れたり、雑音が出るときは、たがいに近すぎることがあるので、機器を十分に離してください。
- 機器によっては接続が異なる場合がありますので、接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。
- 録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。
- スタンドの黄色いリード線を本体後面にしっかり差し込んだ後は、引っ張ったり抜いたりしないでください。オートターン機能が使えなくなります。



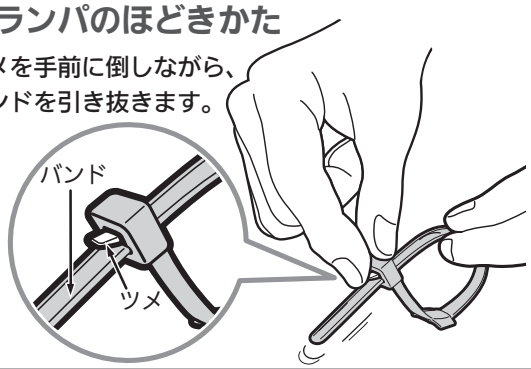
他の機器を接続したあとは…

下図のように、ケーブルを後面のクランパで、しっかり固定してください。



クランパのほどきかた

ツメを手前に倒しながら、
バンドを引き抜きます。



お願い!

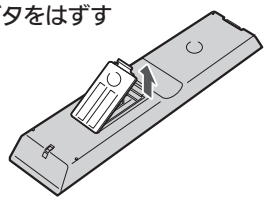
- ケーブルは、たるませて固定してください。ケーブルが無理に引っ張られると端子が破損する恐れがあります。

準備5 リモコンの準備をする

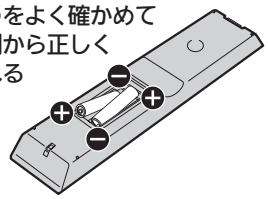
乾電池を入れる

単4形乾電池 R03(UM-4)を2個使用

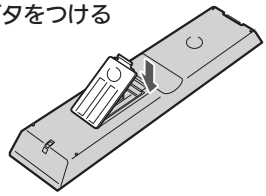
1 裏ブタをはずす



2 ⊕⊖をよく確かめて⊖側から正しく入れる



3 裏ブタをつける



⚠警告

電池および電池の入ったリモコンは、直射日光の当たるところや熱器具、直火のそばなど温度が上がるところに置かない。

⚠注意

乾電池は⊖側から入れる。
正しい向きに入れる。

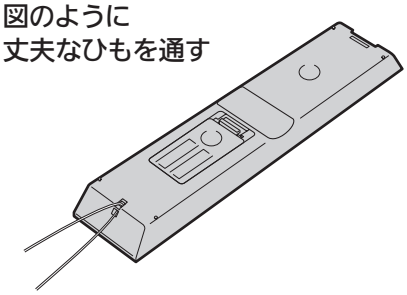
電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚す原因になります。

- **乾電池の寿命は約半年です。**(ご使用の状態によって寿命が変わります。)
- リモコンが動作しなくなったり、操作できる距離が短くなったときは、2個とも新しい乾電池と交換してください。
- 電池を廃棄する場合は、「各自治体の指示」に従って廃棄ください。
  プラス⊕・マイナス⊖端子に絶縁性テープを貼るなどして絶縁状態にしてから廃棄ください。

吊りひもをつけるとき

太さ2mm程度の丈夫なひもを用意してください。

図のように
丈夫なひもを通す



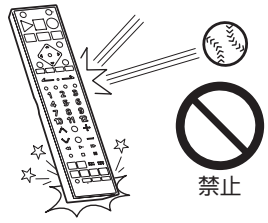
⚠注意

吊りひもを持って振り回さない

人に当たると、けがの原因になります。

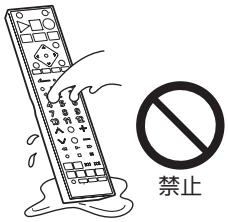
お願い! リモコンの取扱い

落としたり、物を当てたり、衝撃を与えたりしない。

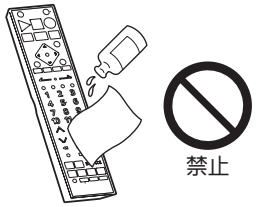


リモコンの上に重いものを乗せたり、踏みつけたりしない。

水をかけたり、ぬれたものの上に置かない。



ベンジン、シンナーなど揮発性の液体でふかない。



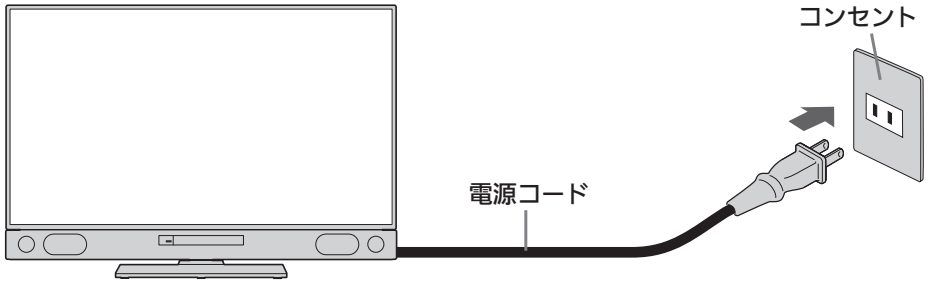
外傷に至らない場合でも、内部の基板が割れるなどの故障の原因となりますので、取り扱いには十分ご注意ください。

- ボタンは、表示の真ん中あたりを真上から押してください。
- ボタンを押すときは、力を入れすぎないようにしてください。
- 丁寧に扱ってください。

準備6 電源を入れる

電源コードをつなぐ

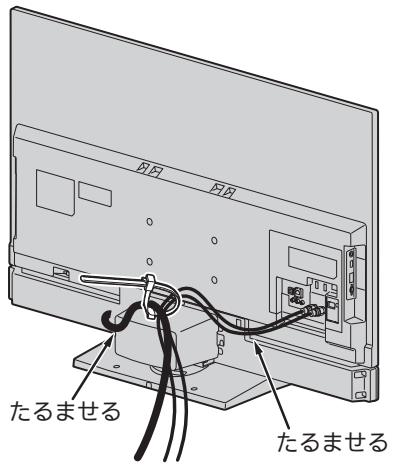
電源プラグは**容易に手が届く場所**のコンセントに差し込んでください。



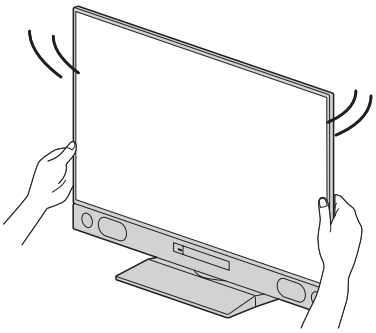
お願い!

キャビネットや液晶パネルが損傷している場合は、電源プラグをコンセントに差し込まずに、お買上げの販売店に連絡してください。

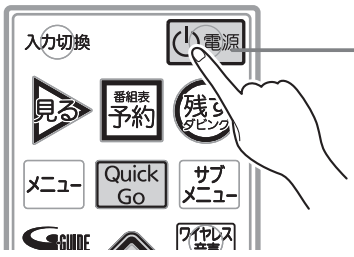
■ ケーブルをまとめるとき



画面を左右に回転させてみて、
配線に無理がないか確かめてください。

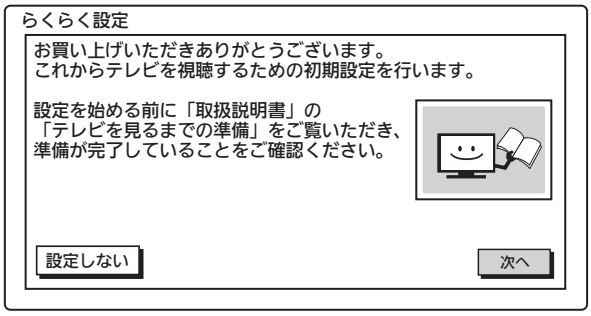


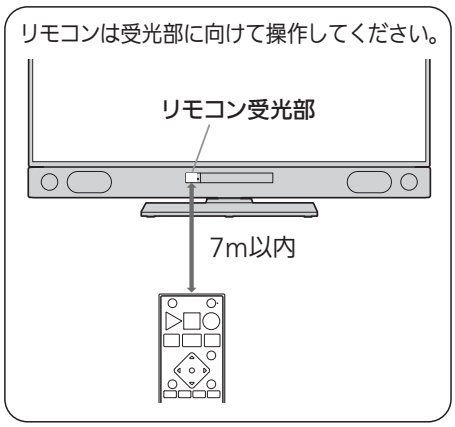
リモコンで電源を入れる



電源ボタンを押す

お買上げ後、初めて電源を入れると
下記の画面(らくらく設定)が表示されます。





準備7 らくらく設定をする

接続が終わって初めて本機の電源を入れたときは、画面にらくらく設定画面が表示されます。
画面の案内やガイドに従って、確認・設定を行ってください。

設定開始

1 本機の電源を入れ、P.56の画面が表示されたら、
本誌の「テレビを見るまでの準備」をご覧になり準備ができていることを確認し、決定を押す

- 「らくらく設定」をしない場合は「設定しない」を選び、決定を押してください。

2 **決定を押して、設定を始める**

■ アンテナ線の接続のしかたについては
P.33〜38をご覧ください。

お知らせ

テレビ放送を見ない場合は、「次へ」が選ばれている状態で、もう一度決定を押して手順3へ進んでください。

衛星視聴の確認

3 BS・110度CS デジタル放送、
またはBS4K・110度CS4K放送を
「視聴する」または「しない」を選ぶ

- BSデジタル放送や110度CSデジタル放送、BS4K放送、110度CS4K放送をご覧になるには専用アンテナの設置やCATV会社との契約、放送会社との契約などが必要です。

「視聴する」を選んだ場合は、手順4へ進みます。
「しない」を選んだ場合は、手順5へ進みます。

4 **「次へ」が選ばれている状態で、決定を押す**

お知らせ

- 設定画面内に表示される「BS/CS」「BS4K/CS4K」は次の放送を意味しています。
  「BS/CS」：BS・110度CSデジタル放送
  「BS4K/CS4K」：BS4K・110度CS4K放送
- 受信レベルの数値は、アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信C/N（受信信号電力対雑音電力比）の換算値を表します。

地域の開始

5 **7桁の郵便番号を入力する**

数字ボタンを押す

- 間違えたときは〈で戻り、入力し直してください。
- へ∨でも入力できます。
  この場合、7桁目を入力したあとで〉を押して「次へ」を選んでください。
- 伊豆、小笠原諸島地域は、「東京都島部」を選びます。
- 南西諸島鹿児島県地域は、「鹿児島県島部」を選びます。

6 **「次へ」が選ばれている状態で、〉を押して、決定を押す**

7 **へ∨でお住まいの地域を選び、決定を押す**

8 **「次へ」を選んで、決定を押す**

スキャン

9 地上デジタル放送を
「視聴する」または「しない」を選ぶ
〈〉で選んで決定を押す

10 **「次へ」が選ばれている状態で、決定を押す**

お知らせ

「⚠ 放送波が受信できません」などが表示されたときは、
P.33〜38をご覧になり、アンテナ接続を確認してください。
正しく接続し直したあとは、決定を押してスキャンし直してください。

節電画質設定

「設定する」を選んで節電画質に切り換えると、ご家庭での視聴に適した消費電力の少ない画質になります。

11 **「設定する」または「しない」を選ぶ**
〈〉で選んで決定を押す

お知らせ

- この手順で節電画質設定に切り換えなくても、らくらく設定完了後、メニューを押して「設定」→「節電アシスト設定」→「節電画質設定」で切り換えることができます。
- 節電画質を設定すると、画面がそれまでと比べやや暗くなります。

ある放送局だけ映りが悪い、ある部屋だけ映りが悪いなどの症状があるときは、「屋内配線も重要です」P.60をご覧ください。

読み上げ設定

メニュー、番組表、番組内容、予約一覧などの画面で表示内容を自動的に読み上げるように設定できます。

12 「自動読み上げする」または「自動読み上げしない」を選ぶ

へ∨で選んで決定を押す

お知らせ

この手順で読み上げ設定に切り換えなくても、らくらく設定完了後、「メニュー」→「設定」→「音声設定」→「読み上げ設定」→「自動読み上げ」で切り換えることができます。

13 「次へ」を選んで、決定を押す

高速起動設定

14 「変更する」または「しない」を選ぶ

通常は「しない」を選択してください。

「変更する」・・・

高速起動が「入」になり、電源が切の状態から起動して(本機の電源が入になって)から本機が使用可能になるまでの時間を高速化します。

- 高速起動が「入」のときは、
  - ・動作を安定させるために1日1回内部のシステムを再起動させます。再起動中は動作確認のため、動作音がします。
  - ・高速起動を「切」にしたときと比較して、待機時消費電力(リモコンまたは本体の電源ボタンで電源「切」にしたときの消費電力)が増えます。
  - ・待機時消費電力の増加に伴い、年間消費電力量が製品仕様の値よりも増えます。
- 「変更する」で決定すると、再起動する時刻を設定する画面が表示されます。
  (工場出荷時の設定 … AM(午前) 5:00)
  この時刻でよいときは、決定を押して確定します。
  使用しない時間帯に変更するときは、次の操作をします。
  ① 〈で「時」を選ぶ
  ② へ∨で「時」を選び、 〉で分に移動する
  ③ へ∨で「分」(10分単位)を選び、 〉で「確定」に移動する
  ④ 決定を押して、確定する

「しない」・・・

高速起動が「切」になり、起動時間を高速化しません。製品仕様の年間消費電力量は「しない」で測定しています。

設定完了

15 注意事項を確認し、「次へ」が選ばれている状態で、決定を押す

16 「完了」を選び、決定を押す

お知らせ

- らくらく設定は、必ずアンテナが接続された状態で放送のある時間帯に行ってください。チャンネルがとばされるように設定されて、選べなくなります。
- 地上デジタル放送のチャンネルスキャンをしなかったときは、らくらく設定終了後、必ず時計を合わせてください。時計を合わせないと、録画予約、ネットワーク(「YouTube™」、「AbemaTV」)の利用、ネットワーク経由の録画ができません。地上デジタル放送のチャンネルスキャンをすると、放送を受信できる状態のときは時刻が自動的に設定・修正されます。
- 高速起動設定の再起動中は、動作確認のため動作音がします。
- 転居でお住まいの地域が変わったときなど、らくらく設定をやり直したいときは「メニュー」→「設定」→「初期設定」→「らくらく設定」の順に選び設定します。
- 設定後の各放送の番組表の取得には、時間がかかります。

準備8 ACAS番号を確認する

本機は、ACAS方式を採用しており、これまでのB-CASカードに代わり、ACASチップを内蔵しています。
内蔵されているACASごとに20桁の番号が割り振られており、NHKのBSの受信機設置確認の連絡や、
放送事業者との有料放送の視聴契約等にも使用されます。

次の手順でACAS番号を確認し、控えてください。

1 メニューを押す

2 ▲▼で「お知らせ」を選び、決定を押す

3 ▲▼で「CAS情報」を選び、決定を押す
- モジュールID（ACAS番号）が表示されます。

4 モジュールID（ACAS番号）を確認する
- この取扱説明書の裏表紙などに番号を記入してください。

5 終了するときは、メニューを押す

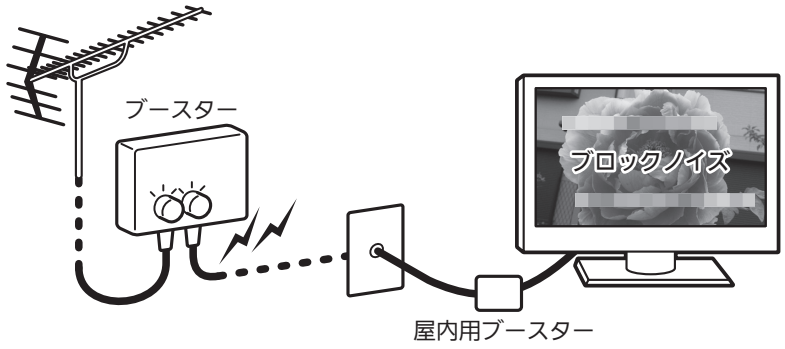
お知らせ

- ACAS方式とは、新4K8K衛星放送の著作権を管理するコンディショナルアクセスシステム（CAS）方式の一つです。BSデジタル放送/110度CSデジタル放送にも対応しています。
- 放送事業者との有料放送などの新規契約時やテレビ買い替え時は、モジュールID（ACAS番号）を確認し契約している事業者への連絡が必要となります。

屋内配線も重要です

ある放送局だけ映りが悪い、ある部屋だけ映りが悪いなどの症状があるときは、屋内配線を確認してみましょう。

アナログ放送のときに使っていたブースターをそのまま使っていると、電波が強すぎて、映りが悪くなることがあります。



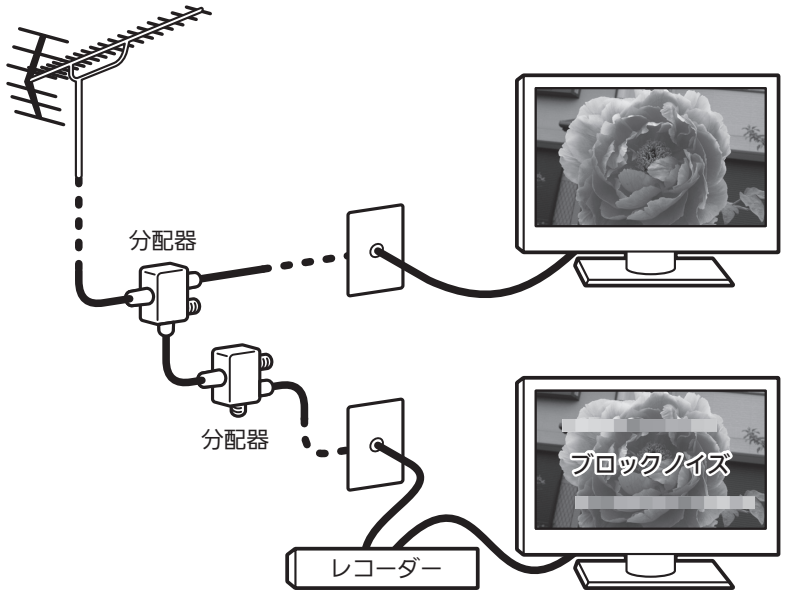
アッテネーターの設定を確認しましょう。

アッテネーターを「入」にして映りが良くなれば電波が強すぎると考えられます。
ブースターの利得調整ができるなら利得を下げましょう。

屋内用ブースターを外してみましょう。

屋内用ブースターは、アンテナから壁の端子の妨害も一緒に増幅し、映りを悪くする場合があります。

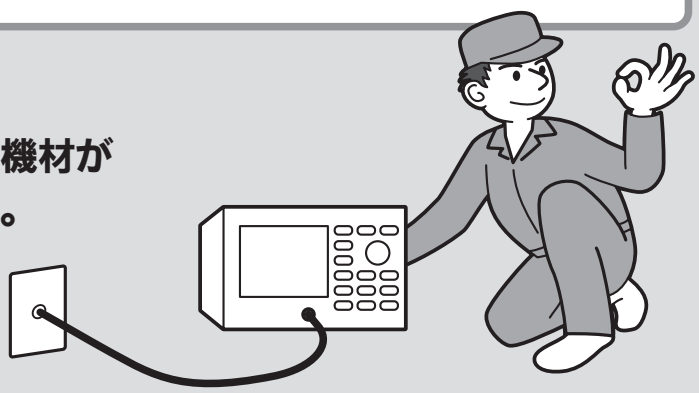
分配器や録画機器を通っていると、電波が弱くなり、映りが悪くなります。



アンテナレベルを確認しましょう。

「メニュー」→「お知らせ」→「アンテナ受信レベル」で受信レベルを確認できます。
安定して視聴できるレベルは「22以上」が目安です。

**電波状況の確認については、専用の機材がそろった工事業者にご相談ください。
集合アンテナをご利用の場合は、管理者にご相談ください。**



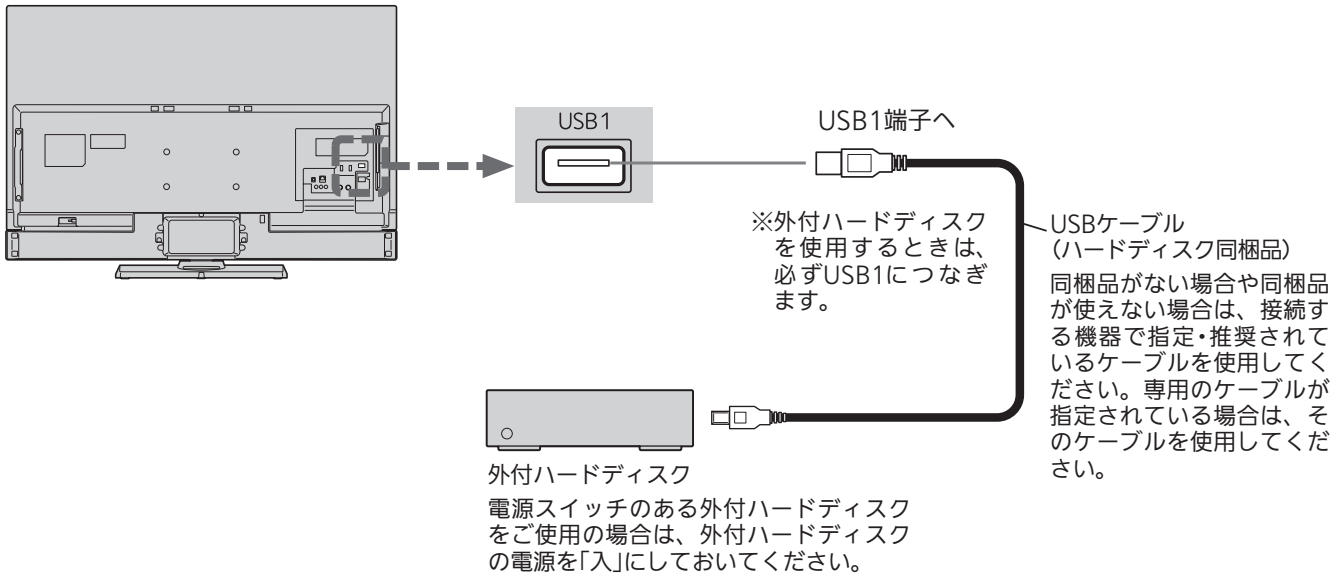
準備9 外付ハードディスクを使う

本機に市販の外付ハードディスクを接続することで、直接録画ができます。また、本体に録画した番組を移動して、録画できる番組数を増やすことができます。
本機に接続できる外付ハードディスクは1台だけですが、別売のハブをつなげて4台まで可能になり、8台まで登録して利用することができます
設定や操作については、P.63～66をご覧ください。

お知らせ

- 本機に接続できるハードディスクは、USB3.0または2.0コネクタを持ち、USBマスストレージクラスで、容量160GBから6TBまでです。160GBと表示があっても実質容量が160GBを切るものは外付として使用できません。接続するハードディスクの取扱説明書などでご確認ください。
- BS4K・110度CS4K放送の録画には、USB3.0準拠の外付ハードディスクをお使いください。
  BS4K・110度CS4K放送は、USB3.0準拠でない外付ハードディスクには録画できません。外付ハードディスクがUSB3.0準拠したものであってもUSB3.0準拠でないハブ経由で接続された場合は、USB3.0と認識されず、録画できません。
- 本機と接続テスト済みハードディスクとUSBハブのメーカーや型番については、
  当社のホームページ(https://www.mitsubishielectric.co.jp/home/ctv/feature/external_hdd.html)をご確認ください。
  メーカーや型番などの違いにより、本機と接続できないことがあります。
  当社にて動作確認をしておりますが、動作確認を行ったハードディスクでも、全ての製品の動作保証をするものではありませんので、あらかじめご了承ください。

外付ハードディスクをつなぐ



お知らせ

- 本機に接続できるハードディスクは1台だけですが、8台まで登録して使用することができます。
- 本体の録画再生中やハードディスク動作中は、ハードディスクを外さないでください。
- 外付ハードディスクを接続していると、電源「入」時やディスク再生後の録画一覧表示時にしばらく操作ができないことがあります。ハードディスクの情報を取り込んでいるためです。しばらく待ってから操作をしてください。

お願い!

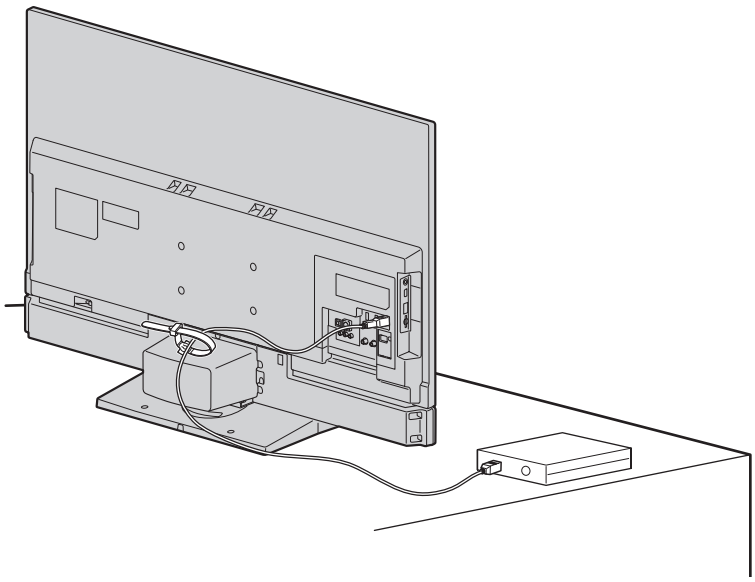
- テレビ放送録画用の外付ハードディスクを接続してください。
- 外付ハードディスクを使用するときは、必ずUSB1につないでください。
- 本機のUSB1端子には、テレビ放送録画用のハードディスク以外のUSB機器を接続しないでください。
- ハードディスクを設置するときは、オートターンなどで画面を回転させたときに当ったり倒れたりしないよう、よく確かめながら設置してください。
- USBケーブルが長い場合は、オートターンなどで画面を回転させたときにケーブルが引っ掛からないよう、よく確かめながら接続してください。
- USBケーブルは、ハードディスク同梱のものを使用してください。長さが合わないなどでやむを得ず同梱品以外のケーブルを使用する場合は、接続機器で指定・推奨されているケーブルを使用してください。USB規格に準拠していないケーブルは不具合の原因となりますので使用しないでください。
- 外付ハードディスクの取り外しは、必ず外付ハードディスクが動作していないときに行ってください。
- ハードディスクの取扱説明書もよくお読みになり、正しくご使用ください。
- 「外付ハードディスクに異常が発生しました。」などの画面表示が何度も表示される、外付ハードディスクが認識されない、など、外付ハードディスクに不具合が起きた場合は、お買上げのメーカーへお問い合わせください。

準備9 外付ハードディスクを使う(つづき)

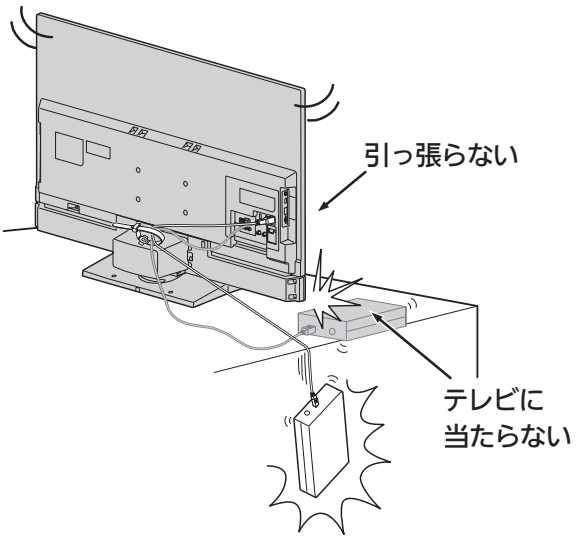
- ハードディスクは非常に精密な機器です。衝撃や振動などが加わらないよう、丁寧にお取り扱いください。
  特にハードディスクの動作中(ハードディスクの表示灯が点灯や点滅をしているとき)はご注意ください。
- USBケーブルは、余裕を持たせて接続してください。きつく折れ曲がる状態にすると、ケーブルが断線する恐れがあります。

本体への取り付け例

接続しているUSBケーブルはオートターンなどで画面を回転させたときに
ケーブルが引っ掛かったりハードディスクを引っ張らないように接続してください。
ハードディスク本体も、テレビ回転中にテレビと接触しないように設置ください。
ハードディスクの動作不良、故障の恐れがあります。



【悪い例】



未登録の外付ハードディスクを登録する
※ 登録済みの外付ハードディスクをつなぎ直したときは、再登録する必要はありません

お願い!

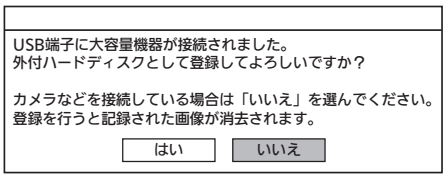
- **登録すると、外付ハードディスクが初期化され、外付ハードディスクの内容はすべて消去されます。**
  本機以外(同一形名の当社モデルを含む)で使用した外付ハードディスクを本機に登録する場合も、同様に外付ハードディスクの内容がすべて消去されます。
- **初期化で消去された内容は、元には戻せません。**
- **登録後は、登録をした本機でのみ利用することができます。(同一形名の当社モデルでも利用できません。)**
- **登録を解除した外付ハードディスクを再登録する場合も、同様に初期化され、内容がすべて消去されます。**
- **外付ハードディスクの初期化中や動作中は、外付ハードディスクの電源を切ったり、本機や外付ハードディスクの電源コードやUSBケーブルを抜かないでください。**
  本体/外付ハードディスクの録画内容が損失したり、故障する原因となります。
  また、USBケーブルを抜いて外付ハードディスクを取り外すときは、必ずP.66の手順を行って取り外してください。
- **万一本機が故障して主要な部品を取り替えたり、本機を交換した場合、外付ハードディスクの登録情報が解除され、外付ハードディスクの再登録(初期化)が必要となります。**
  再登録(初期化)すると、外付ハードディスクの内容がすべて消去されます。

外付ハードディスクの接続と同時に登録するとき

1 本機の電源が「入」で放送や外部入力を視聴しているときに、未登録の外付ハードディスクをUSBケーブルで本体後面にある外付ハードディスク専用のUSB1端子に接続するP.61

(外付ハードディスクに電源スイッチがある場合は、外付ハードディスクの電源を入れてください。)

- 次のメッセージが表示されます。



- 外付ハードディスクとして使用する場合のみ、〈 〉で「はい」を選び、決定を押します。

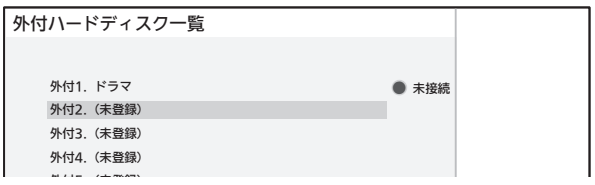
■ **接続したUSB機器を外付ハードディスクとして利用しないときは、登録しないでください**

登録すると、USB機器に記録された内容がすべて消去されてしまいます。
「いいえ」のまま決定を押します

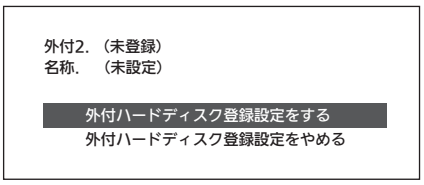
■ **メッセージが表示されない場合は**

「外付ハードディスク一覧」画面から登録してください。

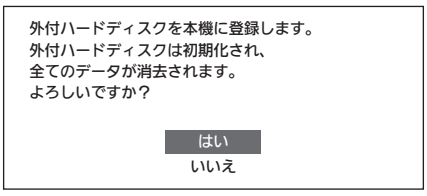
2 「外付ハードディスク一覧」が表示されるので、へ〉で「(未登録)」の外付ハードディスクを選び、決定を押す



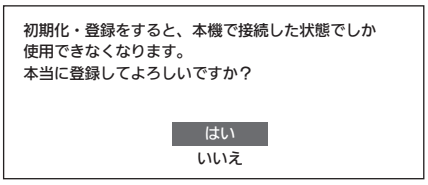
3 へ〉で「外付ハードディスク登録設定をする」を選び、決定を押す



4 へ〉で「はい」を選び、決定を押す



5 再度、確認画面が表示されるので へ〉で「はい」を選び、決定を押す



- 外付ハードディスクの初期化が始まります。終わるまで、しばらく時間がかかります。
- 初期化中は、途中で中止できません。
- 初期化が終わると終了画面が表示されます。

次ページへつづく

準備9 外付ハードディスクを使う(つづき)

6 へ∨で「はい」を選び、決定を押す

外付ハードディスクの初期化が完了しました。
引き続き、外付ハードディスク名の設定を行いますか？
(外付ハードディスク名は、あとから
「外付ハードディスク一覧」からも
設定できます。)

はい
いいえ

●この後は、外付ハードディスクの名称を変更します。
P.65 をご覧ください。

7 後から設定する場合は へ∨で「いいえ」を選び、決定を押す

●通常画面に戻ります。

「外付ハードディスク一覧」画面から登録するとき

1 メニューを押す

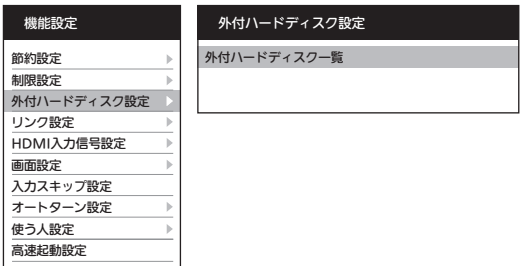
2 へ∨で「設定」を選び、決定を押す

3 へ∨で「機能設定」を選び、決定を押す

●「機能設定」画面が表示されます。

4 へ∨で「外付ハードディスク設定」を選び、決定を押す

5 「外付ハードディスク一覧」が選ばれているので、そのまま決定を押す



●「外付ハードディスク一覧」画面が表示されます。

6 P.63 手順2～7を行う

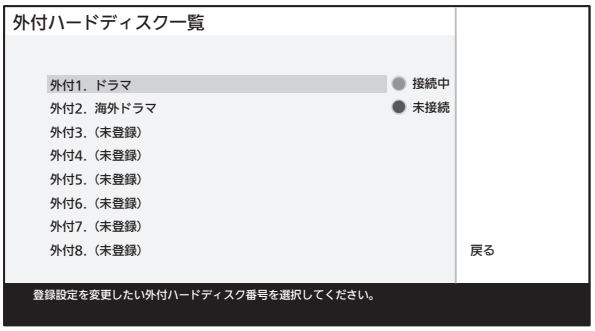
外付ハードディスクの登録・接続状況を確認する/登録名を変更する

「外付ハードディスク一覧」画面で操作します。

外付ハードディスクの登録・接続状況を確認する

1 P.64（「外付ハードディスク一覧」画面から登録するとき）の手順1～5を行う

2 登録・接続状況を確認する



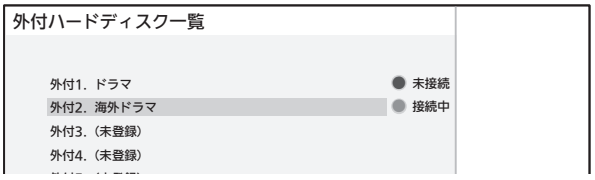
● （緑）　：登録済みで**接続中**
● （グレー）：登録済みで**未接続**

3 確認が終わったら
〉で「戻る」を選び、決定を押し通常画面に戻す

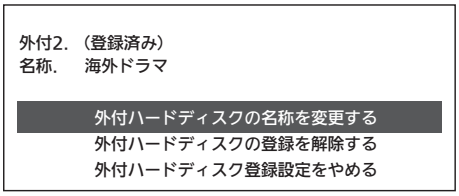
外付ハードディスクの登録名を変更する

1 P.64（「外付ハードディスク一覧」画面から登録するとき）の手順1～5を行う

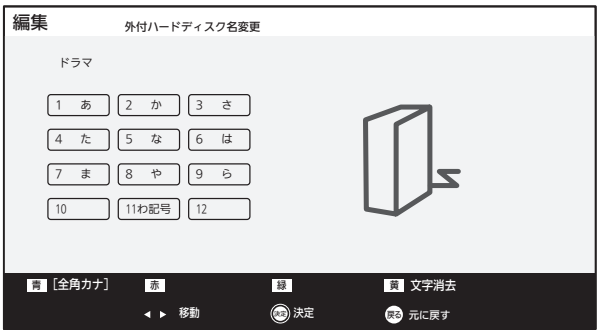
2 へ∨で登録名を変更したい外付ハードディスクを選び、決定を押す



3 へ∨で「外付ハードディスクの名称を変更する」を選び、決定を押す



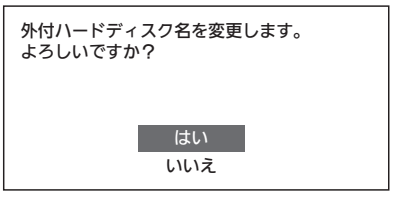
4 登録名を変更する



● 文字入力のしかたは、画面下のガイドに表示されます。

5 すべての文字を確定したら
決定を押して文字入力を終了する

6 確認画面が表示されるので
へ∨で「はい」を選び、決定を押す



● 「外付ハードディスク一覧」画面に戻ります。

7 〉で「戻る」を選び、決定を押し通常画面に戻す

準備9 外付ハードディスクを使う(つづき)

外付ハードディスクの登録を解除する/取り外す

「外付ハードディスク一覧」画面で操作します。

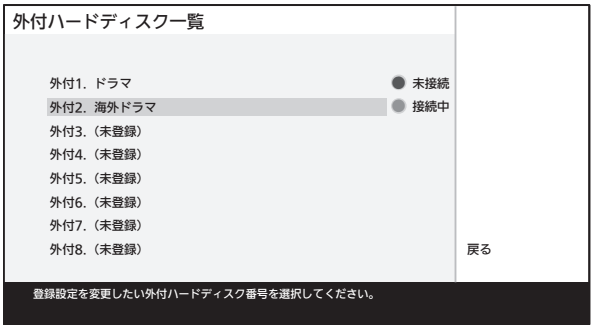
外付ハードディスクの登録を解除する

お願い!

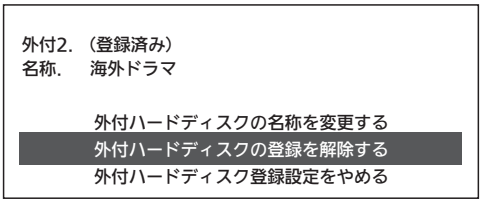
- 登録を解除した外付ハードディスクを再登録する場合は、外付ハードディスクが初期化され、内容がすべて消去されます。
  登録を解除した外付ハードディスクの内容は再生/編集/移動できなくなります。他の機器で再生/編集することもできませんので、解除する機器は慎重に選んでください。

1 P.64(「外付ハードディスク一覧」画面から登録するとき)の手順1〜5を行う

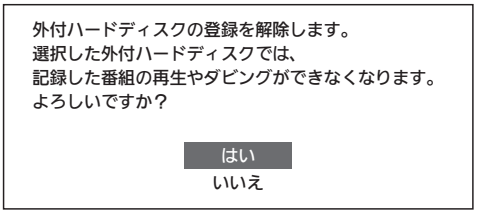
2 へ〉で登録を解除したい外付ハードディスクを選び、決定を押す



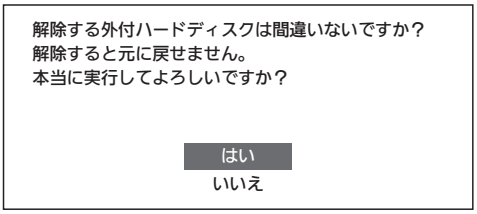
3 へ〉で「外付ハードディスクの登録を解除する」選び、決定を押す



4 確認画面が表示されるので
へ〉で「はい」を選び、決定を押す



5 再度、確認画面が表示されるので
へ〉で「はい」を選び、決定を押す



- 「外付ハードディスク一覧」画面に戻ります。

6 〉で「戻る」を選び、決定を押し通常画面に戻す

外付ハードディスクを取り外す

録画予約の録画実行中、番組移動の実行中、録画モード変換中など、本機内部の電源が入り、外付ハードディスクが動作していることがあります。そのようなときは外付ハードディスクを取り外さないでください。

1 外付ハードディスクが動作していないことを確認する

2 本機のUSB1端子からUSBケーブルを抜く

準備10 通信設定をする

ホームサーバー設定をする

本機と家庭内ネットワーク機能に対応したテレビ(プレーヤー機器)をLANケーブルまたは無線LANで接続し、本機(本体のハードディスク)や外付ハードディスクに録画したコンテンツをテレビ(プレーヤー機器)で再生することができます。

また、外出先でも本機に録画した番組を見ることができる「外から視聴」を利用することができます。「外から視聴」を利用するためのホームサーバー設定のしかたについては、当社ホームページ掲載の本機取扱説明「インターネット編」P.3をご覧ください。

お願い!

- LAN録画をするときは、必ず「ホームサーバー機能」の設定を「入」にしてください。(「切」にすると録画できません。)
  4K放送の番組は録画できません。

LAN録画とは、ネットワーク経由で録画する次のような録画です。
- 「スカパー!プレミアムサービスLink」(録画)
- CATV(ケーブルテレビ)セットトップボックスからの録画　など

1 「メニュー」→「設定」→「通信設定」を選ぶ
- 「通信設定」画面が表示されます。

2 「ホームサーバー設定」を選び、決定を押す

3 「ホームサーバー機能」を選び、決定を押す

4 「入」を選び、決定を押す

■ ホームサーバー機能を利用しない場合は
「切」に設定してください。

5 設定が完了したら、戻るを押す

アクセス制限を設定する

本機にアクセスできるネットワーク機器を制限することができます。

1 上記(ホームサーバー設定)の手順1、2を行う

2 「アクセス制限」を選び、決定を押す

3 アクセスを許可するネットワーク機器を設定する

①「制限する」を選び、決定を押す

②アクセスを許可する機器のMACアドレスを選び、決定を押す
- 選んだ機器のMACアドレスに、「☑」が付きます。
- 決定を押すたびに、「☑」(アクセス許可)と「□」(アクセス禁止)が切り換わります。

③「決定」に移動し、決定を押す

■ アクセス制限をしない場合は
「制限しない」を選んでください。

4 設定が完了したら、戻るを押す

本機の名称を変更する

本機と接続した家庭内ネットワーク機能に対応した機器や携帯端末側で表示される本機の名前を変更することができます。

1 「メニュー」→「設定」→「通信設定」を選ぶ
- 「通信設定」画面が表示されます。

2 「本機名称設定」を選び、決定を押す

3 本機の名前を変更する
(文字の入力のしかたは、「使いかたガイド」をご覧ください。)

4 すべての文字を確定したら
決定を押す

お知らせ

- ここで設定された名称がBluetooth®対応再生機器接続や携帯端末連携機能での本機の表示名になります。
- 名称に漢字、かな、半角カタカナ、記号を使用すると、携帯端末や再生機器側の表示が使用した文字と異なる文字を表示(文字化け)する場合があります。
- ハイフン以外の記号、および空白(スペース)は使用できません。

ネットワーク設定をする

本機にLANケーブルまたは無線LANを接続して、ブロードバンド経由でデータ放送の双方向通信や「ネットワーク」を利用したり、LAN録画をすることができます。

LAN録画をするときは、必ず「メニュー」→「設定」→「通信設定」→「ホームサーバー設定」−「ホームサーバー機能」の設定を「入」にしてください。(「切」にすると録画できません。)
設定のしかたは、P.67をご覧ください。
● 4K放送の番組は録画できません。

LAN録画とは、ネットワーク経由で録画する次のような録画です。
・「スカパー！プレミアムサービスLink」(録画)
・ CATV(ケーブルテレビ)セットトップボックスからの録画　など

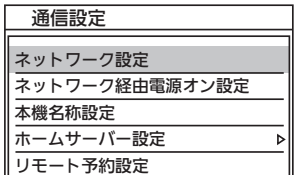
お願い!
● プロバイダとの契約時に提供された資料や接続する機器の取扱説明書を参考に、設定してください。
● 設定内容はプロバイダや回線事業者の提供するサービス内容やお使いになっている機器によりますので、わからない場合はプロバイダや回線事業者へまずお問合せください。
● プロキシサーバーを設定すると、「ネットワーク」の動画コンテンツサービスが正常に視聴できない場合があります。設定する際には、プロバイダや回線事業者に確認してください。
● スカパー！プレミアムサービスチューナーやCATV(ケーブルテレビ)セットトップボックスのネットワーク設定は、その機器の取扱説明書をご覧ください。
● 本機を第三者に譲渡したり、廃棄するなどお客様以外の方へ渡される場合は、LANの設定情報を初期化してください。
初期化のしかたは、当社ホームページ掲載の本機取扱説明書「インターネット編」P.3をご覧ください。

お知らせ
● 有線LANと無線LANは同時に使用できません。
● 無線LAN設定後、有線LANに変更し、再び無線LANに変更する場合、再度、セキュリティキーなどの入力が必要になる場合があります。

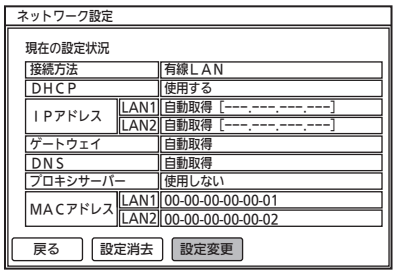
有線LANの設定

1 「メニュー」→「設定」→「通信設定」を選ぶ
● 「通信設定」画面が表示されます。

2 「ネットワーク設定」が選ばれていることを確認して、決定を押す



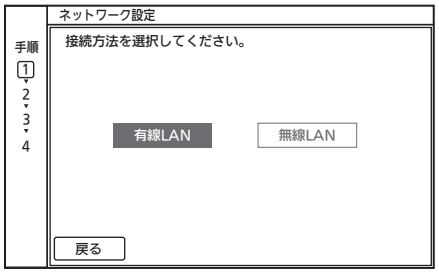
3 「設定変更」が選ばれていることを確認して、決定を押す



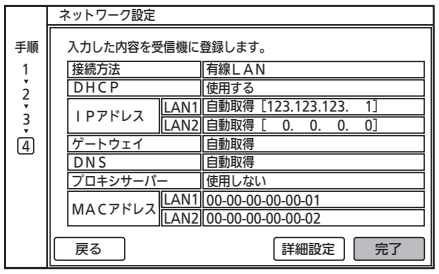
● プロキシサーバーを使用していない場合、LAN1のIPアドレスが表示されていれば、この設定は完了しています。メニューを押して、通常画面に戻してください。

IPアドレスが表示されない場合は、次の手順へ進み設定を確認してください。

4 「有線LAN」が選ばれていることを確認して、決定を押す



5 「完了」が選ばれていることを確認して、決定を押す



お知らせ
● 次のような場合は、「詳細設定」を選び、接続に必要な情報を手動で入力してください。
・DHCPを使用しない場合
・DNS設定やプロキシサーバーの設定が必要な場合
くわしくは、当社ホームページ掲載の本機取扱説明書「インターネット編」P.3をご覧ください。

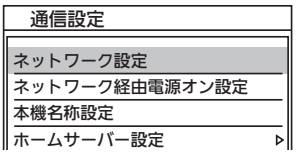
6 設定が完了したら、メニューを押す

無線LANの設定

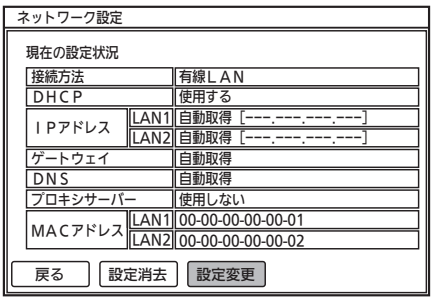
1 「メニュー」→「設定」→「通信設定」を選ぶ

●「通信設定」画面が表示されます。

2 「ネットワーク設定」が選ばれていることを確認して、決定を押す



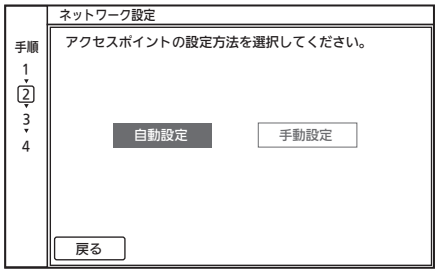
3 「設定変更」が選ばれていることを確認して、決定を押す



4 〉で「無線LAN」を選び、決定を押す

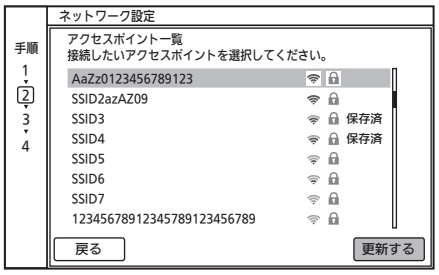
5 「自動設定」が選ばれていることを確認して、決定を押す

●アクセスポイントの機器一覧が表示されます。



●アクセスポイントを手動で設定したい場合は、当社ホームページ掲載の本機取扱説明書「インターネット編」P.3 をご覧ください。

6 接続したいアクセスポイントを選び、決定を押す



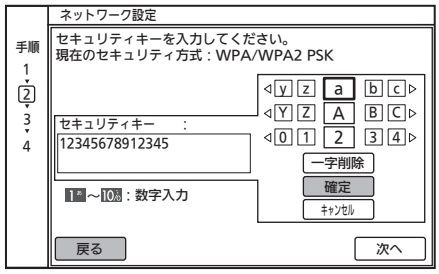
●以前に接続したことがあり、セキュリティキーなどの接続情報が保存されているアクセスポイントには、「保存済」と表示されています。これらのアクセスポイントを使用する場合は、手順7〜10は不要です。手順11に進んでください。

7 セキュリティキーを入力する

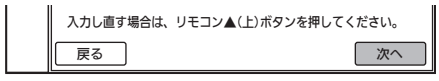
①〈〉で文字または数字/記号を選び、決定を押す

- 手順②をくり返して入力します。
- 数字は、1あ 〜 10わ でも入力できます。
- 間違えたときは、〈〉で「一字削除」または「キャンセル」に移動し、決定を押して、入力し直してください。

②〉で「確定」に移動し、決定を押す

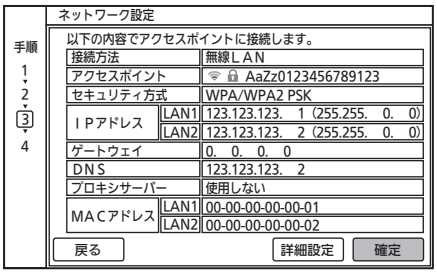


8 決定を押す



9 接続するアクセスポイントを確認し、決定を押す

10 入力した内容を確認し、決定を押す



お知らせ

- 次のような場合は、「詳細設定」を選び、接続に必要な情報を手動で入力してください。
  ・DHCPを使用しない場合
  ・DNS設定やプロキシサーバーの設定が必要な場合
  くわしくは、当社ホームページ掲載の本機取扱説明書「インターネット編」P.3をご覧ください。

11 「完了」が選ばれていることを確認して、決定を押す

12 設定が完了したら、メニューを押す

お知らせ

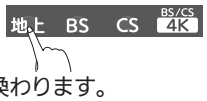
- 接続情報が保存されるアクセスポイントは、最大5つです。

テレビ放送を見る（地上・BS・110度CSデジタル BS4K・110度CS4K）

1 電源を入れる

- 電源表示灯が赤から緑に変わります。

2 テレビ放送の種類を選ぶ



- CS は押すごとにCS1とCS2が切り換わります。
- BS/CS 4K は押すごとにBS4Kと110度CS4Kが切り換わります。
- 視聴しない放送波を誤って選ばないように、無効にすることができます。

3 チャンネルを選ぶ

- チャンネルボタンに設定する放送チャンネルを変えることができます。変更のしかたについては、「使いかたガイド」をご覧ください。

リモコンのボタンに設定されているチャンネルを選ぶ

数字ボタンを押す

3桁のチャンネル番号を入力して選ぶ

「サブメニュー」→「番号入力」を選んでから、数字ボタンで3桁入力する

3秒以内に次の番号を押してください。

- 110度CSデジタル放送では、CS1、CS2のどちらからでも選べます。

チャンネルを順送り/逆送りで選ぶ

チャンネルボタン ∧ ∨ を押す

4 音量を調節する

- 音量は0から最大60まで変化します。
- 待機状態※のときでも、音量を小さくすることができます。
  ※電源「切」直後、5秒程度は受け付けません。
- スピーカーとヘッドホンは、別々に音量調節できます。
- 大きすぎたり小さすぎたりする音量を自動調節することができます。いつも安定した音量で楽しめます。

音量、選局などの操作以外は、起動中の表示が消えてから行ってください。

お願い!

携帯電話の通話や無線機などをご使用になるとき、本機に近づきすぎると、本機の音声に異音が入ったり、画面にノイズが出たりする場合があります。
異音が出たり、本機にノイズが出たりした場合には、携帯電話などを離してご使用ください。

お知らせ

- 受信状況（アンテナ受信レベル）の確認ができます。P.60
- 視聴年齢制限の対象番組などを視聴できないようにする視聴制限設定ができます。設定のしかたについては、「使いかたガイド」をご覧ください。
- リモコンと本体の電源ボタンで「切」にすると待機状態になります。一部の回路が通電しています。
  本体の電源ボタンは、「初期設定」→「本体電源ボタン設定」を「電源断」に設定すると、このボタンで電源を「切」にしたとき、電源プラグを抜いた状態とほぼ同じになります。予約録画などができなくなりますので設定には注意が必要です。

データ放送を見る

放送には、テレビ放送、BSラジオ放送、データ放送の分類があります。
データ放送では、画面を見ながらボタンで操作して、お好みの情報を見ることができます。
データ放送には、連動データ放送と独立データ放送があります。

テレビ放送に連動したデータ放送を見る

番組によっては、テレビ放送の内容に合わせた情報をデータ放送で提供されることがあります。
また本機をインターネットに接続することで、データ放送を利用して、視聴者がリモコンを操作して番組に参加できるテレビ放送などもあります。「インターネットにつなぐ」P.39 または当社ホームページ掲載の本機取扱説明書「インターネット編」P.3 をご覧ください。

1 テレビ放送を見ているときに d を押す

番組に連動しているデータ放送が表示されます。

2 画面の指示に従って、リモコンで操作する

4種類の色ボタン（青 赤 緑 黄ボタン）や∧∨〈〉ボタン、決定ボタンを使って、操作してください。
それ以外のボタン操作が必要な場合もあります。
操作方法は番組、内容などによって異なります。画面の指示をご覧ください。

連動データ放送を見ているときに d をもう一度押すと、テレビ放送に戻ります。

お知らせ

- 番組によってはテレビ放送に連動した情報が、自動的にデータ放送に切り換わって表示されることがあります。
- 番組に連動したデータ放送があるかどうかは、「サブメニュー」→「番組内容」を選んで「番組内容」画面を表示し、アイコンなどで確認できます。
- テレビ放送を録画した番組の再生中は、データ放送やラジオ放送を視聴することはできません。
- 本機ではデータ放送を録画することはできません。

他の機器の映像を見る(入力切換)

他の機器との接続方法については、P.43〜53をご覧ください。

例:ビデオ入力に接続したビデオの映像を見る場合 P.49

1 本機とビデオの電源を入れる

2 入力切換を押して、「ビデオ」に切り換える

入力切換を押すごとに次のように切り換わります。

放送 ➡ ビデオ ➡ HDMI1 ➡ HDMI2 ➡ HDMI3 ➡ Bluetooth ➡ 放送

で項目を選び、決定を押しても切り換わります。

本体側面の入力切換ボタンでも切り換わります。

地上デジタル ➡ BS ➡ CS1 ➡ CS2 ➡ BS4K ➡ CS4K ➡ Bluetooth ➡ HDMI3 ➡ HDMI2 ➡ HDMI1 ➡ ビデオ ➡ 地上デジタル

- 視聴しない放送波を無効にすることができます。

3 ビデオの再生をする

お知らせ

- 「入力スキップ設定」によりすべての入力は、スキップする(飛ばす)ことができます。
- 外部入力をスキップするには、「入力スキップ設定」で「する」に設定してください。
- 4K対応のHDMI1 〜 3では、著作権保護の検出機能がはたらくため切換動作を完了するまでにしばらくかかることがあります。接続している機器によっても検出期間の長さは変わります。
- 4K対応のHDMI1 〜 3では、HDMI1.0対応の一部の機器で正常に表示できない場合があります。

お願い!

ビデオなどの接続や操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。

Bluetooth®の使用上のご注意や使用制限などについては、P.14をご覧ください。

字幕を出す

テレビ放送の番組によっては、字幕や文字スーパーが表示できるようになっています。
本機では、字幕や文字スーパーの表示/非表示や言語を設定できます。

字幕があるテレビ放送の番組を見ているときに

字幕を押す

- 字幕が表示できるかどうかは、次の方法で確認できます。
  - 「サブメニュー」→「番組内容」を選ぶ
    字幕表示できる番組では、番組内容画面に字マークが表示されます。

くり返し押して「日本語」または「英語」を選ぶと字幕が表示されます。
押すごとに次のように切り換わります。

切 ➡ 日本語 ➡ 英語 ➡ 切

で項目を選び、決定を押しても切り換わります。

「日本語」…… 番組の日本語の字幕を表示します。
「英語」…… 番組の英語の字幕を表示します。
「切」…… 字幕や文字スーパーを表示しません。

お知らせ

- 英語の字幕が放送にないときは、「英語」を選択しても日本語が表示されます。
- BD/DVDビデオソフトの場合は「使いかたガイド」もご覧ください。

チャンネル内の映像を切り換える(映像切換)

ひとつの番組で複数の映像を放送している番組(マルチビュー放送)を楽しんだり、同じチャンネルで放送している別の番組に切り換えたりできます。

1 テレビ放送を見ているときに
サブメニューを押す

2 へ∨で「映像切換」を選び、決定を押す

3 へ∨で映像の種類を選び、決定を押す

切り換わる映像の種類は、番組によって異なります。たとえば、主番組と副番組1、副番組2が放送されているマルチビュー放送の場合では、次のように切り換わります。

お知らせ

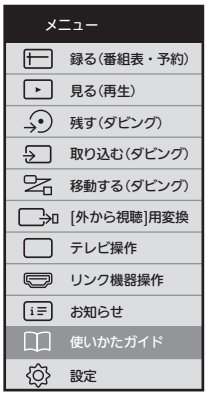
- **マルチビュー放送とは**
  ひとつの番組で別の映像や違う角度からなど、最大3つの映像を同時に楽しめる放送です。
- マルチビュー放送や、他の映像信号がない場合は、映像は切り換わりません。

使いかたガイドの見かた

使いかたガイドは本機の画面上で、設定、操作のしかたや機能などの説明、困ったときの解説を見ることができます。

1 メニューを押す

2 へ〉で使いかたガイドを選び、決定を押す

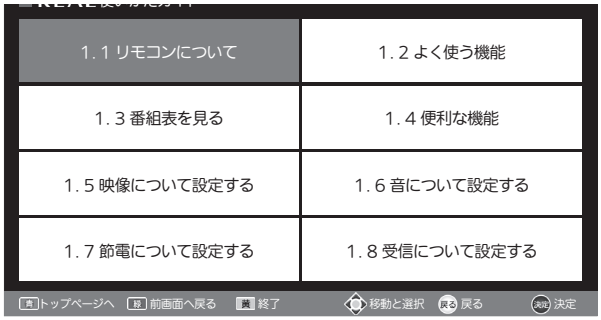


3 使いかたガイドのトップページが表示されます

4 へ〉〈〉で見たい項目を選び、決定を押す

●項目画面が表示されます。

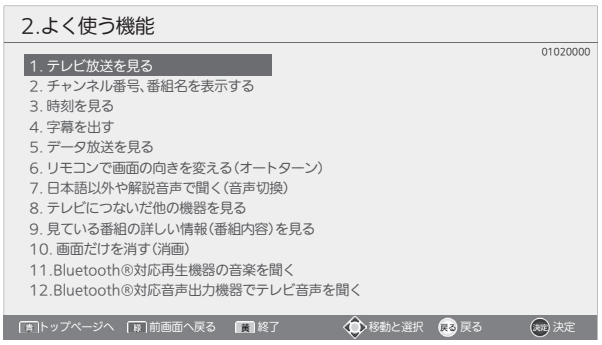
5 へ〉〈〉で見たい項目を選び、決定を押す



※選んだ項目により表示内容は異なります。

●項目一覧が表示されます。

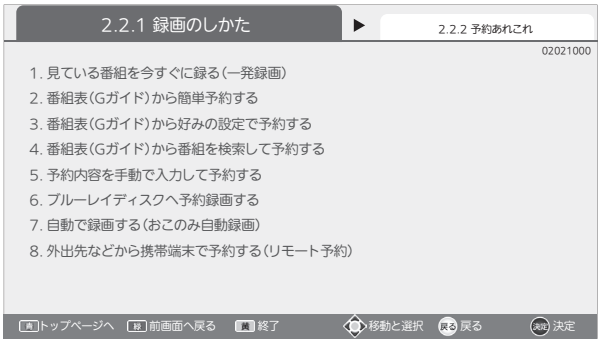
6 へ〉で項目を選び、決定を押す



※選んだ項目により表示内容は異なります。

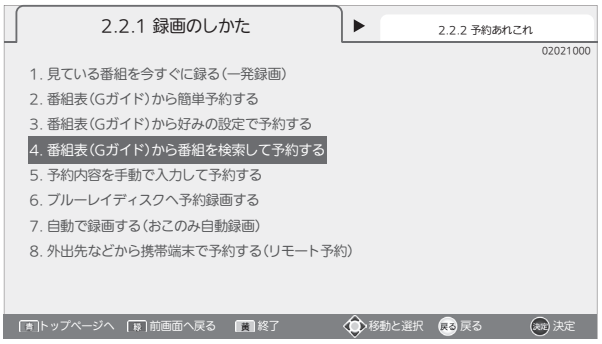
●本文ページが表示されます。

■ タブを選ぶ画面の場合



※選んだ項目により表示内容は異なります。

〈 〉でタブを選びます。

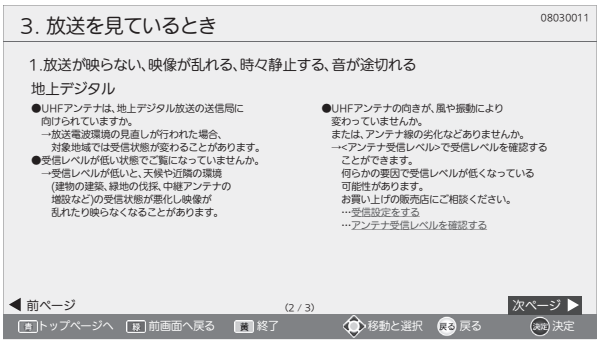


※選んだ項目により表示内容は異なります。

項目を選んでいるときは、〈 〉でタブは選べません。

7 本文ページが複数ある場合、ページを送るには

へ∨〈〉で、「次ページ」を選び、決定を押す



※選んだ項目により表示内容は異なります。

● 次のページが表示されます。

前画面へ戻るには、「前ページ」を選び、決定を押します。

8 終了するときは、黄を押す

■ 次に使いかたガイドに入るときは、前に終了した時の画面から始まります。操作を見直すときなどに便利です。

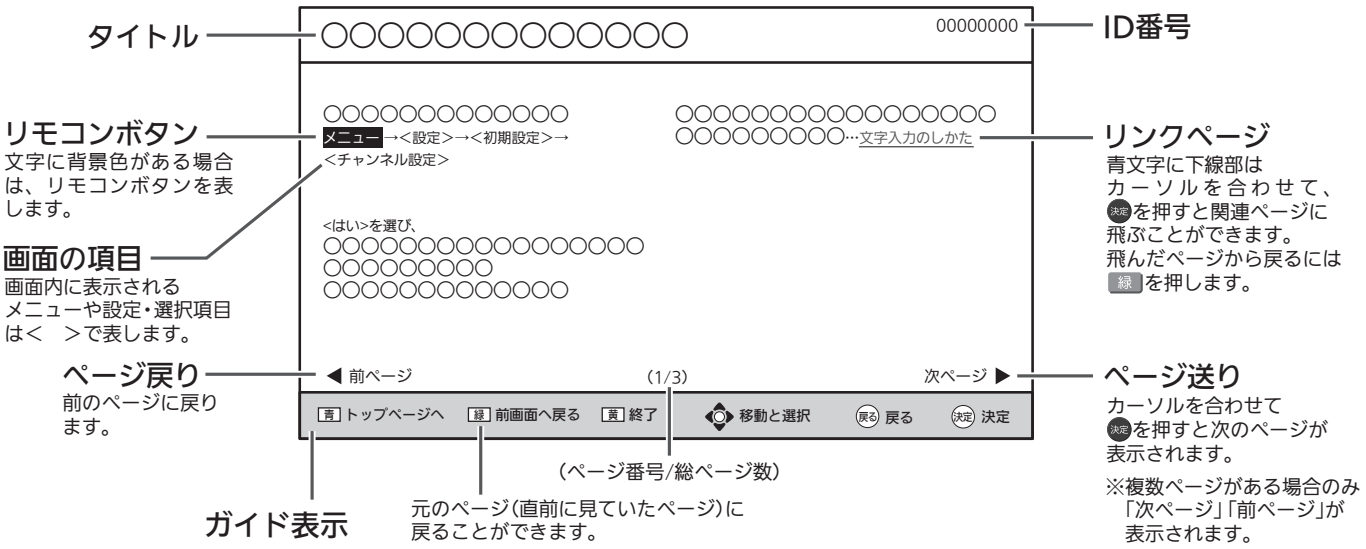
■トップページに戻るには、青を押します。

お知らせ

●トップページの二次元バーコードを読み取ると、当社ホームページ「よくあるご質問」の液晶テレビのページを簡単に表示することができます。ご活用ください。

使いかたガイド画面の見かた

本文ページ



● 使いかたガイドの項目一覧 P.77 で、あらかじめ知りたい項目を探すことができます。画面での選択操作がスムーズになります。

使いかたガイドの見かた(つづき)

「ダイレクトジャンプ」機能で見たいページに直接移動する

各ページに記載されているID番号を使用して、見たいページに直接移動し、そのページを表示させることができます。

「使いかたガイド」トップページ

ダイレクトジャンプ欄

1 P.74 (使いかたガイドの見かた)の手順1~3を行う

- トップページ以外のページが表示されているときは、青を押します。トップページが表示されます。

2 ダイレクトジャンプ欄を選び、決定を押す

- 「キーボード画面」が表示されます。

3 見たいページのID番号(8桁の数字)を入力する

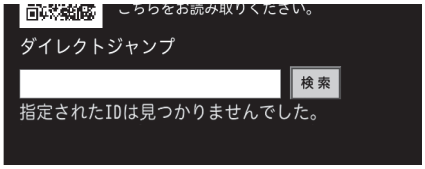
① へ〜〈〉で数字を選び、決定を押す
② 8桁すべてを入力したら、「完了」を押す

- 「キーボード画面」の表示が消えます。

例: 01060091

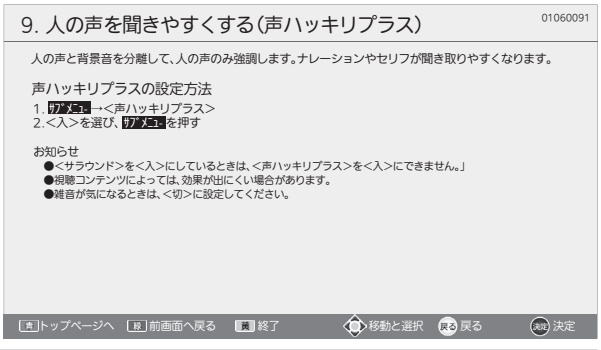
- リモコンの数字キーでは入力できません。

■ ダイレクトジャンプ欄の下に「指定されたIDはみつかりませんでした。」と表示されるときは、入力したID番号が誤っていますので、再度、入力をやり直してください。



4 〉で検索を選び、決定を押す

- 検索キーを選ぶと色が黄色になります。
- 指定したページが表示されます。



5 終了するときは、黄を押す

■ 次に使いかたガイドに入るときは、前に終了した時の画面から始まります。操作を見直すときなどに便利です。

■トップページに戻るには、青を押します。

使いかたガイドー項目一覧

1. テレビを見る

1.1 リモコンについて 01010011

1.2 よく使う機能 01020000

1. テレビ放送を見る
2. チャンネル番号、番組名を表示する
3. 時刻を見る
4. 字幕を出す
5. データ放送を見る
6. リモコンで画面の向きを変える(オートターン)
7. 日本語以外や解説音声で聞く(音声切換)
8. テレビにつないだ他の機器を見る
9. 見ている番組の詳しい情報(番組内容)を見る
10. 画面だけを消す(消画)
11. Bluetooth®対応再生機器の音楽を聞く
12. Bluetooth®対応音声出力機器でテレビ音声を聞く

1.3 番組表を見る 01030000

1. 番組表を表示する/消す
2. チャンネル別の番組表を表示する
3. 番組の詳しい内容を見る
4. 放送中の番組を見る
5. 日にち/チャンネルを切り換える
6. 番組表の空欄を埋める
7. 文字を見やすい大きさにする
8. 特定のジャンルの番組だけを強調表示する
9. 3チャンネル分表示されないようにする
10. チャンネルの並び順を変える
11. 選べるチャンネルを設定する

1.4 便利な機能 01040000

1. 最近録画した番組や裏番組をすばやくチェックする(Quick Go)
2. 自動的に電源を入れる(オンタイマー (目覚まし))
3. チャンネル内の映像を切り換える
4. 使う人に合わせた設定にかんたんに切り換える
5. 暗証番号で視聴を制限する
6. 本体やリモコンの操作を制限する
7. HDMI接続した機器と電源連動する
8. HDMI接続した機器に合わせた信号設定にする
9. 外部入力の使用していない入力を飛ばす(スキップする)
10. オートターンの設定をする
11. 電源を入れてからすぐに動作するようにする
12. リモコンコードの設定を変更する
13. チャンネル番号や音量などの文字サイズを切り換える
14. 録画した番組を別のテレビで見る

1.5 映像について設定する 01050000

1. 画面サイズを選ぶ
2. 画面の調整や画面サイズの設定をする
3. 映像モードを切り換える
4. 画質を調整する
5. さらに細かく画質を調整する(プロ調整)
6. 画質設定を購入時の設定に戻す
7. 自動的に番組のジャンルに合った画質にする(ジャンル適応)
8. 自動的にお部屋に合った画面の明るさにする(明るさセンサー)
9. 見る人に合わせた画面にする(視聴者設定)

1.6 音について設定する 01060000

1. ひろがりのある音で聞く
2. HDMIで接続したAVアンプの音量を調節する
3. 音声モードを切り換える
4. 音質を調整する
5. 音質設定を初期化する
6. ヘッドホンの音量を調整する/各種設定をする
7. ジャンルに合った音質にする(ジャンル適応)
8. 聞きやすい音量にする(音量補正)
9. 人の声を聞きやすくする(声ハッキリプラス)
10. 読み上げの設定をする
11. 操作音などの報知音量の設定をする
12. 光音声/ARCの出力形式を設定する

1.7 節電について設定する 01070000

1. 自動的に電源を切る-テレビの消し忘れを防ぐ
2. いろいろな節電設定を選ぶ(節電アシスト)
3. 画質を変えて節電する
4. 省エネ効果を確認する(節電モニター)
5. 人の明るさ順応に合わせて明るさを自動的に調整する
6. 節約設定をする

次ページへつづく

使いかたガイドー項目一覧(つづき)

1.8 受信について設定する 01080000
1. らくらく設定をやり直す
2. テレビ放送のチャンネル設定を変更する
3. 地域設定をする
4. 受信設定をする
5. Gガイド設定をする
6. 放送波無効設定にする
7. アンテナ受信レベルを確認する

2. 録る(録画)

2.1 録画・予約の前に 02010000
1. ディスクの種類と区切りについて
2. 本体、外付のハードディスク(HDD)について
3. BD/DVD/CDディスクについて
4. 録画動作と条件について
5. 本機でできる録画・録画予約について
6. 番組の録画制限、ダビング制限について
7. 録画モードとおよその録画時間(目安)
8. 録画・ダビングされる二重音声、マルチ番組、サラウンド音声、字幕について
9. 録画中のチャンネルや入力の切り換え
10. 2番組を同時に録画する場合(2番組同時録画)
11. 予約が重なった場合
12. 同時操作について

2.2 放送を録画する 02021000
2.2.1 録画のしかた
1. 見ている番組を今すぐに録る(一発録画)
2. 番組表(Gガイド)から簡単予約する
3. 番組表(Gガイド)から好みの設定で予約する
4. 番組表(Gガイド)から番組を検索して予約する
5. 予約内容を手動で入力して予約する
6. ブルーレイディスクへ予約録画する
7. 自動で録画する(おこのみ自動録画)
8. 外出先などから携帯端末で予約する(リモート予約)

2.2.2 予約あれこれ
1. 番組表から予約したテレビ放送の予約を自動追跡する
2. 設定済みの予約を確認する
3. 一時的に毎週/毎日録画をやめる(予約スキップ)
4. 設定済みの予約の内容を変更する
5. 不要な予約を取り消す
6. およその残量時間について(目安)
7. 録画中の予約の録画を停止する

2.3 接続機器から録画する(LAN録画) 02030000
1. ネットワーク対応CATVチューナーから録画する
2. 「スカパー!プレミアムサービスLink」(録画)をする
3. LAN録画の補足説明

2.4 録画について設定する 02040000
1. 録画するときのチャプター分割間隔を設定する
2. 録画設定を工場出荷時の設定に戻す

3. 見る(再生)

3.1 録画したものや市販のソフトを見る 03011000
3.1.1 見る・聞く
1. 本体/外付に録画した番組を見る
2. 録画した番組の一覧について(録画一覧画面)
3. 録画した番組のフォルダについて
4. 本機で再生可能なディスクと出し入れ
5. ディスクに録画した番組を見る
6. 市販のビデオソフトを見る
7. 音楽用CDを聞く
8. 外出先から録画番組を見る(外から視聴)

3.1.2 いろいろな見かた
9. 停止した位置の続きから見る(つづき再生)
10. 再生速度を変えて見る・聞く
11. 見たい番組や場面までとばす
12. くり返して見る(リピート再生)
13. 録画中の番組を最初から見る(追っかけ再生)
14. 録画番組の詳しい情報を見る
15. 再生中の音声を切り換える
16. 再生中の字幕を切り換える
17. 再生中のカメラアングル/子画面を切り換える

3.2 撮影したものを見る 03020000
1. 本機で再生できるもの
2. SDカードの出し入れ
3. USB機器との接続
4. 写真を連続して見る(スライドショー)
5. ディスクに記録されたAVCHDの動画(ハイビジョン画質)を見る
6. MP4の動画(4K/ハイビジョン画質)を見る

3.3 再生について設定する 03030000

1. BD/DVDビデオ再生時の音声/字幕/メニュー言語を設定する
2. 再生一時停止中の画面の見やすさを設定する
3. BDビデオ再生にパスワードが必要となる条件を設定する
4. DVDビデオ再生にパスワードが必要となる条件を設定する
5. BD/DVDビデオ再生に必要なパスワードを変更する
6. Ultra HD Blu-ray™再生時のHDR出力について設定する
7. マルチチャンネル音声対応BDビデオの音声を設定する
8. BD-Live機能の接続制限を設定する
9. BD/DVDビデオのアングルアイコンの表示を設定する
10. 再生設定を工場出荷時の設定に戻す

4. 残す(ダビング)

4.1 準備する 04010000

1. 本機でできるダビングについて
2. ダビング速度(高速ダビング/等速ダビング)と録画モードの組み合わせ
3. 録画モードとおよその録画時間(目安)
4. 新品/未使用のディスクを初期化する(フォーマット)

4.2 ダビングする 04020000

1. 本体(/外付)とディスク間でダビングする
2. ダビング実行中に中止する
3. 本体と外付間でダビングする
4. ディスク/SDカード/USB機器からAVCHDの動画を取り込む(ダビング)

4.3 編集・消去・初期化する 04031000

4.3.1 消去・編集

1. 番組の消去・編集について
2. 番組を消去する
3. 番組を保護/保護解除する
4. チャプターを2つに分割する
5. 前後または全てのチャプターを1つに結合する
6. チャプターを消去する(番組の一部分を消去する)
7. 番組名を変更する
8. 文字入力のしかた
9. 番組を2つに分割する
10. 2つの番組を1つに結合する
11. 録画モードを変換する/やめる
12. ディスクを保護/保護解除する、ディスク名を変更する
13. 他の機器で再生できるようにする(ファイナライズ)

4.3.2 初期化

14. 本体・外付の録画内容を全部または一部消去する
15. BD-RE、DVD-RWを初期化(フォーマット)し直す
16. SDカードを初期化(フォーマット)する

5. その他

5.1 リアリンク対応機器を操作する 05010000

1. リアリンク対応機器について
2. リアリンク対応機器の操作のしかた
3. リアリンク対応機器の録画リストを表示する
4. リアリンク対応機器の再生などの操作をする

5.2 お知らせや情報を確認する 05020000

1. 放送局からのお知らせ/テレビからのお知らせを確認する
2. ボード(CS)/CAS情報/ソフトウェア情報を確認する

5.3 その他の設定/本機を工場出荷時の設定に戻す 05030000

1. 本体電源ボタンの機能を設定する
2. ダウンロード更新について設定をする
3. 時刻を設定する
4. 本機を工場出荷時の設定に戻す
5. 本体ハードディスク使用制限の設定をする

次ページへつづく

使いかたガイドー項目一覧(つづき)

6. おすすめ機能 06000000

1. このテレビのおすすめ機能(テレビ機能)
2. このテレビのおすすめ機能(録画・再生機能)

7. このテレビについて

7.1 録画機能 早見表 07010000

1. 本機で録画・再生ができるディスク
2. 推奨ディスク
3. 本機で再生だけができるディスク
4. 本機で利用可能な写真/AVCHD動画/MP4動画用のSDカード、USB機器
5. DVD-RW/Rの録画方式(フォーマット)について
6. 録画モードとおよその録画時間(目安)
   (本体:内蔵ハードディスク)
   (BD-RE/R:ブルーレイ)
   (DVD-RW/R)
7. 番組の録画制限
8. ダビング制限
9. 高速ダビングになるダビング元・先と録画モード
10. 録画・ダビングされる二重音声、マルチ番組、サラウンド音声、字幕について
11. 同時操作について
12. 最大記録可能数/登録数

7.2 主な仕様 07020000

7.3 アイコンの意味 07030000

7.4 本機のソフトウェア 07040000

8. おや?と思ったら

9. 索引 09000000

メニュー/サブメニューの使いかた

メニューボタンやサブメニューボタンを押して、いろいろな機能を呼び出します。

操作のしかた

1 メニュー画面から操作する場合

メニュー画面を表示する

メニューを押す

サブメニュー画面から操作する場合

サブメニュー画面を表示する

サブメニューを押す

2 へ∨で項目を選び、決定を押す

● この操作をくり返して、目的の画面を表示させてください。

3 設定画面が表示されたら、設定をする

● 画面下部のガイド欄を参考に操作してください。

4 設定や確認が終わったら、通常画面に戻す

メニュー画面から操作した場合

メニューまたは戻るを押す

サブメニュー画面から操作した場合

サブメニューまたは戻るを押す

メニューの項目

録る(番組表・予約)
番組表の表示、予約の設定と変更や確認などができます。

- 番組表
- おこのみ自動録画
- 時刻指定予約
- 予約変更・確認

見る(再生)
本体やブルーレイなどのディスク、SDカードなどを見るときに操作できます。

録画一覧(本体)	
録画一覧(外付)	
BD／DVDトップメニュー／録画一覧	
BD／DVD頭だし	※1
音楽CD再生	※2
ディスク写真・静止画一覧	※3
SDカード写真・静止画一覧／動画一覧(MP4)	
USB写真・静止画一覧／動画一覧(MP4)	
ネットワーク	

残す(ダビング)
本体や外付に録画した番組をブルーレイなどのディスクにダビングします。

- 本体録画番組を残す
- 外付の番組を残す

取り込む(ダビング)
ブルーレイなどのディスク、SDカード、USB機器の映像を本体にダビングします。

- BD／DVDからの映像取り込み
- SDカードからの映像取り込み
- USBからの映像取り込み

移動する(ダビング)
本体に録画した番組を外付ハードディスクへ移動したり、外付ハードディスクから本体に戻したりできます。

- 本体から外付に番組を移す
- 外付から本体に番組を移す

[外から視聴]用変換
本体や外付に録画した番組を外から視聴用の番組に変換します。

- 本体録画番組から作成する(ダビング)
- 外付の番組から作成する(ダビング)

テレビ操作
視聴中に操作できる便利な機能です。

オフタイマー	: 切	※4
オンタイマー		
消画		
サービス切換	: テレビ	※5
使う人切換	: 標準モード	※5

リンク機器操作
本機のリモコンで、リアリンク機器の主な操作ができます。

- 操作パネル
- 機能一覧
- 録画リスト
- ディスク切換
- 録画開始
- 録画停止
- レコーダー電源オフ
- レコーダー初期化 ※6

※1 市販のDVDやDVD-VIDEO形式で記録されたファイナライズ済みディスク挿入時に表示されます。
※2 音声CD挿入時に表示されます。
※3 写真・静止画のあるCD挿入時に表示されます。
※4 オフタイマー使用中は「切」になるまでの時間が表示されます。
※5 設定内容が表示されます。
※6 2008年以降発売のリアリンク対応機器(DVR-DS120を除く)をご使用のときに表示します。

次ページへつづく

メニュー/サブメニューの使いかた(つづき)

メニューの項目(つづき)

お知らせ
機器内部や放送局からのお知らせ、ソフトウェアの情報などを表示します。

- テレビからのお知らせ
- 家電からのお知らせ ※7、8
- HEMSからのお知らせ ※7、8
- 放送局からのお知らせ
- ボード(CS)
- CAS情報
- アンテナ受信レベル
- 困ったときは

使いかたガイド
本機の画面上で設定や操作、情報などを見ることができます。

設定
いろいろな機能の設定ができます。

- 画質設定
- 音声設定
- 録画・再生設定
- 通信設定
- 機能設定
- 初期設定
- 節電アシスト設定
- 設定初期化

※7　当社ホームページ掲載の本機取扱説明書「インターネット編」P.3をご覧ください。
※8　どちらかひとつが表示されます。

サブメニューの項目

●テレビ放送を見ているとき

BD/DVDトップメニュー	※9
家電連携	※10
HEMSトップメニュー	※10
番号入力	
番組内容	
声ハッキリプラス	※11
Bluetooth機器接続	
外部アンプ連動	※12
映像切換	※13
画面サイズ	
画質設定	
音声設定	
トレイ開/閉	
この番組を録画する	※14
録画を停止する【地デジ】【011ch】	※15
録画を停止する【LAN】	※15
ダビングを中断する	※16

●ビデオ、HDMI1～3入力を見ているとき

BD/DVDトップメニュー	※9
家電連携	※10
HEMSトップメニュー	※10
声ハッキリプラス	※11
Bluetooth機器接続	
外部アンプ連動	※12
画面サイズ	
画質設定	
音声設定	
トレイ開/閉	
録画を停止する【地デジ】【011ch】	※15
録画を停止する【LAN】	※15
ダビングを中断する	※16

●Bluetooth®入力で音声を聞いているとき

声ハッキリプラス	※11
外部アンプ連動	※12
音声設定	
Bluetooth接続切断	※20
Bluetooth再生機器情報削除	※21
トレイ開/閉	
録画を停止する【地デジ】【011ch】	※15
録画を停止する【LAN】	※15
ダビングを中断する	※17

●再生のとき(CD以外)

始めから再生する	
ディスクメニュー	※17
リピート再生設定を行う	
頭だしを行う	
番組説明	
アングル切換	※18
BD再生選択	※19
声ハッキリプラス	※11
Bluetooth機器接続	
外部アンプ連動	※12
画面サイズ	
画質設定	
音声設定	
時計表示	

●CD再生のとき

始めから再生する	
リピート再生設定を行う	
頭だしを行う	
声ハッキリプラス	※11
Bluetooth機器接続	
外部アンプ連動	※12
音声設定	

●JPEG形式の写真を再生するとき

声ハッキリプラス	※11、22
外部アンプ連動	※12、22
画質設定	
音声設定	※22
リピート再生	
表示効果	
表示間隔	

●MP4形式の動画を再生するとき

始めから再生する	
リピート再生設定を行う	
頭だしを行う	
声ハッキリプラス	※11
Bluetooth機器接続	
外部アンプ連動	※12
画面サイズ	
画質設定	
音声設定	
時計表示	

※9　市販のBDやDVD、ファイナライズしたVideo方式のDVD-R/-RW挿入中のみ表示されます。
※10 この機能を使用すると表示されます。くわしくは当社ホームページ掲載の本機取扱説明書「インターネット編」P.3をご覧ください。
※11 サラウンドを「入」にしているときは声ハッキリプラスを「入」にできません。
声ハッキリプラスを「入」にしているときはサラウンドを「入」にできません。
※12 HDMIコントロール対応アンプと未接続時は薄く表示され選択できません。
※13 テレビ放送波が受信できていないとき、データ放送チャンネルのときは薄く表示され選択できません。
※14 等速ダビング中など録画ができない状態のときは薄く表示され選択できません。
※15 録画中のみ表示されます。
※16 ダビング中のみ表示されます。
※17 市販のディスク挿入中のみ表示されます。
※18 4K放送の録画番組を再生中のときはアングル切換はできません。
※19 子画面(ピクチャー・イン・ピクチャー)または、字幕スタイルに対応した市販のBDビデオ再生中以外のときは薄く表示され選択できません。
※20 Bluetooth® 接続中のみ表示されます。
※21 Bluetooth® 接続中は薄く表示され選択できません。
※22 Bluetooth® 入力時のみ表示されます。

図中のチャンネル表示等は一例です。
他の画面でもサブメニューで便利な機能が呼び出せます。
例：番組表、録画一覧

仕様

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

形名		LCD-A40RA2000	LCD-A50RA2000	LCD-A58RA2000
種類		三菱4K液晶テレビ		
電源		AC100 V　50 ／ 60 Hz		
消費電力		123 W	145 W	174 W
		リモコン待機時　0.3 W (高速起動「入」設定時　約27 W)	リモコン待機時　0.3 W (高速起動「入」設定時　約29 W)	
年間消費電力量※1		183 kWh ／年※2 区分名※3:c(4K以上　液晶テレビ) 受信機型サイズ:40V	211 kWh ／年※2 区分名※3:c(4K以上　液晶テレビ) 受信機型サイズ:50V	260 kWh ／年※2 区分名※3:c(4K以上　液晶テレビ) 受信機型サイズ:58V
音声	実用最大出力(JEITA)	10 W+10 W		
音声	スピーカー	(12.6 cm×5.9 cm)×2+φ4 cm×2		
アンテナ入力		VHF ／ UHF　1軸　75 Ω不平衡形(CATVパススルー対応)		
BS・110度CSアンテナ入力		75 Ω不平衡形(C15形)兼コンバーター用電源(DC 15V)出力		
受信チャンネル		地上デジタル:000 ～ 999ch　BSデジタル:000 ～ 999ch　110度CSデジタル:000 ～ 999ch BS4K:000 ～ 999ch　110度CS4K:000 ～ 999ch (CATVパススルー対応:VHF:1 ～ 12ch　UHF:13 ～ 62ch　CATV:C13 ～ C63ch)		
液晶モジュール	液晶パネル	40V型カラー TFT液晶	50V型カラー TFT液晶	58V型カラー TFT液晶
液晶モジュール	表示画素数	3840 ドット×2160 ライン		
液晶モジュール	バックライトの種類	LED		
有効表示領域		幅87.8×高さ48.5 ／対角100.3 cm	幅109.6×高さ61.6 ／対角125.7 cm	幅127.0×高さ72.1 ／対角146.1 cm
HDD／BD部	録画方式(BD)	Blu-ray Disc Rewritable Format準拠、Blu-ray Disc Recordable Format準拠		
HDD／BD部	録画方式(DVD)	DVDビデオレコーディング規格準拠、AVCREC規格準拠		
HDD／BD部	録画圧縮方式	MPEG-2、MPEG-4 AVC/H.264、HEVC/H.265		
HDD／BD部	録音圧縮方式	Dolby Audio™、MPEG-2 AAC、MPEG-4 AAC		
HDD／BD部	内蔵HDD容量	2 TB		
HDD／BD部	録画可能ディスク	「本機で録画・再生ができるディスク」、「本機で再生だけができるディスク」を参照※4		
HDD／BD部	録画時間	「録画モードとおよその録画時間(目安)」を参照※4		
HDD／BD部	再生方式(BD)	BDビデオ規格準拠、UHD BDビデオ規格準拠		
HDD／BD部	再生方式(DVD)	DVDビデオ規格準拠、AVCHD Ver.1.0規格準拠		
HDD／BD部	再生可能ディスク	「本機で録画・再生ができるディスク」、「本機で再生だけができるディスク」を参照※4		
HDD／BD部	リージョンコード	BD:Region A　　DVD:#2		
SD/USB部	再生方式	MP4(AVC)、AVCHD Ver.1.0規格準拠(HDDに取込んで)		
ヘッドホン		φ3.5ステレオミニジャック		
ビデオ入力端子		(映像) 1.0 V(p-p)　75 Ω(同期負極性) (音声) 150 mV(rms)　ハイインピーダンス		
HDMI1～HDMI3入力端子		映像信号：480i, 480p, 1080i, 720p, 1080p(24Hz、30Hz、60Hz)， 3840x2160p(24Hz, 30Hz)[422(36bit)，444(24bit, 30bit, 36bit)] 3840x2160p(60Hz)[420(24bit, 30bit, 36bit)，422(36bit)，444(24bit)] 音声信号：PCM(48kHz, 44.1kHz, 32kHz) 著作権保護：HDCP1.4, HDCP2.2 HDMI1のみARC対応		
LAN端子		10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T		
SDメモリーカード挿入口		SDカード、SDHCカード、SDXCカード対応(miniSDカード、microSDカードはアダプター装着)		
USB端子		スーパースピードUSB(USB3.0 準拠)　Type A　　DC 5 V		
デジタル音声(光)出力端子		角型		
寸法※5	スタンドあり	幅90.3×高さ65.1×奥行33.4 cm	幅112.8×高さ79.0×奥行33.4 cm	幅130.2×高さ89.7×奥行38.2 cm
寸法※5	スタンドなし	幅90.3×高さ59.6×奥行20.2 cm	幅112.8×高さ73.4×奥行20.2 cm	幅130.2×高さ84.1×奥行20.2 cm
質量	スタンドあり	20.3 kg	26.4 kg	33.2 kg
質量	スタンドなし	16.1 kg※6	22.1 kg※6	28.6 kg※6
キャビネット材質		前 PC+ABS樹脂 後 PC+ABS-TD10樹脂	前 PC+ABS樹脂 後 PC+ABS-TD10樹脂、PS樹脂	
スタンド角度調節範囲		左右各約20 °（オートターン、手動とも）		
壁掛け※7		対応		
使用周囲温度		0 ℃～ 40 ℃		
許容湿度		80 %最大(結露なきこと)		

リモコン	形　　名	RL21303
	電　　源	DC 3 V　単4形乾電池2個
	質　　量	約130 g（乾電池含む）

- テレビのV型（40V型等）は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- このテレビは日本国内用ですから、電源電圧・放送規格の異なる外国ではお使いになれません。また、アフターサービスもできません。
  This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other countries.
  No servicing is available outside of Japan.
- 本商品は、ご使用終了時に再資源化の一助として主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
- JIS C 61000-3-2　適合品：「JIS C 61000-3-2」適合品とは、日本産業規格「電磁両立性－第3-2部：限度値－高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
- テレビ放送を放送そのままの画質で録画する場合の基準について
  ・地上デジタル（HD放送）：17 Mbps　・BSデジタル（HD放送）：24 Mbps　・BS4K（UHD放送）：35 Mbps
- テレビ放送のデータを圧縮変換して録画する場合の圧縮方法について
  ・MPEG-4 AVC/H.264　エンコード

※1：省エネ法（目標年度：2026年度）に基づいて、1日あたり5.1時間の平均視聴時間／18.9時間の待機時間（電子番組表取得時間を含む）で算出した、一年間に消費する電力量です。HDDを内蔵するテレビでは、1日の平均録画時間（視聴時0.4時間＋待機時0.4時間）が算出に含まれています。
※2：映像モード=スタンダード、視聴者設定=標準、明るさ順応補正=切、高速起動=切、ディスク挿入なし
※3：「区分名」とは、省エネ法において、テレビの画素数およびパネルの種類に基づき規定されている名称のことです。
※4：使いかたガイドをご覧ください。
※5：外形寸法は、オートターン専用コネクタ部等の一部の突起部を含みません。
※6：斡旋部品の壁掛け金具取付用金具を含みません。
※7：専用壁掛け金具以外に斡旋部品の壁掛け金具取付用金具が別途必要です。

無線LANの仕様

規　　格	IEEE 802.11 a/b/g/n/ac 準拠	
使用周波数範囲（中心周波数）およびチャンネル	IEEE 802.11 b/g/n	2.412 ～ 2.472GHz ／ 1 ～ 13ch
	IEEE 802.11 a/n/ac	[W52] 5.18 ～ 5.24GHz ／ 36、40、44、48ch [W53] 5.26 ～ 5.32GHz ／ 52、56、60、64ch [W56] 5.50 ～ 5.70GHz ／ 100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch
セ　キ　ュ　リ　テ　ィ	WPA2-PSK（TKIP/AES）、WPA-PSK（TKIP/AES）、WEP（128bit/64bit）	

※ 本機は従来の無線規格であるJ52には対応していません。
※ 5GHzの無線LANにおけるW52、W53の屋外使用は法令で禁止されています。

Bluetooth®の仕様

規　　格	Bluetooth 2.1 + EDR 準拠

保証とアフターサービス

■保証書(別添付)

- 保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 保証書は、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間は、お買上げ日から1年間です

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買上げの販売店か下記の「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。

■修理を依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」P.89～90と、「使いかたガイド」の「おや?と思ったら」にしたがってお調べください。なお、不具合があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。
- **保証期間中は**
  保証書の規定にしたがって、修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。
- **保証期間が過ぎているときは**
  修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
  点検・診断のみでも有料となることがあります。
- **修理料金は**
  技術料＋部品代(＋出張料)などで構成されています。
  - ●技術料…製品の点検や故障した製品を正常に修復するための料金です。
  - ●部品代…修理に使用した部品代金です。
  - ●出張料…お客様のご要望により、製品のある場所へ技術員を派遣する費用(出張料)や有料駐車場の費用(駐車料)を別途いただく場合があります。
- 据付(接続・調整・取扱説明等)を依頼されると**有料**となることがあります。

■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この液晶テレビの補修用性能部品を製造打切り後8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■部品について

- 修理の際、当社の品質基準に適合した再生・再利用した部品と交換することがあります。
- 交換した部品は、お申し出のない場合、引き取らせていただきます。
- 当社指定以外の壁掛け金具、壁掛け金具取付用金具をご使用の場合は保証いたしません。

この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

ご相談窓口・修理窓口のご案内(家電品)

取扱い・修理のご相談は、まず
お買上げの販売店へ

●お買上げの販売店にご依頼できない場合(転居や贈答品など)は、
各窓口 へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1.お問合わせ(ご依頼)いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。

2.上記利用目的のために、お問合わせ(ご依頼)内容の記録を残すことがあります。

3.あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
②法令等の定める規定に基づく場合。

4.個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口 家電品の購入相談・取扱い方法

受付時間365日24時間

●三菱電機お客さま相談センター

フリーダイヤル **0120-139-365**(無料)
いつもサンキュー 365日

■ご相談対応 平 日 9:00～19:00
土・日・祝・弊社休日 9:00～17:00
上記以外の時間は受付のみ可能です。
〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3

携帯電話・PHSの場合
ナビダイヤル **TEL 0570-077-365**(有料)
ナビダイヤル **FAX 0570-088-365**(有料)

フリーダイヤル・ナビダイヤルをご利用いただけない場合は
TEL 03-3414-9655 FAX 03-3413-4049

修理窓口 家電品の修理の問合せ・修理の依頼

受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター

フリーダイヤル **0120-56-8634**(無料)

パソコン・スマートフォン **www.melsc.co.jp**
2次元コードでも簡単にアクセスできます。

携帯電話・PHSの場合
ナビダイヤル **TEL 0570-01-8634**(有料)
ナビダイヤル **FAX 0570-03-8634**(有料)

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

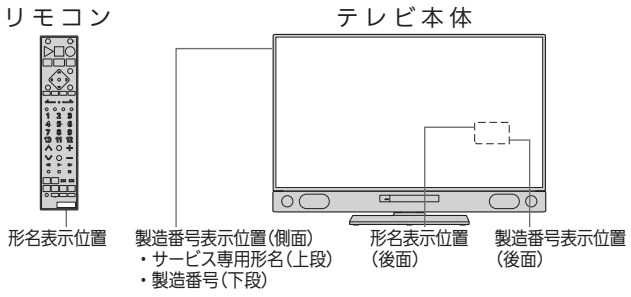
K20A

●電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

修理を依頼されるときは、必ずお知らせください。

●ご連絡いただきたい内容

1. 品　　名　三菱4K液晶テレビ
2. 形　　名　テレビ本体の形名表示位置をご覧ください。
3. 製 造 番 名　テレビ本体の製造番号表示位置をご覧ください。
4. お買上げ日　　年　　月　　日
5. 故障の状況　「症状確認シート」 P.88 の内容
6. ご　住　所　（付近の目印なども）
7. お名前・電話番号・訪問希望日
8. サービス専用形名
   テレビ本体のサービス専用形名表示位置をご覧ください。



保証とアフターサービス(つづき)

症状確認シート

万一、修理をお申し付けの際には円滑な対応をさせていただくため、次の内容を確認のうえ、お申し付けくださいますよう、お願い申し上げます。

【ご確認事項】　※この内容は、訪問いたしましたサービスマンに必ずお伝えください。

ハードディスクの初期化： 修理過程でやむを得ず記録内容が失われたり、本機の全情報初期化が必要な場合があります。全情報初期化を行うと、本体(ハードディスク)の録画内容が全て消去されます。外付ハードディスクの登録情報も初期化する場合があります。(再登録が必要となり、外付ハードディスク内の内容は消去されます。)

☐ 同意する
☐ 同意しない(初期化しないと修理できない場合があります)

【不具合症状について】

発生区分：☐ 地デジ　☐ BS/CS　☐ ハードディスク　☐ ディスク　☐ SDカード　☐ 外付ハードディスク
☐ その他(　　)

発生頻度：☐ 常時　　☐ ときどき　　☐ その他(　　)

症状(できるだけくわしく)：例1. ハードディスクからDVD-RWへ等速ダビング中に途中で止まってしまう
例2. 地上デジタル放送の○○チャンネルの『※△◇×』という番組だけ映像が乱れる

ディスクの種類(BD/DVD/CD関連時のみ)

☐ BD市販ソフト ☐ DVD市販ソフト ☐ CD市販ソフト	☐ 特定のディスクのみ発生　☐ 複数のディスクで発生 タイトル名：_____ タイトルNo.：_____　チャプターNo.：_____　タイム：____時間____分____秒
☐ BD-RE ☐ BD-R ☐ DVD-RW ☐ DVD-R	☐ 本機で記録　　☐ 他機で記録(メーカー名：_____　機種名：_____) ディスクメーカー名：_____ タイトルNo.：_____　チャプターNo.：_____　タイム：____時間____分____秒
☐ その他	(　　)

SDカードについて：静止画のとき、
SDカードのメーカー名：_____　容量：_____　画像サイズ：_____ MB　画像枚数：_____
保存方法：☐ デジタルカメラで撮影したまま　☐ パソコンで編集、整理
デジタルカメラのメーカー名：_____　デジタルカメラの形名：_____

接続している機器

①ケーブルテレビ受信端末：
ケーブルテレビ会社名：_____
機種名：_____
接続方法：☐ アンテナ線　☐ 映像・音声コード
☐ HDMIケーブル
☐ その他(　　)

②レコーダー：
メーカー名：_____　機種名：_____
接続方法：☐ 映像・音声コード　☐ HDMIケーブル
☐ その他(　　)

③外付ハードディスク：
メーカー名：_____　機種名：_____
ハードディスク容量：☐ 500 GB　☐ 1 TB
☐ 2 TB　☐ その他(　　)

④その他：☐ デジタルビデオカメラ　☐ ビデオ/ビデオカメラ
☐ アンプ　☐ 他(　　)
メーカー名：_____　機種名：_____
接続方法：☐ 映像・音声コード
☐ その他(　　)

⑤回線の種類：☐ 光　☐ ケーブルテレビ　☐ ADSL

故障かな？と思ったら

困ったときは

接続や操作方法がわからないときは、

まず、
「故障かな？と思ったら」と「使いかたガイド」の「おや？と思ったら」でお調べください。

それでも解決しない場合は使用を中止し、
ディスクやSDカードを取り出してから、
必ず電源プラグを抜いたあと、

「ご相談窓口」へ

■全国どこからでも、おかけいただけるフリーダイヤル
フリーダイヤル **0120-139-365**（無料）

携帯電話・PHSの場合
ナビダイヤル **0570-077-365**（有料）
フリーダイヤル・ナビダイヤルが利用できない場合
(03)3414-9655（有料）

ご相談内容により

「修理窓口」P.86 を
ご紹介いたします。

●ホームページ「よくあるご質問」もご活用ください。
http://faq01.mitsubishielectric.co.jp/category/show/40
●「修理窓口」では、取扱いや据付・設置・基本設定の方法がわからない場合や、故障かどうか判断がつかない場合に、ご自宅へ訪問する出張サポートの受付も行っております。

出張サポート（有料）のご案内

出張サポートは、本書 P.86 に記載の「三菱電機 修理窓口」または上記「ご相談窓口」のフリーダイヤルの音声ガイダンス「修理のご依頼 ＊ 2 」で受付けております。

料金についてはお見積もりいたしますので、上記の窓口で受付時にご相談ください。
※保証期間中の製品故障の場合は、保証書の規定に従って無償で修理させていただきます。

電源を「入」にして画面左上に「起動中」と表示中は音量や選局以外の操作ができません。

→すぐ操作ができるようにしたいときは、高速起動設定を「入」にします。
高速起動設定「入」であっても本機の状態によりすぐに操作できない場合があります。

故障かな？と思ったら(つづき)

■ 電　源

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
電源が入らない。	●電源プラグが抜けていませんか。	56
電源が入らない。 電源表示灯が赤点滅する、または点灯しない。	●電源表示灯(赤色)が点滅している場合は、次のいずれかを行ってください。(リセット) ・ テレビ本体の電源ボタンを長押しする。いったん電源が切れ、自動的に起動します。 ・ コンセントから電源プラグを抜き電源をいったん切ったあと、しばらくして再度コンセントへ電源プラグを差し電源を入れ直す。 それでも電源が入らず表示灯が点滅する場合は、 ● 安全のための保護回路がはたらいたことを表しています。このとき安全のためリモコンで操作はできません。 →電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。	―
電源が入らない。 本体の電源ボタンで電源が入るが、リモコンでは電源が入らない。	●リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ●リモコンの乾電池の⊕⊖が逆に入っていませんか。 ●テレビのリモコン受光部に正しく向けていますか。 ●テレビのリモコン受光部に強い照明などが当っていませんか。 ●リモコンコードの設定が、テレビ本体とリモコンとで合っていますか。合っていない場合、リモコン操作時に画面右下にR1またはR2 R3 R4のアイコンが表示されます。 →次の操作を行って、リモコン側の設定を切り換えてください。 ・R1が表示されたとき……リモコンのチャンネル∧と決定を同時に3秒以上押す ・R2が表示されたとき……リモコンのチャンネル∨と決定を同時に3秒以上押す ・R3が表示されたとき……リモコンの音量＋と決定を同時に3秒以上押す ・R4が表示されたとき……リモコンの音量－と決定を同時に3秒以上押す リモコンコード警告表示が「切」になっていると、上記アイコンは表示されません。	― 55 20 ― ―

■ リモコン

このようなときは…	ここをお調べください	参照ページ
リモコンで操作できない。	●電源を「入」にした後、録画・再生機能の準備のため、数十秒程度は音量・選局以外の操作ができません。画面左上の「起動中」の表示が消えたら操作できます。 →すぐに操作できるようにするには「高速起動設定」を「入」にします。 ただし、電源「切」時の電力が増えます。 ●リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ●リモコンの乾電池の⊕⊖が逆に入っていませんか。 ●テレビのリモコン受光部に正しく向けていますか。 ●テレビのリモコン受光部に強い照明などが当っていませんか。 ●テレビ放送の番組連動データがあるときやデータ番組を視聴しているときは、1あ ～ 12 ボタンがデータ操作に使われるため、チャンネルを切り換えられないことがあります。 →チャンネル∧∨や番組表でチャンネル切換をしてください。 ●リモコンコードの設定が、テレビ本体とリモコンとで合っていますか。合っていない場合、リモコン操作時に画面右下にR1またはR2 R3 R4のアイコンが表示されます。 →次の操作を行って、リモコン側の設定を切り換えてください。 ・R1が表示されたとき……リモコンのチャンネル∧と決定を同時に3秒以上押す ・R2が表示されたとき……リモコンのチャンネル∨と決定を同時に3秒以上押す ・R3が表示されたとき……リモコンの音量＋と決定を同時に3秒以上押す ・R4が表示されたとき……リモコンの音量－と決定を同時に3秒以上押す リモコンコード警告表示が「切」になっていると、上記アイコンは表示されません。 ●次のいずれかを行ってください。(リセット) ・ 本機の電源ボタンを長押しする。いったん電源が切れ、自動的に起動します。 ・ コンセントから電源プラグを抜き電源をいったん切ったあと、しばらくして再度コンセントへ電源プラグを差し電源を入れ直す。 本機は、パソコンのような複雑なプログラムにより動作しています。まれに動作が不安定になったとき、動作を止めることがあります。上記のいずれかの操作をする(リセットする)ことで、不安定要素が解消され正常動作に戻ります。 まれに、戻らないことがあります。その場合は電源プラグを抜いた状態で、数分おいてから電源プラグを差し直してください。 ●踏む、ぶつけるなどリモコンに強い衝撃が加わると、見た目にはわからなくても内部の部品が破損し使えなくなることがあります。リモコン交換が必要となりますので、リモコンは丁寧に扱ってください。	― ― 55 20 ― ― ― ―
リモコンの一部のボタンが利かない。	●電池が消耗していませんか。 電池が消耗してくると、録画・再生機能にかかわるボタンが先に利きにくくなります。	―

お手入れのしかた

お手入れの前に、必ず電源プラグを抜いてください。

液晶パネル

液晶画面には、映り込みを抑えたり、映像を見やすくしたりするために特殊な表面処理を施しています。誤ったお手入れをした場合、画面を損傷する原因にもなりますので次のことを必ずお守りください。

- 表面は、脱脂綿か柔らかい布で軽く拭きとってください。
  また、きれいな布を使用されるとともに、同じ布の繰り返し使用はお避けください。
  ホコリのついた布・化学ぞうきんで表面をこすると液晶パネルの表面が剥がれることがあります。
- 画面の清掃には、水、イソプロピルアルコール、ヘキサンをご使用ください。
  研磨剤が入った洗剤は、表面を傷つけるので使用しないでください。
  アセトンなどのケトン系、エチルアルコール、トルエン、エチル酸、塩化メチルは、画面に永久的な損傷を起こす可能性がありますので、クリーナーの成分には十分ご注意ください。酸やアルカリもお避けください。
- 水滴や溶剤などがかかった場合はすぐに拭きとってください。
  そのままにすると液晶パネルの変質、変色の原因になります。
- 清掃目的以外（静電気防止など）でも画面に溶剤等を使用されますと画面の光沢ムラなどになることがあります。
  ムラなどになった場合は、水ですぐに拭き取ってください。

※表面は傷つきやすいので硬いもので押したりこすったり、たたいたりしないように、取り扱いには十分注意してください。
画面についたキズは修理できません。

※手指で触れる、などにより表面が汚れることのないように十分にご注意ください。

キャビネット

キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジンやシンナーなどで拭くと変質したり、塗料がはげる原因になります。

【化学ぞうきんご使用の際はその注意書に従ってください】

- 柔らかい布で軽く拭きとってください。
- 汚れが目立つときは、台所用中性洗剤のラベルに表示されている使用量の目安まで薄めたぬるま湯で清掃し、洗剤が残らないように乾いた布で拭き取ってください。台所用中性洗剤を原液のままで使用しないでください。
  変色・変質・ひび割れの原因になります。
- 水滴などが液晶パネルの表面を伝ってテレビ内部に浸入すると故障の原因になります。

内部

掃除は、販売店に依頼してください。

- 1年に一度くらいを目安にしてください。
  内部にほこりがたまったまま使うと、火災や故障の原因になります。とくに梅雨期の前に行うのが効果的です。

電源プラグ

- ほこりなどは定期的にとってください。
  電源プラグにほこりがついたりコンセントの差し込みが不完全な場合は、火災の原因になります。

放送について

本機は、地上・BS・110度CSチューナー(4K放送対応)を搭載しています。
UHFアンテナ(地上デジタル対応)や衛星アンテナ(110度CS対応)を本機に接続すると、無料チャンネルと契約済みの各放送を受信することができます。

- テレビ放送全般については、一般社団法人　放送サービス高度化推進協会(A-PAB)　http://www.apab.or.jp/をご覧ください。

地上デジタル放送

- 地上デジタル放送を受信するには、UHFアンテナが必要です。現在お使いのUHFアンテナでも地上デジタル放送を受信できます。くわしくは、お買上げ店にお問い合わせください。
- 地上デジタル放送は、ケーブルテレビ(CATV)でも受信できます。ケーブルテレビ放送会社によっては、放送方式が異なります。
  本機はすべての周波数(VHF帯、MID帯、SHB帯、UHF帯)に対応する【CATVパススルー対応】の受信機です。
- 共聴・集合住宅施設における地上デジタル放送受信についてのご注意
  難視対策、電波障害対策、あるいは集合住宅における共同受信施設では、地上放送受信のために、アンテナやブースタなどの機器の再調整、追加、あるいは取り替えが必要になる場合があります。
  くわしくは、施設の管理者にお問い合わせください。
- 携帯端末向けのワンセグ放送は、本機では受信できません。

BSデジタル放送

- 放送衛星(Broadcasting Satellite)を使って放送されるハイビジョン放送やデータ放送が特長です。
  BS日テレ、BS朝日、BS-TBS、BSテレ東、BSフジなどは無料放送を行っています。
  有料放送は、加入申し込みと契約が必要です。

■「WOWOW」カスタマーセンター
TEL:フリーダイヤル　0120-580-807
受付時間　9:00～20:00(年中無休)
http://www.wowow.co.jp/

■「スター・チャンネル」カスタマーセンター
TEL:0570-013-111
または、044-540-0809
受付時間　10:00～18:00
http://www.star-ch.jp/

110度CSデジタル放送・110度CS4K放送(スカパー!)

- BSデジタル放送と同じ東経110度の方角にある通信衛星(Communication Satellite)を使って放送されるニュースや映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあるのが特長です。
- 110度CSデジタル放送・110度CS 4K放送を視聴するには、「スカパー!」への加入申し込みと契約が必要です。110度CSデジタル放送には、CS1とCS2の2つの放送サービスがあり、その中に多くの放送局があります。

スカパー!を見るには

- 本機は新4K8K衛星放送におけるスカパー!の放送に対応しています。
  ※スカパー!は、BS/110度CS放送および新4K8K衛星放送(4K放送)の有料放送サービスです。
- お申し込みには、以下の準備が必要です。
  - ACAS番号
    ※ACAS番号の確認方法は、P.59をご覧ください。
  - 4K8K対応アンテナ(4K放送ご視聴時必須)またはBS/110度CS対応アンテナ
    ※スカパー!の4K放送を見るには、4K8K対応アンテナが必要です。ブースターや分配器などの受信設備の交換が必要になる場合があります。

■スカパー!カスタマーセンター総合窓口(お問い合わせ・お申し込み)
TEL:0120-039-888
受付時間　10:00～20:00(年中無休)
https://www.skyperfectv.co.jp/

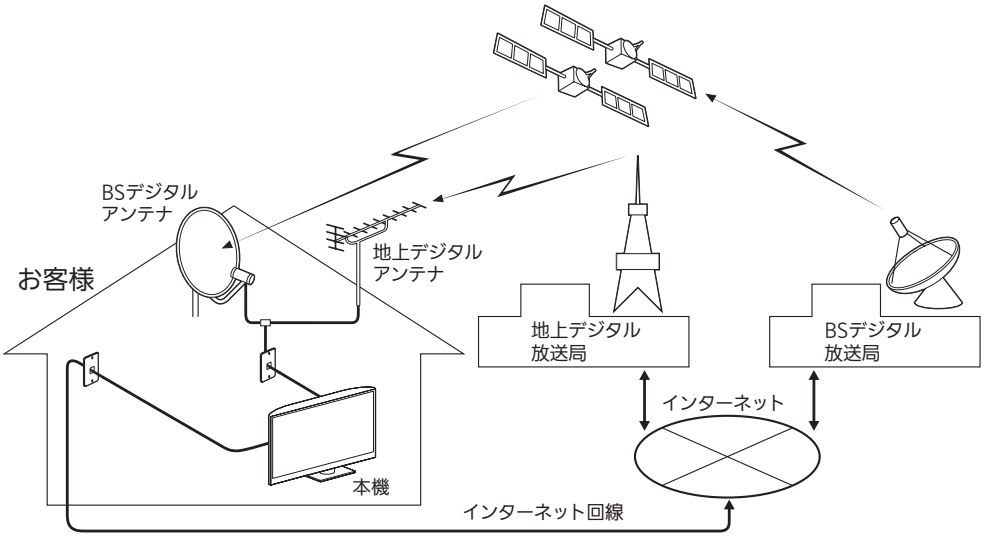
BS4K・110度CS4K放送

- フルハイビジョンを超えるキメ細かな超高精細映像が映し出す映像と、マルチチャンネルによるサラウンドの立体的な音響、さらに自然で鮮やかな色彩が特徴の放送です。

■一般社団法人放送サービス高度化推進協会(A-PAB)
新4K8K衛星放送コールセンター
TEL:ナビダイヤル　0570-048-001
受付時間　　09:00 ～ 17:00(土日祝日、年末年始休み)
http://www.apab.or.jp/4k-8k/callcenter

●双方向サービスとは

データ放送で行われるサービスの1つで、インターネットまたは電話の回線を使い番組に連動して、放送局と視聴者で双方向のやり取りができます。たとえばテレビ画面を見ながら、クイズの解答やショッピングなどいろいろなサービスが考えられています。本機で双方向サービスを利用するには、インターネット回線を接続してください。「インターネットにつなぐ」P.39 または当社ホームページ掲載の本機取扱説明書「インターネット編」P.3
※電話回線のみで通信が行われる場合は、対応できません。



著作権等について

- ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず)することは、法律により禁止されています。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、TiVo社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。
  この著作権保護技術の使用は、TiVo社の許可が必要で、また、TiVo社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用以外には使用できません。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本機は、コピーガード(複製防止)機能を搭載しており、著作権者などによって複製を制限するコピー制御信号が記録されているソフトや放送番組を録画することはできません。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビー、Dolby Audio およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

- For DTS patents, see http://patents.dts.com. Manufactured under license from DTS, Inc. DTS, the Symbol, DTS and the Symbol together, Digital Surround, and the DTS 2.0+Digital Out logo, are registered trademarks or trademarks of DTS, Inc. in the United States and/or other countries. © DTS, Inc. All Rights Reserved.

- TiVo、Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米国TiVo Corporationおよび/またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
  Gガイドは、米国TiVo Corporationおよび/またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
  米国TiVo Corporationおよびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。Gガイドが供給する画像は、各著作権者に帰属します。Gガイドの利用以外の目的でそれらの画像をダウンロードすることは制限されています。また、再出版、再送信、複製、その他の用法は禁止されています。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- “AVCHD”および“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- YouTubeおよびYouTubeロゴは、Google LLCの商標または登録商標です。
- 『「スカパー!プレミアムサービスLink」ロゴ』は、スカパー JSAT株式会社の商標です。
- Blu-ray Disc™(ブルーレイディスク™)、Blu-ray™(ブルーレイ™)、BD-Live™、BDXL™、Ultra HD Blu-ray™、AVCREC™およびロゴは、ブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
- Apple、iPhoneは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPadはApple Inc.の商標です。App Storeは Apple Inc.のサービスマークです。
- iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Mitsubishi Electric Corporation is under license.
- 「DIATONE」ロゴは三菱電機株式会社の登録商標です。
- 「DIATONE」および「ダイヤトーン」は三菱電機株式会社の商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio LicenseおよびVC-1 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客さまが個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - ・AVC規格に準拠する動画を記録する場合
  - ・個人的かつ非営利活動に従事する消費者によって記録されたAVC規格に準拠する動画およびVC-1規格に準拠する動画を再生する場合
  - ・ライセンスを受けた提供者から入手されたAVC規格に準拠する動画およびVC-1規格に準拠する動画を再生する場合

  詳細については米国法人MPEG LA, LLC (http://www.mpegla.com)をご参照ください。
- ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本国、米国またはその他の国における登録商標または商標です。© 2012-2017 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

- この製品はVerance Corporation (ベランス・コーポレーション)のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第7,369,677号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。CinaviaはVerance Corporationの商標です。Copyright 2004-2013 Verance Corporation. すべての権利はVeranceが保有しています。リバース・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- 地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送、新4K8K衛星放送機能ロゴは、一般社団法人放送サービス高度化推進協会(A-PAB)の商標です。
- 日本語変換は、オムロンソフトウェア(株)のAdvanced Wnnを使用しています。
  Advanced Wnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2018 All Rights Reserved.
- その他に記載されている会社名、ブランド名、ロゴ、製品名、機能名などは、それぞれの会社の商標または登録商標です。

メモ

「困ったとき」もくじ

故障かな?と思ったら 89
お手入れのしかた 91
保証とアフターサービス 86
各部のなまえとはたらき 17

テレビの上手な使いかた

キャビネットを傷めないために

ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。キャビネットが変質する原因となります。

持ち運ぶときは

硬いもの(ズボンのベルト金属部、ジャンパーのファスナー、ボタンなど)が触れると傷が付きますので、注意してください。

上手な見かた

お部屋の明るさに応じて、メニューで画面の「コントラスト」調整を行ってください。

- テレビからの距離は画面の高さの3～4倍で、また部屋の明るさは新聞が読める程度で見ると見やすく疲れません。
- 暗い部屋は目が疲れます。また連続して長い時間画面を見ていると目が疲れます。
- 画面に直接光が差込まない場所に設置してください。

液晶パネルは強く押さない

強く押すと、干渉しまが発生するなどの不具合が起きることがあります。
また、液晶パネル面に圧力を加えたままにすると、液晶の劣化やパネルの破損などの原因になります。

液晶テレビの一部や付属品を廃棄する場合

付属品・電池などを廃棄する際は法令・規則に従ってください。
くわしくは、所在の地方自治体にお問い合わせください。

廃棄時にご注意願います

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ(ブラウン管式、液晶式、プラズマ式)を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

お客さま便利メモ

このテレビの形名は □LCD-A40RA2000 □LCD-A50RA2000 □LCD-A58RA2000 です。

ご購入年月日	ご購入店名
年 月 日	電 話 ( )

製造番号
保証書および本体後面の銘板部に記載しています。

モジュールID(ACAS番号)
本取扱説明書の「ACAS番号を確認する」P.59の手順で確認ができる「モジュールID」(ACAS番号)を記入してください。問い合わせのときに必要な場合があります。

□□□□ □□□□ □□□□ □□□□ □□□□

愛情点検

●長年ご使用の液晶テレビの点検を！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

こんな症状はありませんか	ご使用中止
●電源を入れても映像や音が出ない。 ●電源を切っても映像や音が消えない。 ●上下、または左右の映像が欠けて映る。 ●映像が連続してチラついたり、揺れたりする。 ●ジージー、パチパチなどの異常な音がする。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●内部に水や異物が入った。 ●電源コードに傷や破れがある。	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

本製品は「電気・電子機器の特定の化学物質に関するグリーンマーク表示ガイドライン」に基づく、グリーンマークを表示しています。J-Moss(JIS C 0950 電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法)に基づき、特定の化学物質(鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE)の含有についての情報を公開しています。詳細は、Webサイト https://www.MitsubishiElectric.co.jp/home/ctv/ をご覧ください。

C
Printed in Thailand
AB52EJT-40UX/AB5UDJT-50UX/AB55DJT-58UX
2EMN01192★★★★★
872C722C10

三菱電機株式会社
京都製作所 〒617-8550 京都府長岡京市馬場図所１番地